消 防 年 報
2012

明石市消防本部

平成25年刊行

この年報は、人事・予算関係は会計年度、火災・救助・救急関係については暦年とし、その他は必要に応じ当該表の右上又は下に基準日等を表示しています。

平成２５年１０月

明石市消防本部

ひと目でわかる私たちの消防

市　　勢

（平成25年4月1日現在）

面　積	人　口	人口密度	世帯数	消防予算（千円）
49．25㎢	290，349人	5，895人／㎢	118，973世帯	2，517，700

組織・施設

署　所	職員数	消防団員数	消火栓数	防火水槽数
消防本部　1 消防署　1 分　署　6	249人 （再任用職員を含む）	1，040人 （8分団、49班）	7，274個	429基

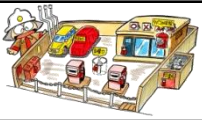
車　　両

ポンプ車	救助工作車	救急車	はしご車	化学車	その他の車両
10台	2台	9台	2台	2台	21台

災害出動件数

火　事	救　助	救　急	風水害等その他	119番受付
85件	256件	11，966件	992件	21，349回

予防・防災

		
防火対象物	危険物施設	防災・防火組織
5，191施設 （延面積150㎡以上）	644施設	自主防災組織　34組織 婦人防火クラブ　1団体　740人

ひと　まち　ゆたかに育つ
未来安心都市・明石
明石市消防署
救助1

目次

表　　紙
ひと目でわかる私たちの消防
目　　次

Ⅰ　平成２４年　災害発生状況

1　市内地区別災害発生状況 ..... 1～6
2　火災の状況 7
⑴　特徴 7
⑵　火災件数 7
⑶　焼損床面積と火災損害額 7
⑷　出火率 7
⑸　出火原因 7
⑹　火災による死者の発生状況 7
3　救助の状況 8
⑴　特徴 8
⑵　救助件数 8
⑶　救助人員 8
4　救急の状況 ..... 9～10
⑴　特徴 9
⑵　救急件数と搬送人員 9
⑶　救急事故種別 9
⑷　傷病程度別搬送人員 9
⑸　搬送者の年齢 9
5　その他の災害状況 11
6　１１９番受信状況等 11
⑴　１１９番受信状況 11
⑵　医療照会状況 11

Ⅱ　特集　予防救急

予防救急 ..... 12～23
“脳卒中の予防について”
救急車の適正な利用のお願い 24

Ⅲ　資料編

平成 24 年度「明石市消防本部の
動き」 ..... 25～26
消防組織機構 27
事務分掌 ..... 28～32
1　総務課関係 ..... 33～40
⑴　市勢と消防 33
⑵　消防庁舎の配置と現況 34
⑶　一般会計と消防費の比較 35
⑷　職員の配置状況 35
⑸　職員の任用状況 36
⑹　職員の表彰等受賞状況 36
⑺　消防学校等への入校状況 37
⑻　消防団事項 ..... 38～40
ア　団員の階級別分団人員 38
イ　団員の年齢 38

ｳ　団員の表彰等受章状況……39
エ　消防団機械器具状況……40
2　警防課関係……41～44
⑴　消防水利現況……41
⑵　消火栓の設置推移……41
⑶　特別警戒状況……42
⑷　訓練指導等の実施状況……42
⑸　消防車両現有表……43
⑹　消防機器現有表……44
3　情報指令課関係……45～50
⑴　消防通信系統図……45
⑵　火災報知専用電話受信件数の推移……46
⑶　１１９番通報総受信内訳表……46
⑷　科目別医療照会状況……47
⑸　口頭指導実施状況……48
⑹　気象状況……49
⑺　気象情報の受信状況……50
4　予防課関係……51～58
⑴　防火対象物
延べ面積１５０㎡以上の一覧表……51
⑵　建築確認等の件数内訳……52
⑶　工事別建築同意等の状況……52
⑷　地区別建築同意の状況……53
⑸　予防査察・消防用設備等の
設置検査状況……54
⑹　防火管理者講習会受講者数……55
⑺　予防関係届出の処理状況……55
⑻　危険物施設数の推移……56
⑼　危険物施設の形態別施設数内訳……56
⑽　危険物施設立入検査状況……57
⑾　危険物施設設置・変更及び廃止等……58
5　火災統計……59～67
⑴　火災出動件数推移……59
⑵　火災損害額推移……59
⑶　火災発生状況前年との比較……60
⑷　年別火災状況（過去１０年間）……61
⑸　月別火災発生状況……62
⑹　用途別火災発生状況……63
⑺　出火原因別火災件数（過去１０年間）64
⑻　月別火災件数前年との比較……65
⑼　月別火災件数及び損害額……65
⑽　時間帯別火災件数及び損害額……66
⑾　覚知別対比表……67
⑿　曜日別対比表……67
⒀　初期消火実施状況……68
⒁　初期消火器具使用状況……68
6　救助統計……69～73
⑴　救助出動件数推移……69
⑵　救助活動・救助人員推移……70
⑶　事故種別出動件数前年との比較……70
⑷　発生場所別救助人員等状況……71
⑸　月別救助出動状況……72
⑹　管轄署所別出動件数状況……73
⑺　事故種別要救助者救出
所要時間状況……73
7　救急統計……74～85
⑴　救急出動件数（搬送人員）の推移……74
⑵　救急出動状況前年との比較……75
⑶　年別出動件数（過去１０年間）……76
⑷　月別救急出動状況……77
⑸　覚知時刻・年齢区分（５歳階級）別
搬送状況……78
⑹　救急搬送者年齢区分別推移……79
⑺　月別救急隊出動状況……80
⑻　覚知時刻・救急隊別出動状況……81
⑼　覚知時刻・曜日別救急出動状況..82～83
⑽　救急隊員の行った応急処置件数……84
⑾　心肺停止傷病者の発生状況と経過……85
8　その他の災害統計……86
その他の災害出動種別件数……86
9　防災センター……87～88
⑴　防災センター月別来館者数……87

⑵　来館者の居住地と性別しらべ 87
⑶　来館者の年齢と性別しらべ.....88

付録　「明石消防のあゆみ」
・明石消防の沿革 ..... 89～96
・ぼくたちわたしたちの消防 .....別冊

安心・安全のまち“あかし”を目指して

Ⅰ　平成２４年　災害発生状況

1　市内地区別災害発生状況

本庁地区

地区名	人口	火災出動	救助出動	救急出動	その他の出動
松が丘１丁目	1,740		1	83	6
松が丘２丁目	1,503		3	107	11
松が丘３丁目	938			28	4
松が丘４丁目	1,440		2	104	8
松が丘５丁目	1,328	2	4	62	5
松が丘北町	897			30	5
大蔵谷	4,806	2	7	199	23
大蔵谷奥	684		1	25	3
東山町	804			18	1
朝霧北町	1,220			21	2
朝霧台	1,313		1	81	3
朝霧山手町	801			21	1
朝霧町１丁目	814		1	25	2
朝霧町２丁目	498	1		25	
朝霧町３丁目	831		1	38	3
北朝霧丘１丁目	855			18	2
北朝霧丘２丁目	612			19	2
東朝霧丘	1,879			52	8
中朝霧丘	886			25	6
西朝霧丘	629	1		15	2
荷山町	927	1		43	3
東野町	4,043	2	3	75	7
太寺大野町	652		1	15	2
太寺天王町	1,070			27	2
太寺１丁目	1,149			22	3
太寺２丁目	789		1	21	5
太寺３丁目	586		1	15	
太寺４丁目	875			20	1
東人丸町	1,187			33	2
人丸町	526			23	1
山下町	907	2	2	43	7
上ノ丸１丁目	883			22	2

地区名	人口	火災出動	救助出動	救急出動	その他の出動
上ノ丸２丁目	588		1	29	3
上ノ丸３丁目	771		1	28	4
明石公園	—		1	47	3
鷹匠町	1,198	2		99	2
茶園場町	1,046		1	31	5
大蔵八幡町	931			53	5
大蔵町	427		1	51	
大蔵中町	563			26	4
大蔵本町	448		3	19	2
大蔵天神町	484			24	1
天文町１丁目	225			50	2
天文町２丁目	308		1	14	
相生町１丁目	567			13	
相生町２丁目	915		1	53	10
中崎１丁目	389		1	42	5
中崎２丁目	931	1	4	44	5
鍛治屋町	122	1	1	30	2
桜町	821			49	5
東仲ノ町	1,167			86	3
大明石町１丁目	1,109		5	341	11
大明石町２丁目	986		1	56	5
本町１丁目	805		1	71	3
本町２丁目	875			58	3
材木町	735		2	39	4
樽屋町	970		2	92	10
日富美町	559			30	3
大観町	772	1		41	6
港町	867		1	55	8
岬町	947		1	34	2
大蔵海岸通１丁目	—			43	
大蔵海岸通２丁目	—		2	14	1
西新町１丁目	772		2	39	4
西新町２丁目	1,166			48	8
西新町３丁目	660		1	41	1
北王子町	981	1		53	5
王子１丁目	502			23	2

地区名	人口	火災出動	救助出動	救急出動	その他の出動
王子２丁目	678	1	1	33	2
南王子町	555		3	36	4
大道町１丁目	619			25	1
大道町２丁目	441		1	19	
硯町１丁目	400	1	1	29	1
硯町２丁目	1,337		1	40	4
硯町３丁目	1,729			47	2
田町１丁目	601			25	2
田町２丁目	722		1	44	2
新明町	360			47	1
船上町	917			20	1
和坂稲荷町	187			23	2
宮の上	1,318		1	42	3
立石１丁目	367		1	15	1
立石２丁目	801		4	34	5
貴崎１丁目	485			14	
貴崎２丁目	797	1	1	47	3
貴崎３丁目	1,826	2	3	56	5
貴崎４丁目	665		3	36	4
貴崎５丁目	1,015			39	5
南貴崎町	345			35	1
林崎町１丁目	152		2	23	1
林崎町２丁目	594		1	48	1
林崎町３丁目	1,094	1	5	38	6
林１丁目	503			18	3
林２丁目	883			21	3
林３丁目	847	1	2	36	6
松江	1,889	1		65	9
和坂１丁目	1,261			35	4
和坂２丁目	612			16	1
和坂３丁目	742		1	27	1
西明石町１丁目	408			11	2
西明石町２丁目	552			11	2
西明石町３丁目	534			12	2
西明石町４丁目	347		2	17	1
西明石町５丁目	668			22	3

地区名	人口	火災出動	救助出動	救急出動	その他の出動
川崎町	1,561	4	3	46	2
西明石南町１丁目	354			16	3
西明石南町２丁目	972	2	3	73	4
西明石南町３丁目	1,633	1	1	36	2
和坂	795		2	53	3
花園町	118			7	
松の内１丁目	1,323			50	3
松の内２丁目	1,209	1	2	72	11
野々上１丁目	1,001			29	2
野々上２丁目	687			28	3
野々上３丁目	1,292		2	52	3
小久保１丁目	1,341	1	2	56	7
小久保２丁目	972	1	1	155	7
小久保３丁目	1,257		1	16	1
小久保４丁目	780			12	
小久保５丁目	1,110	1	1	24	1
小久保６丁目	1,117			20	4
小久保	973			17	
西明石北町１丁目	657			32	3
西明石北町２丁目	499			12	1
西明石北町３丁目	891		2	78	1
鳥羽	3,271	1	5	116	12
西明石東町	793		5	19	1
旭ヶ丘	925			33	3
明南町１丁目	493			35	
明南町２丁目	1,381		1	32	6
明南町３丁目	15		1	7	
沢野１丁目	449			12	2
沢野２丁目	655	1		21	2
西明石西町１丁目	738		1	44	4
西明石西町２丁目	970	1	1	24	2
別所町	1,369			53	4
東藤江１丁目	1,138	1	2	51	5
東藤江２丁目	741			29	3
藤が丘１丁目	1,207			35	4
藤が丘２丁目	952			24	2

地区名	人口	火災出動	救助出動	救急出動	その他の出動
藤江	10,081		3	322	29

大久保地区

地区名	人口	火災出動	救助出動	救急出動	その他の出動
松陰新田	295	2	1	8	3
森田	1,982			106	8
松陰	3,739	2	2	113	15
大久保町	5,835	1	5	174	10
駅前１丁目	688		1	35	3
駅前２丁目	744			18	1
大窪	15,230		7	749	54
山手台１丁目	574		2	26	1
山手台２丁目	874			32	3
山手台３丁目	658			28	1
山手台４丁目	631			5	
高丘１丁目	1,275	1	1	30	
高丘２丁目	896		1	27	
高丘３丁目	2,640		3	89	8
高丘４丁目	427	1		6	1
高丘５丁目	1,991	1		42	5
高丘６丁目	598		1	17	2
高丘７丁目	2,171	1	1	63	1
西脇	3,467	1	2	119	9
緑が丘	1,076		1	13	1
谷八木	5,558		2	111	13
八木	2,304	2	1	284	5
福田	340			15	2
福田１丁目	261		1	5	1
福田２丁目	352			8	1
福田３丁目	925			10	1
江井島	5,978	3	5	309	21
西島	10,190	1	5	270	18
わかば	1,499	2	7	31	20
ゆりのき通１丁目	3,959	2	2	86	6
ゆりのき通２丁目	1,363			35	2
ゆりのき通３丁目	—			32	3

魚住・二見地区・市外

地区名	人口	火災出動	救助出動	救急出動	その他の出動
金ヶ崎	4,250	3	2	178	17
長坂寺	4,214	1	5	162	18
錦が丘１丁目	1,313			33	2
錦が丘２丁目	586		1	16	2
錦が丘３丁目	1,051			26	3
錦が丘４丁目	350		1	75	5
鴨池	1,202			31	6
清水	16,984	6	16	732	61
中尾	3,050		1	114	7
住吉１丁目	891		1	37	3
住吉２丁目	1,423			45	6
住吉３丁目	1,169			16	1
住吉４丁目	1,021	1	1	20	1
西岡	11,768	6	12	428	33
福里	4,112		3	98	9
東二見	12,637	5	10	480	44
西二見	12,041	1	7	393	35
西二見駅前１丁目	14			8	
西二見駅前２丁目	285			15	
西二見駅前３丁目	522			4	
西二見駅前４丁目	206			5	
南二見	14	2	9	56	3
市外	—			30	14

地区名	人口	火災出動	救助出動	救急出動	その他の出動
本庁地区	135,650	40	136	6,068	503
大久保町地区	78,520	20	51	2,896	219
魚住地区	49,272	17	40	1,913	165
二見地区	29,831	8	29	1,059	91
市外	—			30	14
総合計	293,273	85	256	11,966	992

・人口は、「明石市町名別人口（住民基本台帳人口　H24. 4. 1)」に基づく数値で、住民票作成対象の外国人（中長期滞在者、特別永住者等）を含みます。

・表中の数値（人口を除く）は、消防自動車や救急自動車が当該地区に緊急出動した回数を示すもので、地区内に居住する住民だけの利用数ではありません。

２　火災の状況

過去の火災出動状況						
年	火災件数	建物火災件数	焼損面積(㎡)	損害額(千円)	死者数	負傷者数
平成20年	74	52	560	89,219	5	9
平成21年	69	46	967	132,696	3	16
平成22年	85	51	1,572	79,296	4	18
平成23年	82	45	1,195	111,061	2	17
平成24年	85	48	939	49,413	0	13

⑴　特　　徴

平成２４年中の火災による死者は、昭和４８年以来３９年ぶりに０人でした。

火災件数は、前年と比較すると増加していますが、７年連続で９０件を下回っています。

また、損害額は過去１０年間のうちで、最も少ない額となります。

⑵　火災件数

平成２４年中の火災発生件数は８５件で、前年の８２件に対し３件（３．７％）増加しました。これは、およそ４日に１件の割合で火災が発生したことになります。

火災種別ごとにみると、建物火災４８件、その他の火災２６件、車両火災１１件で建物火災が高い比率を占めています。

⑶　焼損床面積と火災損害額

建物火災の焼損床面積は、９３９㎡で前年の１，１９５㎡に対し２５６㎡の減少となっています。これを建物火災１件あたりの焼損面積でみると１９．６㎡となります。

また、平成２４年中の火災による損害額は、４，９４１万３，０００円で前年の１億１，７８１万４，０００円と比べ６，８４０万１，０００円減少となっています。これを建物１件あたりの損害額でみると１，０２９万４，０００円です。

⑷　出 火 率

平成２４年中の出火率（人口１万人あたりの出火件数）は、２．９％で前年と比較し、０．１％増加しています。

本市の出火率は、全国の３．５％及び兵庫県の３．７％よりも低い状況です。

⑸　出火原因

平成２４年中の主な出火原因は、表１のとおりです。火災の出火原因は、１位が「放火」（疑いを含みます。）次いで「こんろ等」「たばこ」「火あそび」の順であり、全国的に同じような傾向となっています。

区分	放火・放火の疑い	たばこ	こんろ等	たき火・焼却炉等	火あそび	電気関係	マッチ・ライター	ストーブ	その他	不明	合計
平成20年	21	8	8	2	6	7	2	3	12	5	74
平成21年	14	7	6	1	8	5	3	3	15	7	69
平成22年	12	10	7	3	6	6	1	4	20	16	85
平成23年	21	3	13	2	7	8	1	1	17	9	82
平成24年	19	7	8	0	7	5	3	6	24	6	85

表１「出火原因の推移」

⑹　火災による死者の発生状況

平成２４年中の火災による死者は０人でした。これは、昭和４８年以来３９年ぶりです。

また、負傷者数については、１３人で前年より４人減少しています。

３　救助の状況

過去の救助出動状況			
年	救助出動件数	活動件数	救助人員
平成20年	171	107	98
平成21年	155	82	60
平成22年	202	112	79
平成23年	256	111	82
平成24年	256	121	85

⑴　特　　徴

平成１７年から減少傾向にあった救助件数が、平成２２年から再び上昇傾向に転じて推移しています。内容をみると「安否確認」のための出動が多く報告されています。

⑵　救助件数

平成２４年中の救助件数は、２５６件で前年からの増減はありませんが、救助活動のあった件数は１２１件で１０件（９．０％）の増加となっています。

このうち事故種別でみると、建物等による事故が６５件と全体の２５．３％で、次いで交通事故３９件（１５．２％）、水難事故１９件（７．４％）、火災８件（３．１％）の順になっています。

⑶　救助人員

平成２４年中の救助人員は、８５人で最も多かった事故種別は、建物等による事故で３３人を救助しています。以下に交通事故２１人、水難事故１３人が続いています。

４　救急の状況

過去の救急出動状況			
年	救急出動件数	救急搬送人員	不搬送件数
平成20年	10,596	9,244	1,443
平成21年	11,024	9,366	1,760
平成22年	11,885	9,862	2,097
平成23年	12,080	10,004	2,153
平成24年	11,966	10,146	1,895

⑴　特　　徴

平成２４年中の救急件数１１，９６６件のうち、救急要請に応じて救急隊が出動したものの、「緊急性がない」などの理由により、救急搬送をしなかった件数（不搬送件数）が１，８９５件（１５．８％）となっています。

この件数は、１０年前の平成１４年の救急出場件数９，４０１件、不搬送件数７２２件と比較すると出動件数は約１．２倍であるのに対し、不搬送件数は２．６倍となっています。

また、救急搬送された方のうち高齢者（６５歳以上）の占める割合が５３．０％と半数を超えています。

⑵　救急件数と搬送人員

平成２４年中の救急件数は、１１，９６６件で前年の１２，０８０件に対し１１４件（０．９％）の減少となっていますが、依然として高い水準で推移しています。

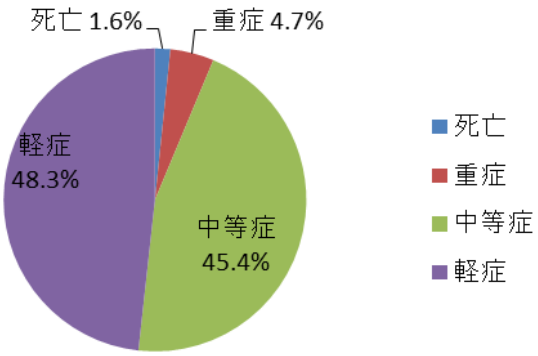
また、搬送人員は１０，１４６人で前年の１０，００４人に対し１４２人（１．４％）増加しています。

⑶　救急事故種別

救急事故種別を見ると、1位が「急病」7，１８４件で前年の7，１２８件に対し５６件（０．８％）増加しています。次いで「一般負傷」、「交通事故」の順になっており「交通事故」については1，２１６件で前年の1，２９４件に対し７８件（６．０％）減少しています。

⑷　傷病程度別搬送人員

平成２４年中の搬送人員１０，１４６人のうち、入院を伴わない軽症者は4，８９６人で搬送者の４８．３％を占め、3週間未満の入院を伴う中等症者は4，６１０人（４５．４％）、３週間以上の入院を伴う重症者は４７４人（４．７％）、死亡者は１６６人（1．６％）です。



「救急搬送者の傷病程度割合（%）」

⑸　搬送者の年齢

表２は、平成２４年中に救急搬送された方の年齢区分です。高齢者（６５歳以上）の搬送人員は、５，３７５人で、全救急搬送人員１０，１４６人の５３．０％を占めています。

平成２４年４月１日現在の明石市の人口（２９３，２７３人）に占める６５歳以上の割合は、２１．７％（６３，７３１人）

となっており、６４歳以下では約４８人にひとりが救急車で搬送されているのに対し、６５歳以上では約１２人にひとりが救急車で搬送されており、約４倍となっています。

生後28日未満	25
生後28日以上満7歳未満	624
満7歳以上満18歳未満	435
満18歳以上満65歳未満	3,687
満65歳以上	5,375
搬送人員合計(人)	10,146

表２「救急搬送者の年齢区分」

５　その他の災害状況

平成２４年中に火災、救助及び救急以外に出動した、その他災害出動の件数は９９２件で前年の１，１０２件に対し、１１０件（１０％）減少しています。

災害種別で見るとＰＡ救急出動が６５７件（６６．２％）で最も多く、次いで調査出動１０５件（１０．６％）の順になっています。

ＰＡ救急出動の件数は、出動が体制化した平成１７年以降、年々増加の傾向にありましたが、平成２４年では、初めて減少に転じています。しかし、依然として６００件を超える高い水準で推移しています。

※ＰＡ救急出動とは

救急出動の現場での心肺停止傷病者の対応や事故現場での安全管理や傷病者対応など、消防隊と救急隊の２隊で協力しながら活動が行われる出動のことで、消防隊が乗り組む「ポンプ車」のＰと、救急隊が乗り組む「アンビュランス（救急車）」のＡの頭文字をとって、ＰＡ救急出動と名付けられています。

また、この時の消防隊の出動を「その他災害出動」のひとつとして取扱います。

６　１１９番受信状況等

⑴　１１９番受信状況

平成２４年中の１１９番受信件数は、２１，３４９件あり、１日平均約５９件、約２５分に１件の割合で１１９番を受信していることになります。

携帯電話からの通報は、８，７７５件あり全体の約４１％になっています。

受信内容については、火災・救助・救急など緊急を要する受信が１１，５６０件で５４．１％を占めていますが、病院照会など緊急を要しない受信も９，７８９件で４５．９％を占めています。

⑵　医療照会状況

平成２４年中に消防本部が行った医療照会の件数は、２２，５０２件で前年と比較し、２７５件（１．２％）増加しています。

照会した科目をみると１位が「内科」の５，３５３件で、前年の４，４９４件に対し８５９件（１９．１％）増加しています。２位の「小児科」については、３，４３８件で前年の３，７４８件より３１０件（８．３％）減少しています。

Ⅱ　特集　予防救急

特　集　　「予防救急」

「脳卒中の予防について」

1　はじめに

望んで事故や病気になる人は、ひとりもいないと思います。

しかし、救急の出動件数は、毎年増加の傾向にあり、本人だけでなく、家族にとっても肉体的、精神的、経済的な負担は大きなものとなっています。

では、事故や病気といった災難は、ある日突然にやってくるのでしょうか、未然に防ぐための手立てはないのでしょうか。

例えば、火災は、尊い人命や今まで築いてきた財産を一瞬のうちに焼き尽くしてしまう恐ろしいものですが、その火災原因のほとんどが人災によるものであることから、火災の原因を調査し広報することにより、ある程度火災の予防が可能となっています。

そこで救急についても、火災と同様に「予防」することにより、近年増加傾向にある救急出動を減少させ、市民を事故や病気から守ることができるのではないかという考えです。

救急車が出動する事案については、その内容により、１４種類の事故種別に分類されています。平成２４年中に発生した救急事案の割合をみますと、「急病」が全体の約６０％を占め、次いで「一般負傷」が１４．８％、「交通事故」が１０．２％の順になっています。

このうち「急病」で搬送された患者の年齢区分別傷病程度の内訳をみると、軽症の割合は０歳～１４歳までの乳幼児・少年期で７９．３％、１５歳～６４歳までの成年期で５８．７％であるのに対し６５歳以上の高齢者では３５．７％ですが、逆に高齢者では中等症５６．９％、重症７．４％と約６５％が入院を要する傷病程度となっています。

「急病」は、その内容により１０種類の疾患別に分類されており、疾患別の傷病程度をみてみますと、「脳疾患」で中等症以上の割合が９０．５％と突出して高くなっています。

救急事故種別

1	火災	8	加害
2	自然災害	9	自損行為
3	水難事故	10	急病
4	交通事故	11	転院搬送
5	労働災害	12	医師搬送
6	運動競技	13	資機材搬送
7	一般負傷	14	その他

急病疾患別

1	脳疾患	6	感覚系
2	心疾患	7	泌尿系
3	消化器系	8	新生物
4	呼吸器系	9	その他
5	精神系	10	不明

「急病」の疾患別年齢区分別搬送人員

疾患別 / 年齢区分	脳疾患	心疾患	消化器系	呼吸器系	精神系	感覚系	泌尿系	新生物	その他	不 明	合 計
0歳 ～ 4歳	1	1	7	29	0	11	0	0	28	292	369
5歳 ～ 9歳	0	1	1	18	5	10	0	0	12	44	91
10歳 ～ 14歳	3	0	6	4	5	6	0	0	13	30	67
15歳 ～ 29歳	2	4	16	29	91	39	19	0	82	115	397
30歳 ～ 39歳	2	14	31	17	55	25	26	5	77	113	365
40歳 ～ 49歳	27	23	53	15	50	29	40	3	68	137	445
50歳 ～ 59歳	64	49	54	38	19	33	33	14	76	135	515
60歳 ～ 64歳	48	55	30	12	18	26	11	14	81	119	414
65歳 ～ 69歳	42	66	34	28	18	36	13	12	50	149	448
70歳以上	315	457	206	370	37	185	42	88	452	894	3,046
合 計	504	670	438	560	298	400	184	136	939	2,028	6,157

「急病」の傷病程度別年齢区分別搬送人員

傷病程度 / 年齢区分	軽症	中等症	重 症	合 計
0歳～14歳	418	106	3	527
	79.3%	20.1%	0.6%	
15歳～64歳	1,254	793	89	2,136
	58.7%	37.1%	4.2%	
65歳以上	1,249	1,987	258	3,494
	35.7%	56.9%	7.4%	
合 計	2,921	2,886	350	6,157
	47.4%	46.9%	5.7%	

※傷病程度のうち「死亡」は重症に含めています。

傷病程度別
軽　症・・入院加療を必要としないもの
中等症・・入院を必要とするもので重症に至らないもの
重　症・・３週間以上の入院を必要とするもの
死　亡・・医師が初診時に死亡と診断したもの

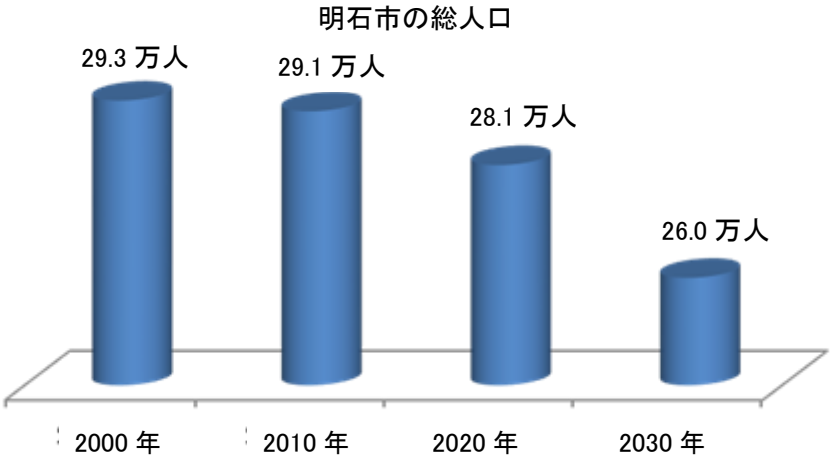
疾患別傷病程度別搬送人員

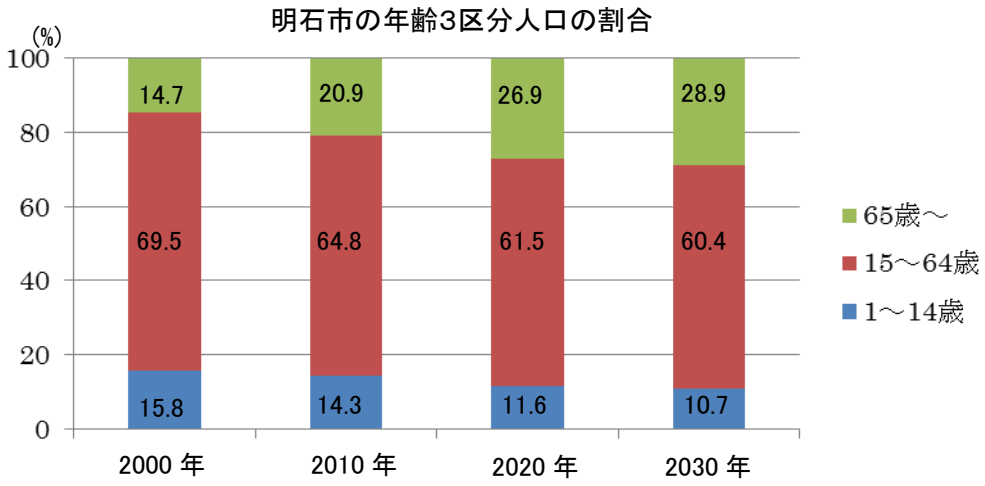
疾患別 / 傷病程度	脳疾患	心疾患	消化器系	呼吸器系	精神系	感覚系	泌尿系	新生物	その他	不 明	合 計
軽 症	48	171	127	179	243	261	89	2	491	1,310	2,921
	9.5%	25.5%	29.0%	32.0%	81.5%	65.3%	48.4%	1.5%	52.3%	64.6%	47.4%
中等症	385	325	296	356	55	136	93	102	438	700	2,886
	76.4%	48.5%	67.6%	63.6%	18.5%	34.0%	50.5%	75.0%	46.6%	34.5%	46.9%
重 症	71	65	15	20	0	2	1	27	10	17	228
	14.1%	9.7%	3.4%	3.6%	0.0%	0.5%	0.5%	19.9%	1.1%	0.8%	3.7%
死 亡	0	109	0	5	0	1	1	5	0	1	122
	0.0%	16.3%	0.0%	0.9%	0.0%	0.3%	0.5%	3.7%	0.0%	0.0%	2.0%
合 計	504	670	438	560	298	400	184	136	939	2,028	6,157

また、明石市を取り巻く状況をみてみると、明石市の人口は、ここ１０年程度は約２９万人で、ほぼ横ばいの状況が続いています。

今後、全国的な流れと同様に次第に減少局面に移行し、このまま推移すると平成３２年には約２８万１千人になるものと見込まれています。

年齢別にみると、１５歳から６４歳までの人口の比率が下がっていく一方で、６５歳以上の人口比率は上昇していく見込みです。平成３２年には、およそ４人に１人が高齢者になっていると予測されます。（明石市第５次長期総合計画より）





今後は、さらに救急事案で高齢者の占める割合が高くなってくると予想されます。

こうした背景から、平成２４年に発生した救急事案から「急病」の事故種別を取り上げ、特に高齢者の発生率が高く、また中等症以上の割合が高くなっている「脳疾患」に的をしぼって、その発生状況等について取りまとめるとともに、「脳疾患」の中から予防効果が高いと考えられている脳卒中の予防について記載します。

２　「脳疾患」の救急搬送状況

平成２４年中に救急車で医療機関に搬送された人数は１０，１４６人です。

これは、明石市民の約２９人にひとりが救急車を利用したことになります。

同じように急病についてみると、急病により搬送された人数は、６，１５７人で市民の約４７人にひとりが急病により搬送されたことになります。さらに、急病の中から脳疾患に的を絞ってみますと、５０４人の搬送があり、急病で搬送された人の約１２人にひとりが脳疾患によるものとなっています。

年齢区分別に急病による搬送人員に占める脳疾患の割合をみると、高齢者になるほど発生率が高くなっているのがわかります。

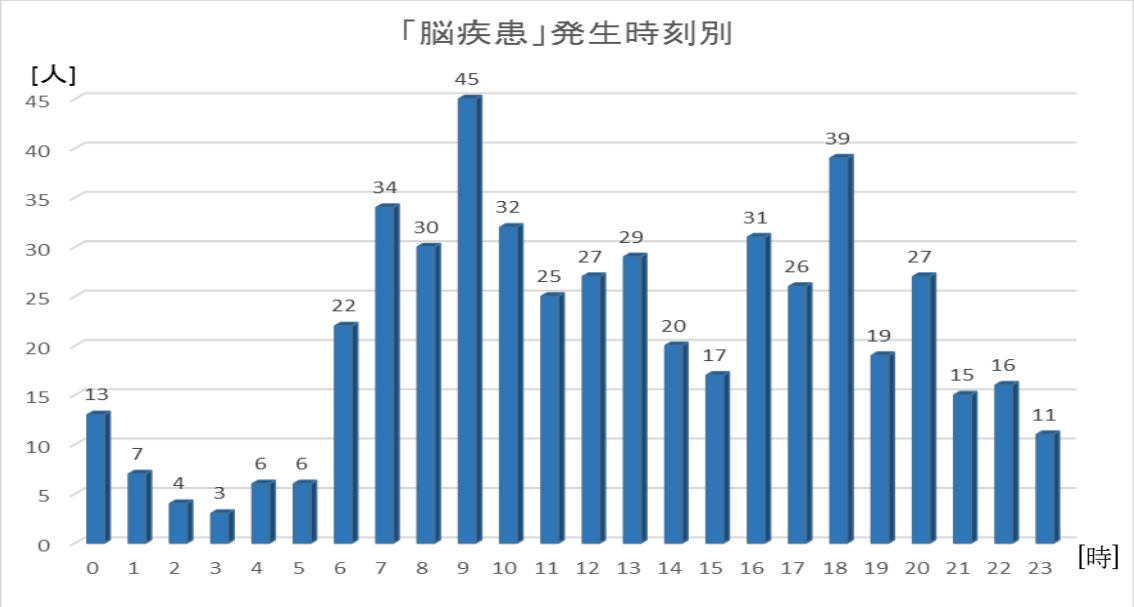
年 齢 区 分	人　口	「脳疾患」による搬送人員 「急　病」による搬送人員	年齢区分の人口中の何人にひとりが搬送されたか
0歳～14歳	41,217	4	10,304
		527	78
15歳～29歳	46,058	2	23,029
		397	116
30歳～39歳	41,306	2	20,653
		365	113
40歳～49歳	42,806	27	1,585
		445	96
50歳～59歳	34,056	64	532
		515	66
60歳～64歳	24,099	48	502
		414	58
65歳～69歳	18,448	42	439
		448	41
70歳以上	45,283	315	144
		3,046	15
合　計	293,273	504	582
		6,157	48

※人口は、平成24年4月1日
「年齢別人口」（住民基本台帳人口）による

3　「脳疾患」発生の時刻別割合

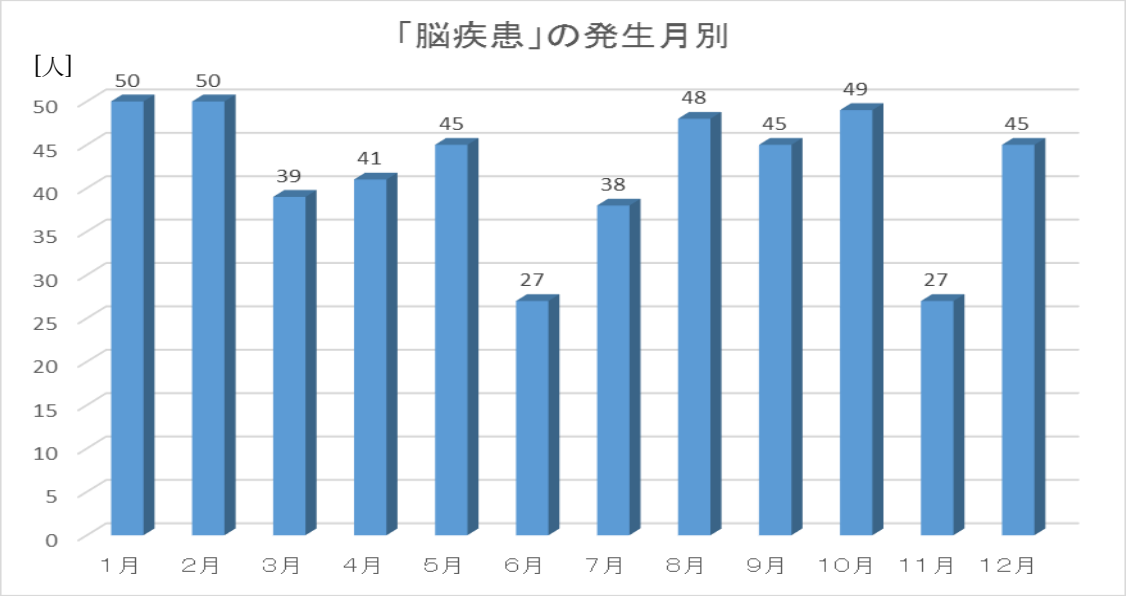
脳疾患の発生した時刻については下表のとおりで、午前中に多く発生しています。

午前中は、呼吸や消化などの生理的機能を担当する自律神経のうち、交感神経の働きが活発になり、血圧の上昇や血液凝固の機能が上がることから、血栓を生じやすい状況にあること、午前から午後に向けて活動期に入ることから血圧が大きく変動しやすいことなどに原因があると考えられています。



4　「脳疾患」発生の月別割合

脳疾患の発生した月については下表のとおりで、以前は、特に脳内出血などで季節差がみられ冬季に多くなるとされていましたが、住環境の改善などの結果、季節変化による変動は小さくなってきているようです。



5　脳卒中とは

脳卒中とは、脳梗塞・脳出血・クモ膜下出血の総称です。

脳卒中は 、脳の血管に異常な問題が発生して、脳の組織に血液が行き届かなくなり、脳の組織がダメージを受けて、しゃべり難くなる、手足にしびれ感や麻痺が起こるなどの神経症状をきたす病気です。代表的なものに脳の血管に血栓（血管中で何らかの原因により形成された血液の塊）等が詰まり血液が流れなくなる「脳梗塞」、脳内にある血管が破裂して出血する「脳出血」、脳表面の血管にできた動脈瘤（血管壁が瘤状に変化したもの）が破裂し、脳を覆っているクモ膜の中に出血する「クモ膜下出血」の３つのタイプがあります。

6　脳卒中の予防

脳卒中を予防するためには、まず主要な危険因子である高血圧、高コレステロール血症、糖尿病、不整脈（心房細動）、喫煙、多量の飲酒に対して注意をしてください。

次に、高血圧・高コレステロール血症・糖尿病を予防するために、普段から塩分・脂肪分控えめの食事を取り、適度な運動を行い、肥満を防ぐことに意識を持ってください。

⑴　高血圧

脳卒中が血圧の高い人に起こりやすいことはよく知られています。高血圧になると、脳の血管に強い圧力がかかるため、脳の血管が破れたり、詰まったりする危険性が高くなります。そのため、高血圧は脳梗塞、脳出血、くも膜下出血のいずれにも深く関与しています。

高血圧の人は、医師の診断を受け、医師の指導に従って、血圧を目標値まで下げるように心がけましょう。

⑵　糖尿病

糖尿病を放っておくと、長期にわたる高血糖状態のため、全身の血管がもろくなり、様々な合併症を引き起こします。脳の血管も例外ではなく、糖尿病の人は糖尿病でない人よりも高い頻度で脳梗塞になると言われています。糖尿病を指摘されたら、医師の診断を受け、目標の血糖値を維持するように努めましょう。

⑶　高コレステロール

コレステロールおよび中性脂肪の異常を脂質異常症と総称しています。脂質異常症は自覚症状がなく、知らないうちに動脈硬化が進み、脳梗塞や心筋梗塞の発症リスクを高めますのでコレステロール値が高い人は、医師の診断を受けるなど注意をしましょう。

⑷　不整脈（心房細動）

規則正しく動いているはずの心臓で、脈のリズムが乱れることを不整脈と言います。

特に心房細動は、左心房がけいれんするように収縮し、左心房に血液がうっ滞して、血栓ができやすくなります。できた血栓が脳に運ばれ、脳の血管に詰まると脳梗塞になります。心房細動は特に高齢者に多い不整脈で、一回の発作で寝たきりになる重症の脳梗塞をひき起こすことも多いので、脈のリズムが不整でバラバラだと感じたらすぐに医師の診察を受けましょう。

⑸　喫煙

喫煙をすることによって、がんや心臓病などさまざまな病気にかかるリスクが非常に高くなります。喫煙により血液は濃くなり、血管の壁が傷ついて動脈硬化が進み、脳卒中を起こしやすくなります。

脳卒中を予防するためには、まず禁煙から始めましょう。

⑹　アルコール

適度にアルコールを飲む人は、全く飲まない人よりも脳卒中になる危険がやや少ないと言われています。ただし、適量を過ぎれば逆に体の毒になり、脳卒中になる危険性は高くなります。適量を守って大量の飲酒は避けましょう。

⑺　運動

適度な運動は、脂肪や糖質の代謝を促進するだけでなく、善玉であるＨＤＬコレステロールを増やす効果もあります。また、肥満や糖尿病、高血圧、高コレステロール血症など生活習慣病の予防や改善に役立ち、ひいては脳卒中の予防にもつながります。

⑻　肥満

肥満は、高血圧や糖尿病、高コレステロール血症など、様々な生活習慣病の原因となります。肥満を解消することは、脳卒中の予防にもかかせません。太り気味の人は食生活を見直すとともに、運動不足を解消し減量しましょう。

⑼　脳卒中発作が起きたら

脳卒中による命の危険を防ぎ、後遺症を軽くするためには、早期の治療が大切です。脳卒中の発作が起きても早期に専門病院を受診すると、有効な治療を受けることができるので後遺症の危険は少なくなります。

もし、周りの人に以下の状態が見られたら、一刻も早く救急車を呼ぶか専門医を受診してください。

・　手足や顔の麻痺、しびれが起こる。

・ ろれつが回らない、言葉が出ない、他人の言うことが理解できない。
・ 力はあるのに、立てない、歩けない、フラフラする。
・ 片方の目が見えない、物が二つに見える、視野の半分が欠ける。
・ 経験したことのない激しい頭痛がする。頭を金づちで殴られたような痛み。

万が一、上記の症状が出た場合は、すぐに救急車を要請して、少しでも早く有効な治療が受けられるように心掛けましょう。

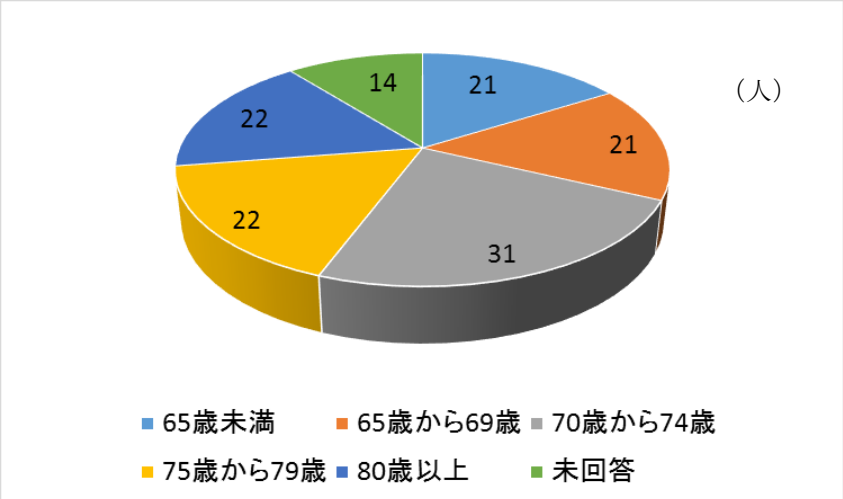
7　消防本部が実施したアンケート調査について

脳卒中の予防では、高血圧や糖尿病などの症状をコントールすること、喫煙やアルコールなどの生活習慣の改善を心がけることが必要とされています。また、急な病気に対応するために、かかりつけ医を持つことや夜間・休日の急な病気などへの対処方法を考えておくことが大事になってきます。

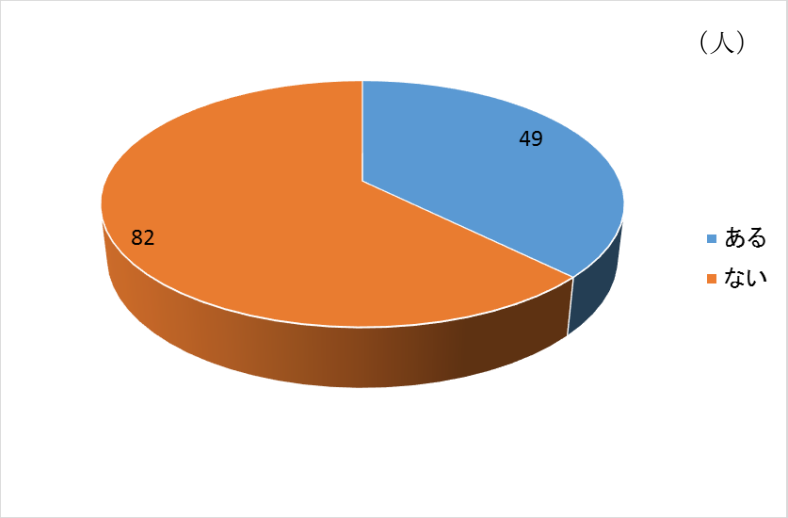
そこで、市民の方がどのような意識を持っているかを調査するために、消防本部が関わっている出前講座「いざという時の夜間・休日の医療体制」にご参加いただいた方に対してアンケートを実施しましたので紹介します。

（回答を得られた１３１名分について集計しています。）

アンケートに回答をいただいた方の年齢区分について

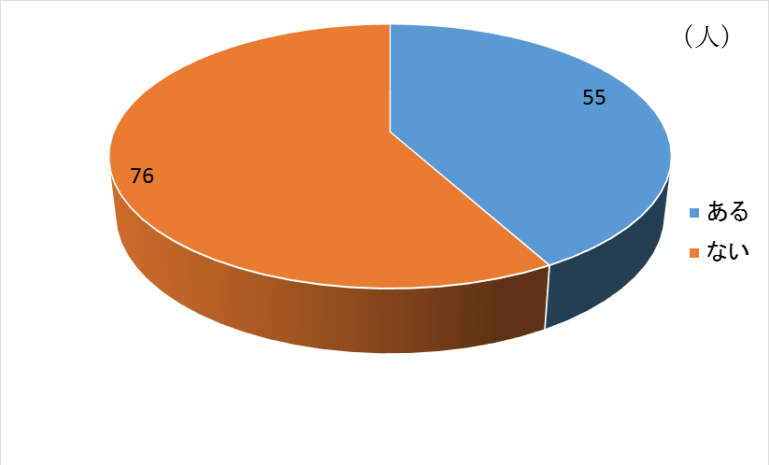


質問１　夜間・休日の急な病気などで困ったことがありますか？

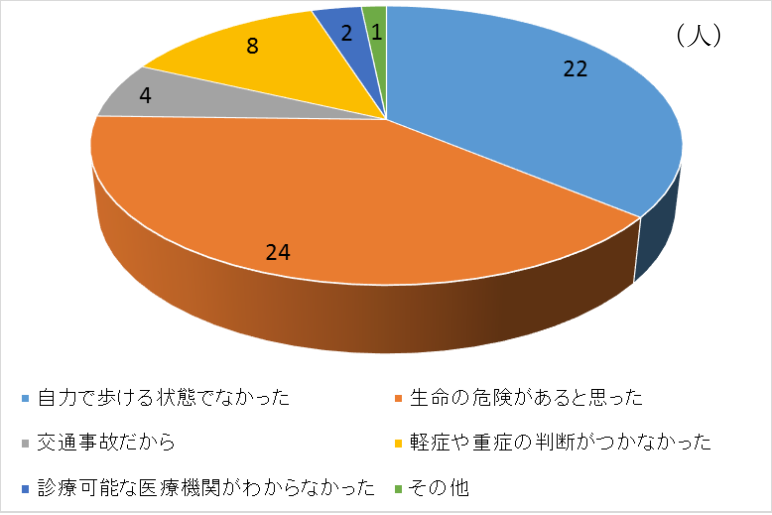


３７．４％の方が医療機関の休診中である夜間・休日に発生した急な病気で困った経験があると回答しています。

質問２　救急車を利用したことがありますか？

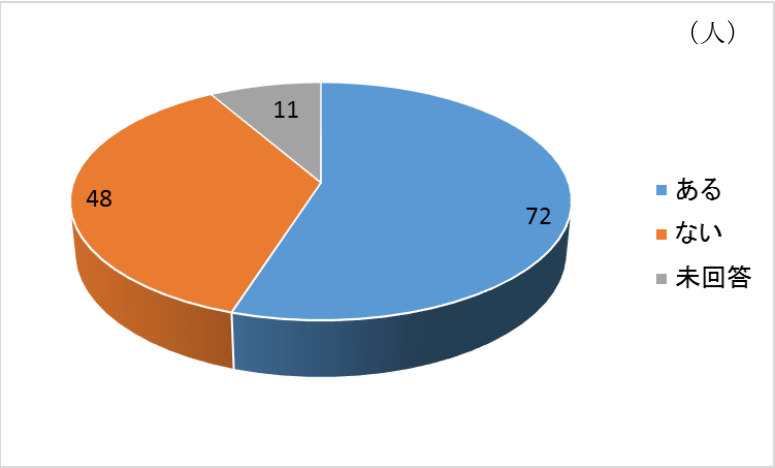


質問３　質問２で「ある」とお答えした方で、救急車を利用した理由はなんですか？（複数回答可）



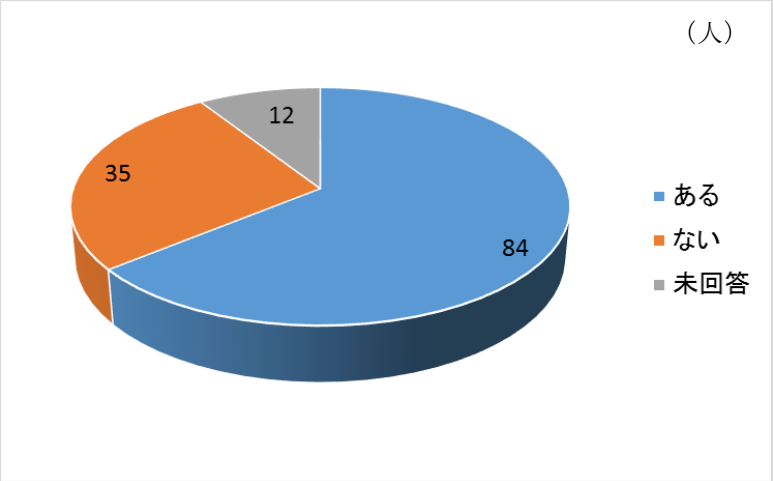
「自力で歩ける状態でなかった」などの理由が大半を占めていますが、中には「診察可能な医療機関がわからなかった」などの緊急を要しないと推測される回答も１８％あります。

質問４　持病がありますか？

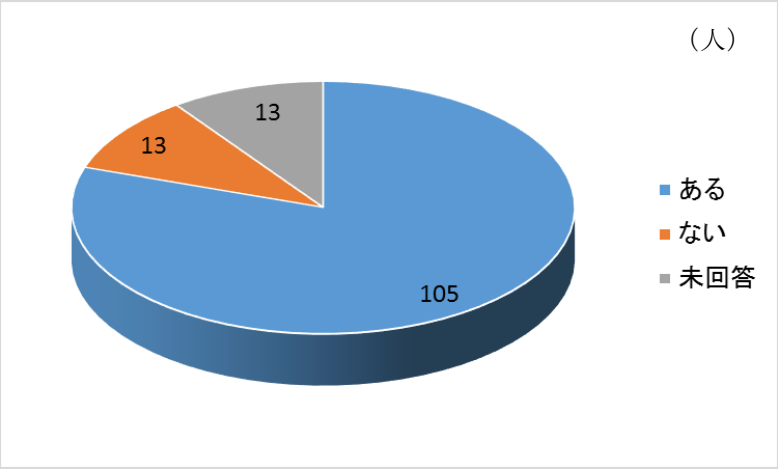


５５％の方がなんらかの持病があると回答しています。

質問５　普段から服用している薬はありますか？

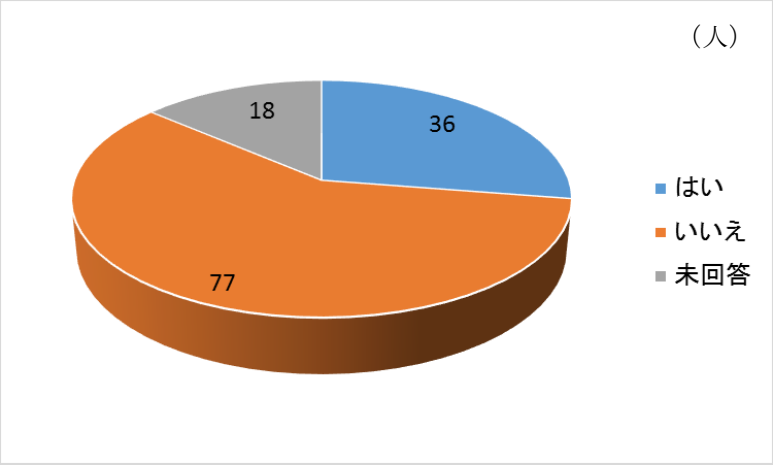


質問６　かかりつけ医を持っていますか？



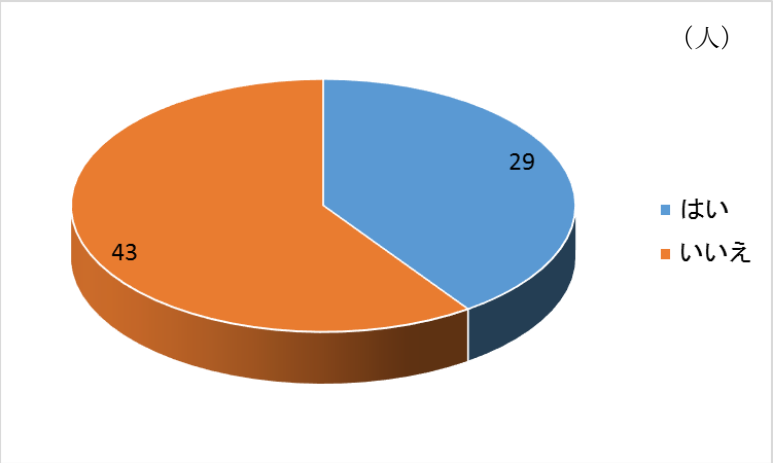
持病があるとの回答５５％に対して、かかりつけ医をお持ちの方は８０．２％となっており、持病はなくても、急な病気や普段の健康管理について、相談できる医師を持っておこうという意識がうかがえます。

質問７　急な病気などで困らないための方策を持っていますか？



急な病気などで困らないための方策を持っていると回答があったのは２７．５％で、半数以上の５８．８％の方は、持っていないとの回答です。

質問８　質問４で持病があると回答された方に質問します。
急な病気などで困らないための方策をお持ちですか？



質問４で、持病があると回答された７２名の方を対象に質問しましたが、５９．７％の方が急な病気などで困らないための方策を持っていないとの回答です。

今回のアンケートでは、多くの方が急な病気などの対処方法がわからずに困ったことがあり、約４２％の方が救急車を利用した経験があると回答しています。

また、「かかりつけ医を持っていますか？」という質問に対して、８０．２％の方が「持っている」と回答している一方で、「急な病気などで困らないための方策を持っていますか？」という質問に対して、５８．８％の方が「持っていない」という回答であり、差異のみられる結果となっています。

かかりつけ医というものが正しく理解されていないということと、かかりつけの医院や病院があったとしても夜間や休日の休診時には、頼ることができないということに原因があると思われます。

かかりつけ医とは、日頃から患者の体質や病歴、健康状態を把握し、診療行為のほか健康管理上のアドバイスなどもしてくれる身近な医師のことです。常日頃から患者の状況をくわしく把握しているので、夜間や休日であっても、いざというときに適切な対応を受けることができ、対応が困難な場合は専門医を紹介してくれます。

かかりつけ医の役割を正しく理解して、普段から健康管理上の相談ができる医師を持っておくことも「予防」という観点から重要となってきます。

8　おわりに

脳卒中に限らず、普段から病気の予防について考えておくことは、ご自分を守るだけでなく、大切な家族を守ることにも繋がります。

これを期に、ご自分や家族の健康を見直し、話し合いを持ちましょう。

救急車の適正な利用のお願い

救急車の出動件数が増加しています。
本当に緊急を要する方のために
救急車の適正な利用をお願いしています。
ご協力を宜しくお願いします。

Ⅲ　資料編

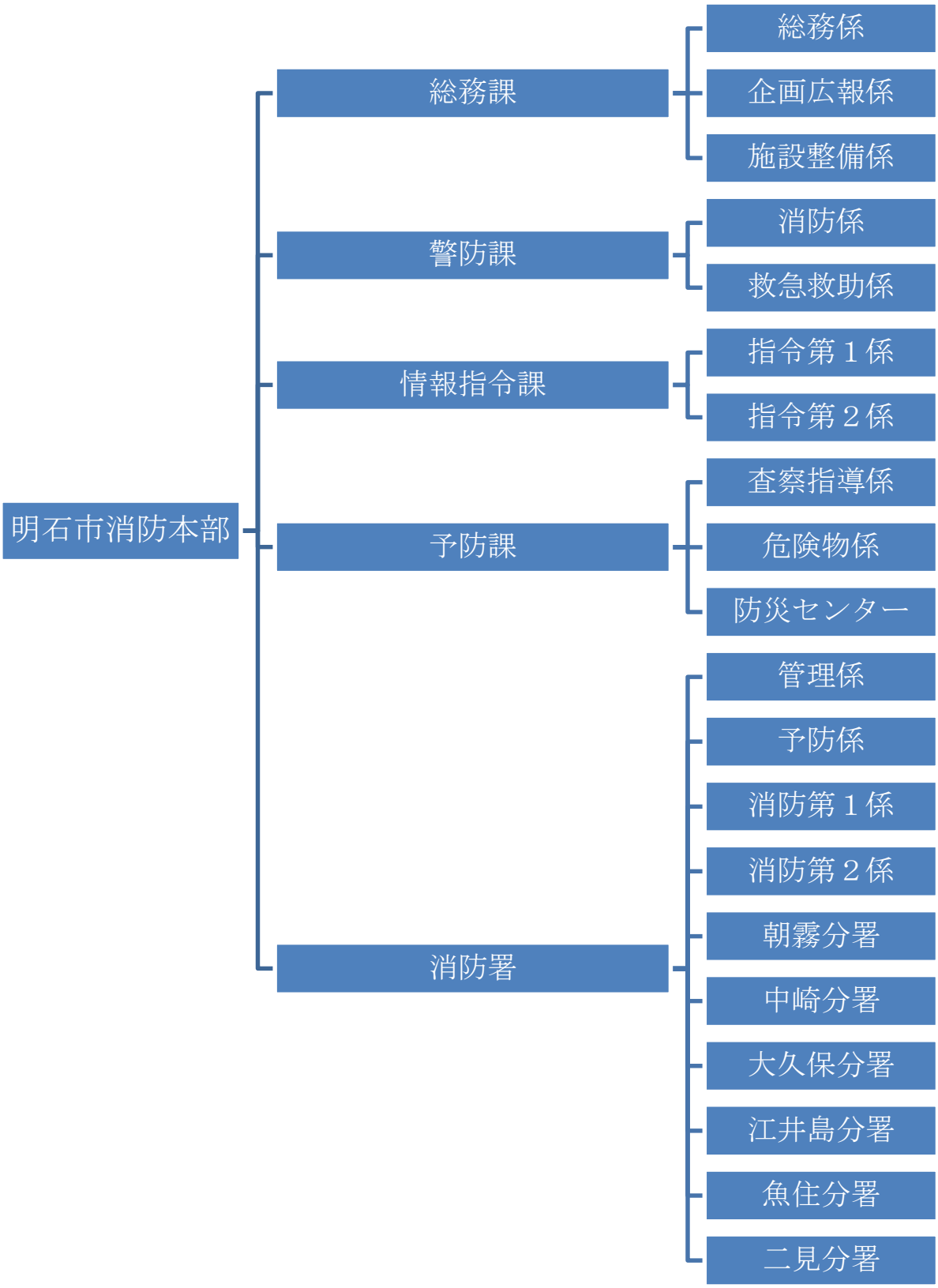
平成２４年度　「明石市消防本部の動き」

４月　１日	消防団辞令交付式	（消防本部）
４月　２日	消防本部辞令交付式	（消防本部）
４月　５日	兵庫県消防学校初任科入校式	（兵庫県消防学校）
４月１３日	東播地区消防団長会議	（明石市）
４月１５日	消防団森田班詰所竣工式	（明石市大久保町）
４月２７日	明石防火協会総会	（明石市防災センター）
５月１４日	婦人防火クラブ代表者会	（明石市防災センター）
５月１６日	全国消防長会救急委員会	（北海道）
５月１７日	東播地区庶務主管者会議	（稲美町）
５月２２日	水防協議会	（明石市役所）
５月２３日	東播地区予防主管者会議	（明石市）
６月　２日	明石市水防訓練	（王子小学校）
６月　４日	トライやるウィーク受入	（消防本部）
６月　５日	危険物防災講演会	（産業交流センター）
６月　６日	熱中症予防対策講習会	（明石市防災センター）
６月　８日	水防隊連絡会	（明石市）
６月　９日	乙種防火管理講習会	（明石市防災センター）
６月２４日	東播地区消防操法大会	（兵庫県広域防災センター）
６月２７日	東播地区警防主管者会議	（三木市）
７月　２日	婦人防火クラブ連絡協議会総会	（明石市防災センター）
７月　５日	兵庫県下救急担当者会議	（赤穂市）
７月　６日	防火協会視察研修	（長野県）
７月　８日	消防団新入団員効果測定会	（明石市中崎）
７月１４日	第４１回消防救助技術近畿地区指導会（大阪市消防学校）	
７月２６日	消防吏員採用試験	（消防本部　他）
８月　５日	兵庫県消防操法大会	（兵庫県広域防災センター）
８月２２日	婦人防火クラブ代表者会	（明石市防災センター）
９月　３日	救急救命士養成課程入校式	（兵庫県救急救命士養成所）
９月　９日	救急フェア	（イオンタウン明石）
９月１５日	消防吏員採用試験	（消防本部　他）
１０月　３日	東播地区庶務主管者会議	（高砂市）
１０月１７日	新型インフルエンザ対応訓練	（明石市民病院）
１０月２２日	東播地区予防主管者会議	（淡路市）
１０月２６日	兵庫県下予防担当者会議	（加古川市）

１０月２７日	緊急消防援助隊訓練	（兵庫県広域防災センター　他）
１０月２８日	明石市防災訓練	（二見小学校）
１０月３０日	全国消防長会秋季役員会	（福岡市）
１１月　２日	兵庫県下救助担当主管者会議	（宝塚市）
１１月　４日	消防団総合訓練	（明石市内）
１１月　５日	明石市救急医療懇談会	（明石市医師会館）
１１月２６日	消防操法大会（２６・２７日）	（消防本部）
１１月２８日	東播磨・北播磨・淡路地域メディカルコントロール協議会（明石市）	
１２月　１日	大規模救助救急事故対策訓練	（明石市荷山町）
１２月　７日	消防実務研修会	（兵庫県私学会館）
１２月１０日	婦人防火クラブ代表者会	（明石市防災センター）
１２月１３日	兵庫県石油コンビナート等総合防災訓練（加古川市）	
１２月２６日	消防団協力事業所表示制度交付式	（明石市役所）
１２月２６日	消防団年末特別警戒	（明石市内）
１月１３日	消防出初式	（明石市）
１月２４日	地域防災力検討会議	（明石市役所）
１月２５日	文化財防火デー消防訓練	（明石公園）
２月　１日	兵庫県下調査担当者会議	（兵庫県消防学校）
２月　８日	兵庫県下警防担当者会議	（丹波市）
２月１７日	東播地区若手消防団員意見発表会	（消防本部）
２月２２日	航空隊受援訓練	（明石市二見町）
２月２２日	兵庫県下消防長会　救助技術研究会（神戸市）	
２月２８日	東播地区消防本部ＮＢＣ災害対策合同訓練（高砂市）	
３月　１日	火災予防運動公開訓練	（イトーヨーカ堂明石店）
３月２５日	東播磨・北播磨・淡路地域メディカルコントロール協議会（明石市）	
３月２７日	明石高度救助隊愛称表彰式	（消防本部）

※　（　　）は開催場所

消防組織機構


明石市消防本部
総務課
総務係
企画広報係
施設整備係
警防課
消防係
救急救助係
情報指令課
指令第１係
指令第２係
予防課
査察指導係
危険物係
防災センター
消防署
管理係
予防係
消防第１係
消防第２係
朝霧分署
中崎分署
大久保分署
江井島分署
魚住分署
二見分署

事務分掌

総務課

総務係

- 公印に関すること。
- 文書の収受、発送及び配布に関すること。
- 連絡事務の調整及び行事の統制に関すること。
- 渉外に関すること。
- 消防に係る条例、規則等の審査及び解釈に関すること。
- 消防職員の定数及び配置に関すること。
- 消防職員の任免、分限、懲戒、賞罰、服務その他身分に関すること。
- 消防職員の教養計画に関すること。
- 消防職員の服制及び諸貸与品に関すること。
- 消防職員の公務災害及び消防団員等の災害補償に関すること。
- 消防職員委員会に関すること。
- 消防職員の安全衛生及び福利厚生に関すること。
- 消防職員の給与の基準に関すること。
- 消防職員の諸給与及び旅費の支給に関すること。
- 予算及び決算関係事務の統括に関すること。
- 物品の調達及び出納事務の統括に関すること。
- その他人事及び会計事務に関すること。
- 消防団事務に関すること。
- 消防本部及び課の庶務に関すること。
- その他他課係の所管に属さない事項に関すること。

企画広報係

- 消防行政の基本施策及び総合計画に関すること。
- 消防事務の企画、改善及び総合調整並びに重要事案の調査研究に関すること。
- 消防広報及び広聴活動の企画立案及び調整に関すること。
- 消防力の整備指針に関すること。
- 消防に関する資料の収集及び保存に関すること。
- その他企画広報に関すること。

施設整備係

- 消防施設の整備計画に関すること。
- 消防施設の維持管理に関すること。
- 消防施設の増改築及び営繕計画に関すること。
- 消防施設の使用に関すること。
- 消防施設の調査研究に関すること。
- 消防財産の統括に関すること。
- その他施設整備に関すること。

警防課

消防係

- 水火災、地震等の警戒及び防御に関すること。
- 消防活動及び消防技術の研究に関すること。
- 消防訓練等に係る企画、立案及び調整に関すること。
- 火災警報に関すること。
- 消防法、水防法及び災害対策基本法に基づく応急措置命令に関すること。
- 火災の原因及び損害に関すること。
- 都市計画に係る警防に関すること。
- 消防水利計画に関すること。
- 消防相互応援協定及び緊急消防援助隊に関すること。
- 水防資器材の配置運用に関すること。
- 自動車、消防機械器具の設計、配置、保守管理及び性能検査に関すること。
- 消防機械器具の開発及び改良に関すること。
- 機関員（消防自動車、救急自動車その他消防業務の用に供する車両を運転し、これらの車両に装備された消防ポンプその他の機器を操作する者をいう。）の認定事務等に関すること。
- 消防に係る補助金等に関すること。
- 公用車の事故防止及び事故処理の調整に関すること。
- 防災関係機関との連絡調整に関すること。
- 火災の統計に関すること。
- その他消防警備及び装備に関すること。
- 課の庶務に関すること。

救急救助係

- 救急救助業務の基本計画に関すること。
- 救急救助資器材の配置及び開発に関すること。
- 救急救助技術の研究及び指導に関すること。
- 救急救助隊員の教育及び訓練に関すること。
- 感染防止対策に関すること。
- メディカルコントロール体制に関すること。
- 救急救助活動の事後検証に関すること。
- 救急救助統計に関すること。
- 応急手当の普及啓発に関すること。
- その他救急救助業務に関すること。

情報指令課

指令第１係及び指令第２係

- 災害発生通報の受信及び出動指令に関すること。
- 警防活動に必要な部隊の運用及び通信統制に関すること。
- 災害現場への情報支援並びに災害時の情報収集及び管理に関すること。
- 消防通信施設の整備計画、維持管理及び技術指導に関すること。
- 救急医療情報の収集及び気象情報等の受理伝達に関すること。
- 職員の非常召集に関すること。
- 関係機関への連絡及び出動要請に関すること。
- 消防緊急情報システムの運用及び保守管理に関すること。
- 消防緊急情報システムで処理するデータの管理に関すること。
- その他情報指令業務に関すること。
- 課の庶務に関すること。

予防課

査察指導係

- 火災予防広報に関すること。
- 防火思想の啓発に関すること。
- 防火対策の計画及び調査研究に関すること。
- 建築確認及び建築許可の同意に関すること。

- 消防用設備等の設置に関する指導及び規制に関すること。
- 防火対象物の査察及び違反是正に関すること。
- 予防査察計画に関すること。
- 防火管理者の講習及び指導に関すること。
- 防災センターに関すること。
- 応急手当の普及啓発活動の企画、立案及び推進に関すること。
- 自主防災組織の育成指導に関すること。
- 自衛消防隊の育成指導に関すること。
- その他火災予防に関すること。
- 課の庶務に関すること。

危険物係

- 危険物の指導及び規制に関すること。
- 指定数量未満の危険物及び指定可燃物の貯蔵取扱い関すること。
- 危険物及び指定可燃物の査察及び違反是正に関すること。
- 火薬類取締法、高圧ガス保安法又は、液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律に基づく事務のうち知事の権限に属する事務に係る事務処理の特例に関する条例により本市が処理することと定められたもの。
- その他危険物等に関すること。

消防署

管理係

- 公印の保管に関すること。
- 公文書の収受、発送及び保存に関すること。
- 諸証明に関すること。
- 消防署所属職員の服務及び教養に関すること。
- 消防本部及び分署との連絡調整に関すること。
- 消防署の庶務に関すること。
- 他係の所管に属さない事項に関すること。

予防係

- 火災予防の指導に関すること。
- 火災予防の査察及び違反処理に関すること。

消防第１係及び消防第２係

- 水火災の警戒、防除及び防御計画に関すること。
- 救急活動に関すること。
- 救助活動に関すること。
- 地水利調査に関すること。
- 火災原因及び損害の調査に関すること。
- 消防訓練に関すること。
- 自主防災組織等の訓練指導に関すること。
- 消防自動車及び消防機械器具の整備管理及び運用に関すること。
- 機関員の訓練及び消防機械器具等の操作技術の指導に関すること。
- 防火対象物の査察の実施に関すること。
- その他署長の命ずること。

事務分掌は、平成２５年４月１日現在

1　総務課関係

(1)　市勢と消防

平成２５年４月１日現在

区分 / 地区	面積(K㎡)	人口	世帯	人口密度（1K㎡当）
本　　庁	16.34	132,749	58,391	8,124
大 久 保	16.31	79,486	29,662	4,873
魚　　住	10.62	49,134	19,444	4,627
二　　見	5.98	28,980	11,476	4,846
全　　市	49.25	290,349	118,973	5,895

消防本部（署）				消防団員			
消防職員	条例定数		233	消防団員	条例定数		1,040
	職員数（うち再任用職員8名を含む。）		249		団員数		1,040
	消防職員一人当たり	面積（K㎡）	0.20		消防団員一人当たり	面積（K㎡）	0.05
		人口	1,246			人口	279
		世帯	511			世帯	114
消防ポンプ自動車	台数		11	消防ポンプ自動車（小型動力含）	台数		46
	消防ポンプ自動車一台あたり	面積（K㎡）	4.48		消防ポンプ自動車一台あたり	面積（K㎡）	1.07
		人口	26,395			人口	6,312
		世帯	10,816			世帯	2,586

平成２５年４月１日現在

⑵　消防庁舎の配置と現況

①朝霧分署（明石市朝霧町３丁目１０番１号・鉄筋コンクリート鉄骨造４階建）

敷地面積　６２３．８５㎡　　建築面積　２２０．８２㎡　　延面積　４１８．８２㎡

昭和４６年５月竣工～平成１０年増改築（救急消毒室設置）

②中崎分署（明石市中崎１丁目６番２０号・鉄筋コンクリート造４階建）

敷地面積　１，５５１．４９㎡　　建築面積　６２１．０５㎡　　延面積　２，１８４．９５㎡

昭和４７年６月竣工～平成１５年４月１４日消防本部機能移転に伴い以後、中崎分署として存続～平成２１年３月救急消毒室設置

③消防本部・消防署・防災センター

（明石市藤江９２４番地の８・鉄筋コンクリート鉄骨造４階建）

敷地面積　６，０１１．３５㎡　　建築面積　１，６９９．２６㎡　　延面積　５，４６５．７２㎡

平成１５年２月竣工

④大久保分署（明石市大久保町西脇３６４番地の１２・鉄筋コンクリート鉄骨造２階建）

敷地面積　１，２１１．４８㎡　　建築面積　３５５．１１㎡　　延面積　　６０４．７５㎡

昭和５１年１月竣工～平成３年９月増築～平成２３年１月増改築

⑤江井島分署（明石市大久保町江井島７９４番地の８・鉄筋コンクリート造２階建）

敷地面積　７１４．８４㎡　　建築面積　　１９１．０６㎡　　延面積　　３３５．６０㎡

昭和６０年３月竣工～平成２３年３月増改築

⑥魚住分署（明石市魚住町西岡５００番地・鉄筋コンクリート造２階建）

敷地面積　４６０．６６㎡　　建築面積　１５６．４０㎡　　延面積３０１．３７㎡

昭和４４年４月竣工～昭和５６年３月増築～平成８年３月救急消毒室設置～平成１２年１１月改修

⑦二見分署（明石市二見町西二見７６７番地の３・鉄筋コンクリート造２階建）

敷地面積　８１９．０２㎡　　建築面積　２６８．８８㎡　　延面積　５３６．７７㎡

昭和５７年竣工～平成１７年２月増改築

⑶　一般会計と消防費の比較

区分／年度	人　口	世 帯 数	消防職員	一般会計（千円）	消防費（千円）	比率	市民一人あたりの消防費（円）	一世帯あたりの消防費（円）	備考
15	291,598	109,590	224	89,540,053	2,474,827	2.8%	8,487	22,583	
16	291,890	110,988	233	92,694,994	2,765,504	3.0%	9,474	24,917	二見分署増改築
17	291,687	112,176	233	89,192,247	2,568,668	2.9%	9,096	23,651	
18	290,674	112,160	237	86,696,613	2,537,859	2.9%	8,731	22,627	
19	290,878	113,541	237	85,139,474	2,461,902	2.9%	8,464	21,683	
20	291,927	115,489	244	90,769,458	2,646,911	2.9%	9,067	22,919	
21	292,443	117,049	239	89,714,452	2,624,457	2.9%	8,974	22,422	
22	292,550	118,534	248	94,800,600	2,680,900	2.8%	9,164	22,617	江井島・大久保分署増改築
23	290,776	117,392	245	96,743,146	2,900,503	3.0%	9,975	24,708	
24	290,493	118,168	244	94,117,379	2,573,055	2.7%	8,857	21,775	
25	290,349	118,973	249	103,827,974	2,517,653	2.4%	8,671	21,162	

⑷　職員の配置状況　　平成２５年４月１日現在

所属＼階級		総数	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の職員	再任用職員
条 例 定 数		233										
職　員　数		249	1	3	20	47	46	70	0	52	2	8
消防本部	消 防 長	1	1									
	次　長	2		2								
	総 務 課	21			3	6	1	1		9	1	
	警 防 課	7			3	2	1			1		
	情報指令課	19			3	3	2	10			1	
	予 防 課	19			3	3	1	3		1		8
	小　計	69	1	2	12	14	5	14	0	11	2	8
消防署	消 防 署	54		1	6	9	10	20		8		
	朝霧分署	20				4	4	6		6		
	中崎分署	36			2	6	9	12		7		
	大久保分署	20				4	6	4		6		
	江井島分署	10				2	2	5		1		
	魚住分署	20				4	4	5		7		
	二見分署	20				4	6	4		6	0	
	小　計	180	0	1	8	33	41	56	0	41	0	0

⑸　職員の任用状況

区分／年度	採用	退職	任 消防正監	任 消防監	任 消防司令長	任 消防司令	任 消防司令補	任 消防士長	任 消防副士長	市から出向	市へ出向	兵庫県へ 派遣	明石市 併任
平成15年	6	6		1	1	5	2	7		2	1	2	○1
平成16年	12	3	1	2	2	2	2	8		0	1	1	○1
平成17年	7	4	1		2	4	6	6		2	0	1	○1
平成18年	9	6	1		1	8	4	7		0	0	1	○1
平成19年	8	7			5	7	6	10		2	2	2	○2
平成20年	16	9	1	1	5	7	4	7		2	1	2	○2
平成21年	10	14	1	1	8	8	7	9		1	1	1	○2
平成22年	7	13		1	3	6	11	5		0	1	1	○2
平成23年	10	7	1	1	1	7	7	8		1	1	1	○3
平成24年	9	5	1	2	1	1	8	7		1		1	○3
平成25年	9	7			2	5	2	4			1	2	○3

⑹　職員の表彰等受賞状況

区分＼階級		総数	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の 職員
消防庁長官	功　労　章	0									
	永年勤続功労章	2			2						
兵庫県知事	功　労　章	3			2	1					
	永年勤続功労章	4				3		1			
	救急業務功労章	1				1					
市　長	永年勤続表彰	0									
消防長	永年勤続表彰	16		1	7	8					
	特別優良職員表彰	0									
	優良職員表彰	2						2			
消防団長	感　謝　状	5					5				

⑺　消防学校等への入校状況

学校名	科　目		期　間	対　象	人　員
消　防　大　学　校	新任消防長科		１１日間	消防正監	1
	危機管理・防災教育科	危機管理・国民保護コース	５日　間	消防監	1
		自主防災組織育成コース	５日　間	消防司令	1
	緊急消防援助隊教育科	NBCコース	１０日間	消防司令補	1
	専科教育	新任教官科	１１日間	消防司令	1
	専科教育	救助科	５２日間	消防司令補	1
兵　庫　県　消　防　学　校	初任教育		６月　間	新規採用吏員	9
	専科教育　救助科		２１日間	消防士長	2
	幹部教育　中級幹部科		７日　間	消防司令	2
	専科教育　警防科		１０日間	消防司令捕	2
	専科教育　特殊災害科		１０日間	消防司令捕・消防士長	2
	専科教育　救急科		３８日間	消防士	9
	専科教育　火災調査科		１０日間	消防司令捕・消防士長	2
	幹部教育　上級幹部科		３日　間	消防司令長	1
	幹部教育　危険物科		５日　間	消防士長	2
	山岳救助技術研修会		３日　間	消防士長	1
兵庫県救急救命士養成所	救急救命士		７月　間	消防士長	1
	気管挿管(救急救命士)		32 日間	消防司令補	2
救　急　救　命　東　京　研　修　所	救急救命士		７月　間	消防士長	1
安　全　運　転　中　央　研　修　所	消防緊急運転技能者研修		４日　間	消防司令補	1

⑻　消防団事項

ア　団員の階級別分団人員

区分＼階級	総　数	団　長	副団長	分団長	副分団長	部　長	班　長	団　員
条例定数	1,040							
実　員	1,040	1	4	8	8	8	49	962
団　長	1	1						
副団長	4		4					
第1分団	100			1	1	1	6	91
第2分団	131			1	1	1	6	122
第3分団	226			1	1	1	11	212
第4分団	171			1	1	1	8	160
第5分団	172			1	1	1	8	161
第6分団	118			1	1	1	5	110
第7分団	71			1	1	1	3	65
第8分団	46			1	1	1	2	41

平成２５年４月１日現在

イ　団員の年齢

階級＼年齢	20歳未満	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60歳以上
合　計	17	74	139	189	241	203	156	8	6	7
団　長										1
副団長								1	1	2
分団長						1		1	3	3
副分団長						2	2	3		1
部　長							6	1	1	
班　長			1	6	14	8	17	2	1	
団　員	17	74	138	183	227	192	131			

平成２５年４月１日現在

ウ　団員の表彰等受章状況

区分＼階級			総数	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
褒　章										
消防庁長官	功　労　章		0							
	永年勤続功労章		1			1				
兵庫県知事	功　労　章		0							
	永年勤続功労章		6					1	3	2
	家　族　の　賞		15					1		14
	親子二代の賞		0							
	永年勤続５０年		0							
日本消防協会長	功　績　章		1			1				
	精　績　章		2					2		
	勤　続　章		2			1	1			
兵庫県消防協会長	功　績　章		3				3			
	精　績　章		5						5	
	勤　続　章		3				1		2	
	精　勤　章		17					1	9	7
	家族の賞	30年	2			1	1			
		40年	1		1					
		50年	0							
市長	市政功労表彰		2				2			
	優良団員表彰		32						8	24
	家　族　の　賞		15					1	2	12
団長	優良団員表彰		33						2	31
消防長	優良団員表彰		33						4	29

エ　消防団機械器具状況

区分 / 分団	消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ付積載車	小型動力ポンプ	総数
合　　計	1	46	1	48
第　1　分　団	1	4		5
第　2　分　団		6		6
第　3　分　団		10	1	11
第　4　分　団		8		8
第　5　分　団		8		8
第　6　分　団		5		5
第　7　分　団		3		3
第　8　分　団		2		2

平成２５年４月１日現在

2　警防課関係

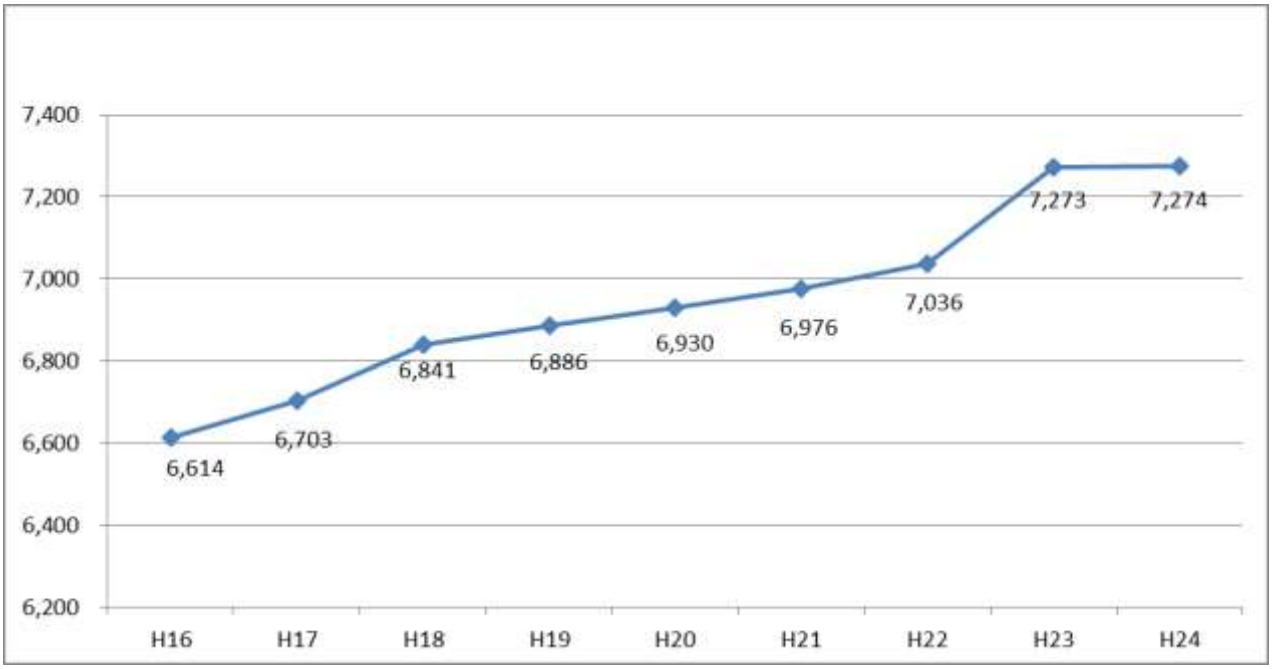
⑴　消防水利現況

平常時及び震災時等の火災発生に備え、市内全域を対象に消火栓及び耐震性防火水槽の整備を図っています。また、大規模な建築物には私設の防火水槽の設置を指導しています。

区分＼地区別	明石地区	大久保地区	魚住地区	二見地区	総数
消火栓	3,256	2,047	1,165	806	7,274
公設防火水槽	75	60	24	26	185
私設防火水槽	103	62	40	39	244
飲料水兼用耐震性貯水槽	7	1	0	1	9
プール	26	15	8	7	56

平成２５年４月１日現在

⑵　消火栓の設置推移



⑶　特別警戒状況

年末年始には、消防本部、消防署、消防団等で、特別警戒を行い火災予防に努めています。

また、大規模なイベントが実施されるときには、警戒・警備本部を設置して災害に対応できる体制を整えています。

	回数	時間	人員	警戒地域	期間
年末特別消防巡ら警戒	180	144時間 35分	628	市内全域	12月10日～ 12月31日
年始特別消防巡ら警戒	92	82時間 27分	364	市内全域	1月1日～ 1月10日

⑷　訓練指導等の実施状況

内容＼対象		自主防災組織等	宿泊施設 事業所等	小・中・高 各種学校等	幼稚園・保育園	その他各種団体	合計
防火指導	実施回数	88	104	29	53	17	291
	参加人員	4,573	10,228	15,593	6,143	608	37,145
防災指導	実施回数	17	2	2	0	0	21
	参加人員	2,100	82	635	0	0	2,817
救急指導	実施回数	18	10	22	6	8	64
	参加人員	676	268	879	222	406	2,451
救命講習	実施回数	28	51	42	5	39	165
	参加人員	640	861	1,001	91	658	3,251
施設見学	実施回数	4	12	17	18	48	99
	参加人員	135	249	1,140	666	1,648	3,838
合計	実施回数	155	179	112	82	112	640
	参加人員	8,124	11,688	19,248	7,122	3,320	49,502

⑸　消防車両現有表

平成２５年４月１日現在

区分／署所		自動車																			小型動力ポンプ
		水槽付消防ポンプ自動車	梯子付消防自動車（４０Ｍ）	梯子付消防自動車（３０Ｍ）	化学消防ポンプ自動車	消防ポンプ自動車	多目的コンテナ車	救急自動車	救助工作車Ⅲ型	救助工作車Ⅱ型	緊急作業車	緊急輸送車	指揮先行車	査察広報車	指揮車	応急手当普及広報車	広報車（軽四）	支援車Ⅰ型	連絡車	合計	
消防本部														2	2	1	2		3	10	
消防署	消　防　署	2		1	1		1	2	1			1	1	1				1		12	2
	朝 霧 分 署					1		1			1									3	
	中 崎 分 署	2	1			1		2		1	1									8	2
	大久保分署	2						1			1									4	
	江井島分署					1		1			1									3	
	魚 住 分 署	1						1			1									3	1
	二 見 分 署				1			1			1									3	1
計		7	1	1	2	3	1	9	1	1	6	1	1	3	2	1	2	1	3	46	6
経過年数	４ 年 未 満	3			1		1	3		1								1	1	11	
	５ 年 未 満					2		1												3	
	６ 年 未 満	1									1									2	1
	７ 年 未 満							1			1	1			2					5	
	８ 年 未 満					1		1			2		1	1						6	1
	９ 年 未 満							2			2									4	
	１０年未満	1												1			1			3	
	１１年未満																			0	2
	１２年未満			1	1									1						3	
	１３年未満	2						1											1	4	
	１４年未満																			0	
	１５年未満								1										1	2	
	１５年以上		1													1	1			3	2

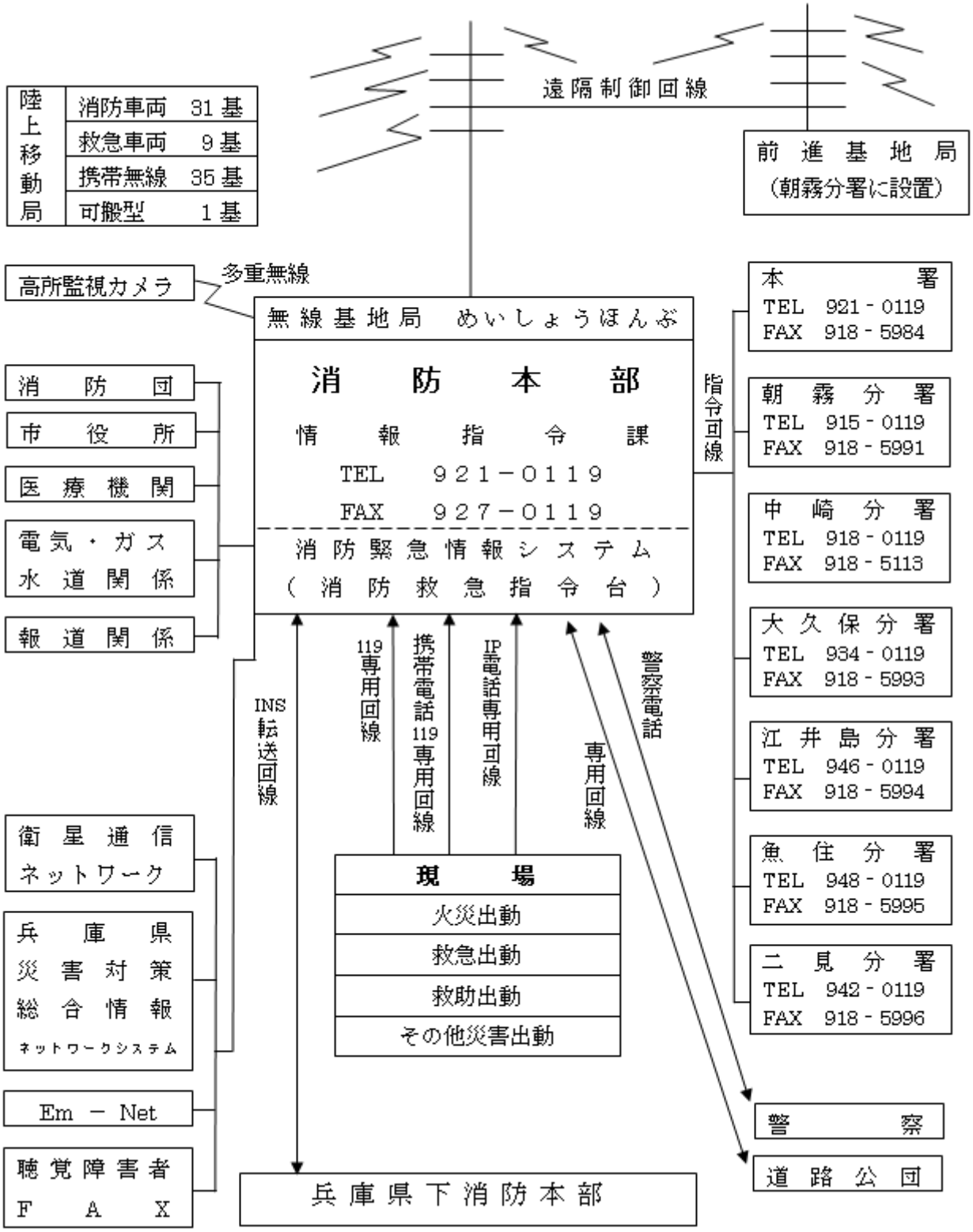
⑹　消防機器現有表

平成２５年４月１日現在

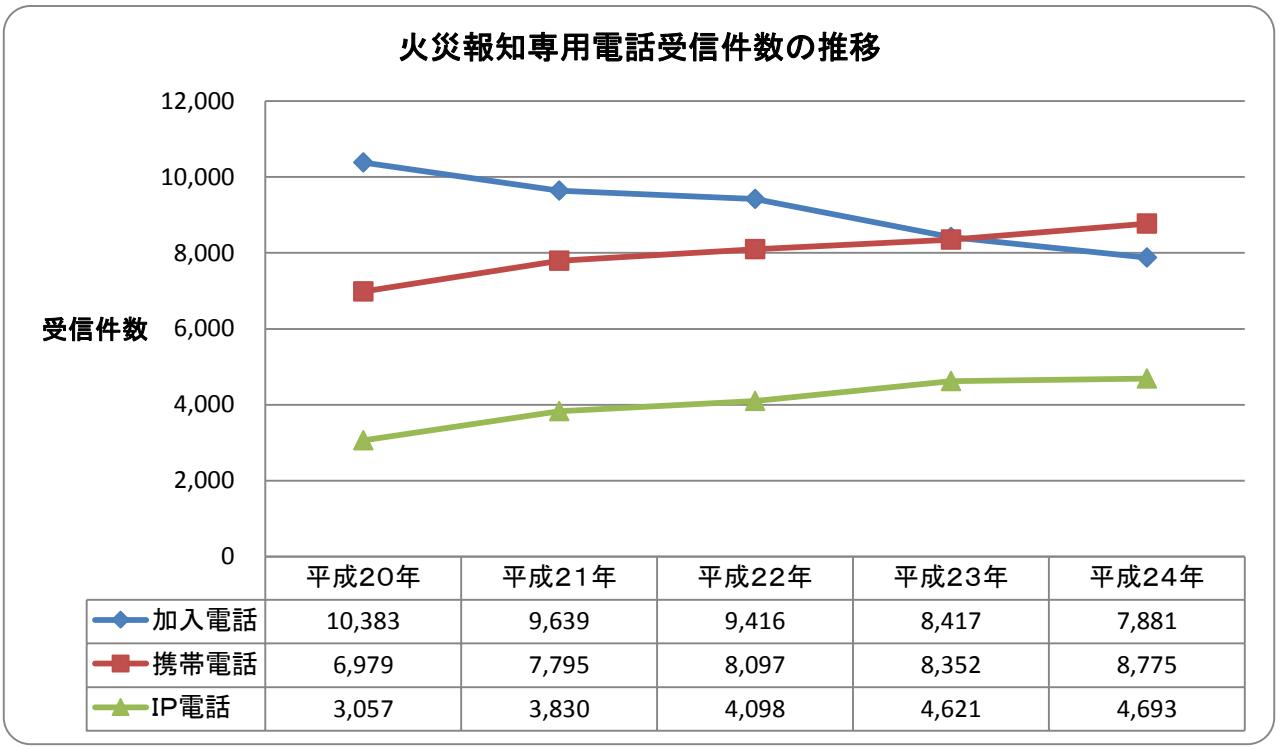
所属	車両番号	用途別	車名	年式	車齢
本部	神戸３０２そ６６０９	連絡車	トヨタ	22	2
	神戸５００ほ４８２６	連絡車	日産	12	12
	神戸３００せ２０４８	連絡車	日産	10	14
	神戸　４３さ４８７２	総務広報車	ダイハツ	15	9
	神戸８００す９８９６	警防指揮車	三菱	18	6
	神戸　４１ゆ６２７９	警防広報車	ダイハツ	9	15
	神戸　４１よ１７９６	警防広報車	ホンダ	9	15
	神戸８００す３６００	査察広報車	三菱	15	9
	神戸８００す９７８５	査察広報車	日産	13	11
消防署	神戸８００は　４８５	梯子付消防自動車（３０Ｍ）	日産ディーゼル	13	11
	神戸８００は２３０３	災害支援車	日野	23	2
	神戸８００は２３０５	Ⅱ型化学消防ポンプ自動車	日野	23	2
	神戸８３０そ　１１９	救助工作車Ⅲ型	日野	11	14
	神戸８００は２１０７	水槽付消防ポンプ自動車	日野	22	3
	神戸８３０せ　２４０	水槽付消防ポンプ自動車	日野	12	12
	神戸８００す８７７０	指揮先行車	日産	17	7
	神戸８００す６３４１	災害対応特殊救急車	トヨタ	16	8
	神戸８００せ５０４６	災害対応特殊救急車	日産	21	4
	神戸８００す８５７４	査察広報車	日産	17	7
	神戸　１１の５７８６	応急手当普及広報車	トヨタ	7	17
	神戸８００せ１３３８	緊急輸送車（トラック）	日産	19	6
	神戸８００は２５１９	多目的災害対応コンテナ車		24	1
	―	小型動力ポンプ	シバウラ	12	13
	―	小型動力ポンプ	シバウラ	14	11
朝霧分署	神戸８００せ４７６６	災害対応特殊消防ポンプ自動車	日野	21	4
	神戸８００せ１４５１	救急自動車（高規格）	トヨタ	19	6
	神戸８００す６９５５	緊急作業車	日産	17	8
中崎分署	神戸　８８や６１０９	梯子付消防自動車（４０Ｍ）	日産ディーゼル	7	18
	神戸８００は２５２３	水槽付消防ポンプ自動車	日野	24	1
	神戸８００さ６９７３	水槽付消防ポンプ自動車	いすゞ	12	13
	神戸８００す９１１８	消防ポンプ自動車	いすゞ	18	7
	神戸８００せ６３３３	災害対応特殊救急車	日産	22	3
	神戸８００さ７８３５	災害対応特殊救急車	トヨタ	13	12
	神戸８００せ　３３７	緊急作業車	日産	18	12
	神戸８００は２４６８	救助工作車Ⅱ型	日野	23	2
	―	小型動力ポンプ	ラビット	12	13
大久保分署	神戸８００は１７１２	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車	日野	19	5
	神戸８００す４２０７	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車	日野	15	9
	神戸８００す８５４５	救急自動車（高規格）	トヨタ	17	7
	神戸８００せ２２３４	緊急作業車	日産	19	5
江井島分署	神戸８００せ７６９０	災害対応特殊救急車	日産	23	2
	神戸８００せ４７６７	災害対応特殊消防ポンプ自動車	日野	21	4
	神戸８００す７６３８	緊急作業車	日産	17	7
魚住分署	神戸８００そ　６１７	小型水槽付消防ポンプ自動車	トヨタ	25	0
	神戸８３０　１１７３	災害対応特殊救急自動車	トヨタ	25	0
	神戸８００す７６３７	緊急作業車	日産	17	7
二見分署	神戸８００は　５３３	Ⅱ型化学消防ポンプ自動車	日野	14	11
	神戸８００す６３４０	災害対応特殊救急車	トヨタ	16	8
	神戸８００す６９５６	緊急作業車	日産	17	8

3　情報指令課関係

⑴　消防通信系統図

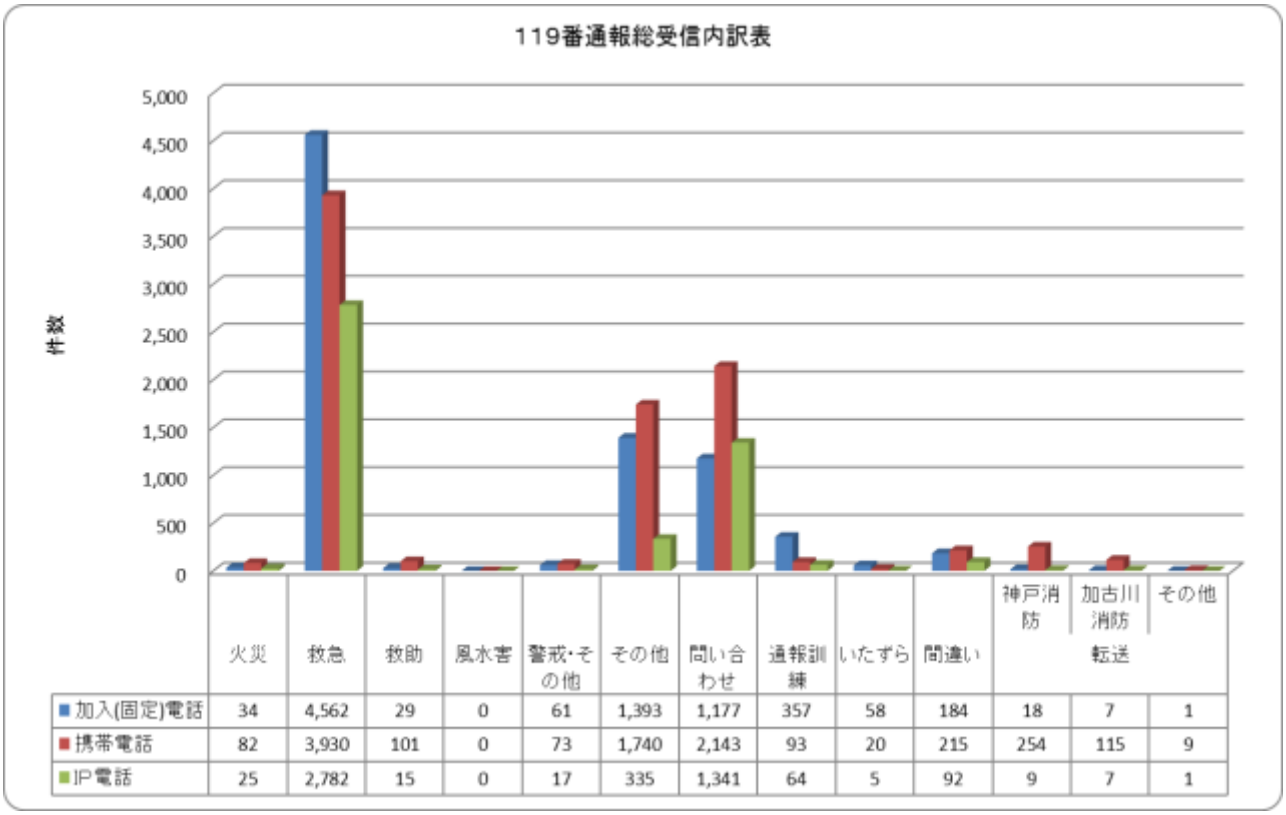


⑵　火災報知専用電話受信件数の推移



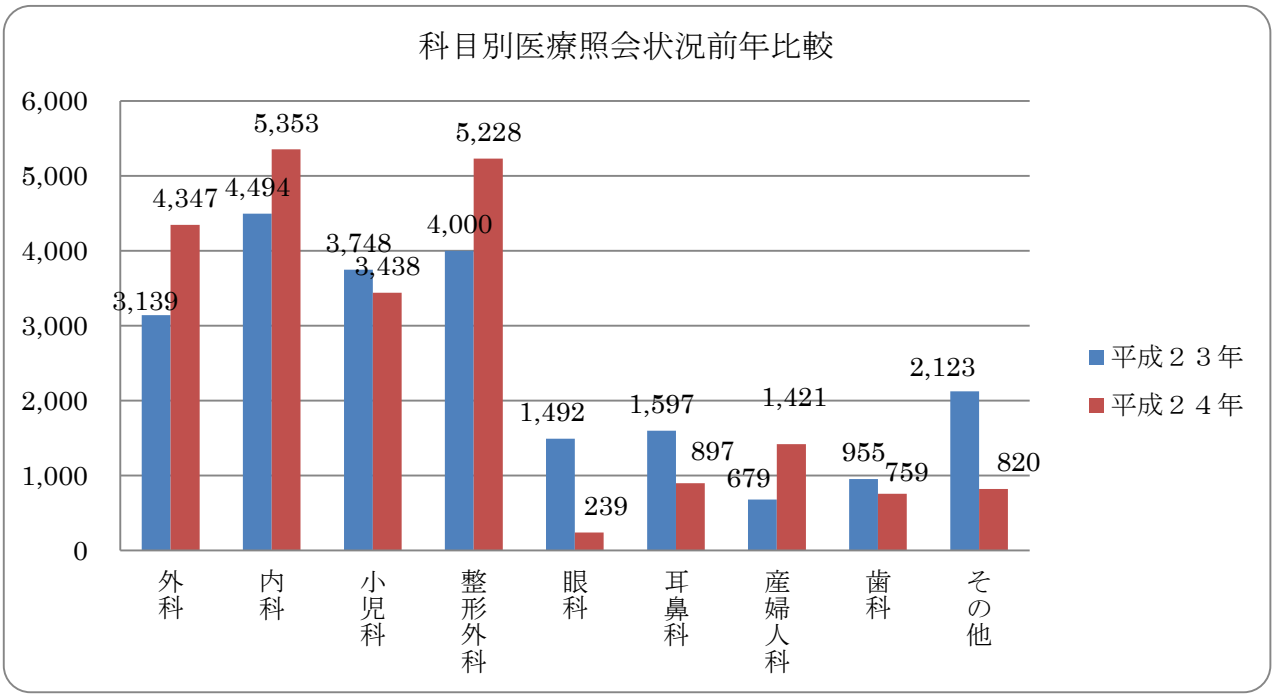
	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
加入電話	10,383	9,639	9,416	8,417	7,881
携帯電話	6,979	7,795	8,097	8,352	8,775
IP電話	3,057	3,830	4,098	4,621	4,693

⑶　１１９番通報総受信内訳表

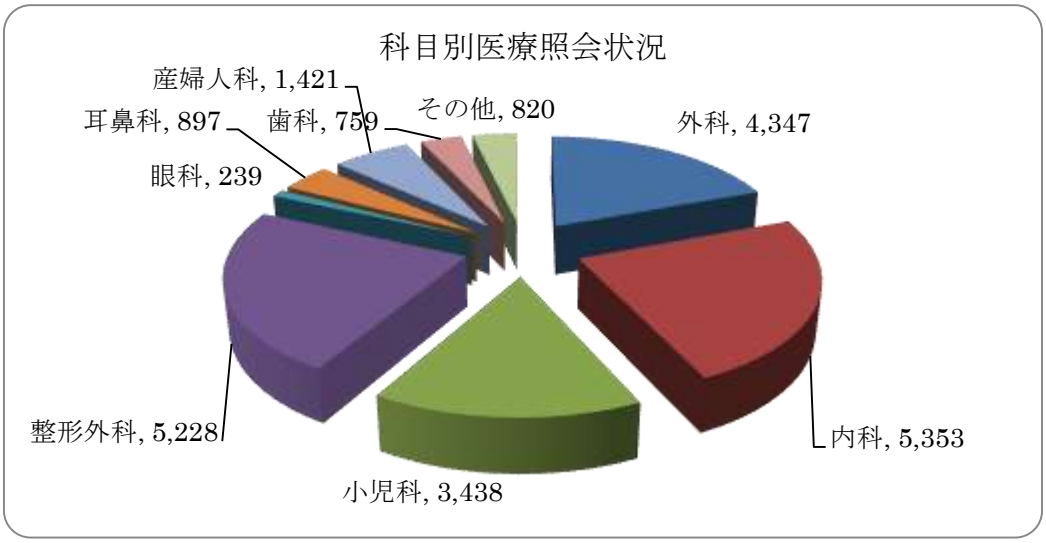


	火災	救急	救助	風水害	警戒・その他	その他	問い合わせ	通報訓練	いたずら	間違い	転送 神戸消防	転送 加古川消防	転送 その他
加入(固定)電話	34	4,562	29	0	61	1,393	1,177	357	58	184	18	7	1
携帯電話	82	3,930	101	0	73	1,740	2,143	93	20	215	254	115	9
IP電話	25	2,782	15	0	17	335	1,341	64	5	92	9	7	1

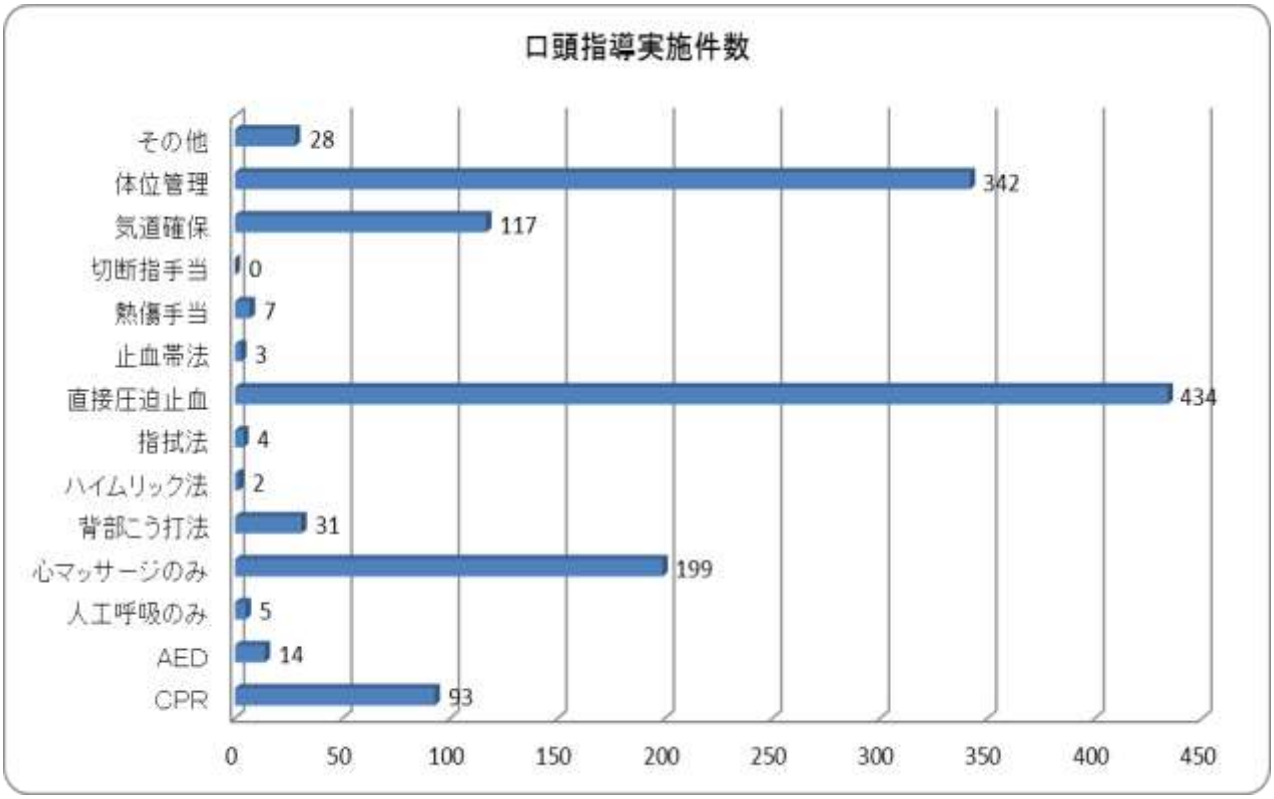
⑷　科目別医療照会状況



科目	平成２３年	平成２４年
外　　科	3,139	4,347
内　　科	4,494	5,353
小　児　科	3,748	3,438
整 形 外 科	4,000	5,228
眼　　科	1,492	239
耳　鼻　科	1,597	897
産 婦 人 科	679	1,421
歯　　科	955	759
そ　の　他	2,123	820
合　　計	22,227	22,502



⑸　口頭指導実施状況



※平成２４年から、それまで情報指令課が把握できた回数のみで統計処理していたものを、各救急隊の報告によるものを含めて計上し、より正確な数値を統計処理できる方法に変更したことで件数が急増しています。

⑹　気象状況

項目＼月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
気温	最高(℃)	10.3	12.1	18.2	25.5	27.4	29.3	34.5	35.0	32.9	26.9	19.3	14.6
	日	1日	23日	30日	29日	28日	26日	31日	4日	16日	3日	6日	15日
	最低(℃)	-1.9	-4.7	-0.7	0.5	7.3	16.8	19.1	21.5	17.3	9.1	1.9	-2.6
	日	26日	3日	13日	8日	13日	4日	9日	9日	28日	24日	28日	27日
最多風向		西南西	西北西	北	北北東	北北東	西	南南東	南南東	北	北北東	西北西	西北西
平均風速(m/sec)		2.6	2.5	2.3	2.0	2.0	1.5	1.5	1.9	2.0	2.1	2.4	2.7
平均湿度(%)		45.7	50.2	52.6	49.0	43.0	54.5	59.8	46.3	54.1	46.8	45.9	48.4
降水量（mm）		24.5	70.0	103.5	91.0	29.0	203.0	163.0	31.0	149.0	82.5	79.0	88.0

年間平均気温	年間最高気温	年間最低気温	年間最多風向	年間平均風速	年間降水量
15.7	35.0	-4.7	北北東	2.1	1113.5
	8月4日	2月3日			

(7) 気象情報の受信状況

項目＼月		１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	合計
警報	暴風雪													0
	大雨						2	5	2	1	1			11
	洪水						2	5	2	1	1			11
	暴風				1		1			1				3
	大雪													0
	波浪				1		1			1				3
	高潮													0
	小計	0	0	0	2	0	6	10	4	4	2	0	0	28
注意報	大雨			1	1	3	9	18	15	12	4	2		65
	大雪		1											1
	風雪		1											1
	雷	2	3	7	9	8	13	17	13	10	5	6	6	99
	強風	4	3	5	7	5	6	1	3	3	3	8	9	57
	波浪	4	3	5	7	5	6	1	3	3	3	8	9	57
	洪水			1	1	3	9	17	15	13	4	2		65
	高潮				1		2	5	6	1	1	1		17
	濃霧	2	4	4	3	4		2			2		3	24
	乾燥	2	4	3	5	5	2		2	1	4	8	3	39
	なだれ													0
	低温		6										3	9
	霜													0
	暴風			8	3									11
	着雪（氷）													0
	小計	14	25	34	37	33	47	61	57	43	26	35	33	445
火災気象通報			7	11	7	7	1		3	1	3	8	12	60
大雨に関する情報		16					14	11	17	11	14			83
雨に関する情報														0
大雪に関する情報			29	6									13	48
低気圧に関する情報														0
強風と強い寒気に関する情報														0
強い冬型の気圧配置に関する情報			1											1
低温に関する情報		2	3										1	6
市水防指令第１号														0
市水防指令第２号														0
台風情報														0
地震情報							9			15				24
津波情報														0
津波警報・注意報														0
光化学スモッグ情報														0
その他気象情報		1	26		8	22	19	72	23	17	8	8	31	235
小計		19	66	17	15	29	43	83	43	44	25	16	57	457
合計		33	91	51	54	62	96	154	104	91	53	51	90	930

4　予防課関係

⑴　防火対象物　延べ面積１５０㎡以上の一覧表

対象物＼署所別			合計	朝霧	中崎	消防署	大久保	江井島	魚住	二見
１項	イ	劇場等	3	0	3	0	0	0	0	0
	ロ	公会堂等	133	7	22	40	15	11	22	16
２項	イ	キャバレー等	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	遊技場等	22	0	3	4	6	1	7	1
	ハ	性風俗関連店舗等	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニ	カラオケボックス等	3	0	0	1	1	0	1	0
３項	イ	待合等	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	飲食店等	129	8	38	26	19	1	20	17
４項		百貨店等	255	19	50	58	46	11	42	29
５項	イ	旅館等	34	2	8	8	4	2	6	4
	ロ	共同住宅等	1,829	150	324	631	154	126	279	165
６項	イ	病院等	129	19	31	31	14	6	11	17
	ロ	福祉施設等（主に入所）	46	6	6	11	10	4	5	4
	ハ	福祉施設等（主に通所）	100	11	17	16	20	8	16	12
	ニ	幼稚園等	35	5	7	10	2	2	5	4
７項		学校等	57	6	13	16	5	3	9	5
８項		図書館等	3	0	3	0	0	0	0	0
９項	イ	蒸気浴場等	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	公衆浴場等	12	1	7	1	1	0	0	2
１０項		停車場等	9	0	3	1	1	0	2	2
１１項		神社等	70	3	28	14	4	6	7	8
１２項	イ	工場等	386	4	66	51	37	45	51	132
	ロ	スタジオ等	0	0	0	0	0	0	0	0
１３項	イ	駐車場等	65	8	25	15	8	0	4	5
	ロ	格納庫等	0	0	0	0	0	0	0	0
１４項		倉庫等	250	2	42	39	15	34	54	64
１５項		事業所等	572	38	147	120	71	28	80	88
１６項	イ	特定複合等	772	57	257	223	102	15	80	38
	ロ	非特定複合	272	24	112	71	19	7	25	14
１６項の２		地下街	0	0	0	0	0	0	0	0
１６項の３		準地下街	0	0	0	0	0	0	0	0
１７項		文化財	1	0	1	0	0	0	0	0
１８項		アーケード	4	0	4	0	0	0	0	0
１９項		山林	0	0	0	0	0	0	0	0
２０項		舟車	0	0	0	0	0	0	0	0
合計			5,191	370	1,217	1,387	554	310	726	627

平成２５年４月１日現在

⑵　建築確認等の件数内訳

内訳	確認申請等	計画通知	許可申請	仮使用	合計
件数	275	34	20	5	334

⑶　工事別建築同意等の状況

用途＼区分			新築	増築	改築	移築	用途変更	模様替	合計
１項	イ	劇場等	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	公会堂等	2	2	0	0	0	0	4
２項	イ	キャバレー等	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	遊技場等	0	0	0	0	0	0	0
	ハ	性風俗関連店舗等	0	0	0	0	0	0	0
	ニ	カラオケボックス等	0	0	0	0	0	0	0
３項	イ	待合等	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	飲食店等	6	0	0	0	0	0	6
４項		百貨店等	9	0	0	0	0	0	9
５項	イ	旅館等	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	共同住宅等	37	1	0	0	1	0	39
６項	イ	病院等	7	6	0	0	0	0	13
	ロ	福祉施設等（主に入所）	5	0	0	0	1	0	6
	ハ	福祉施設等（主に通所）	4	5	0	0	1	0	10
	ニ	幼稚園等	1	2	0	0	0	0	3
７項		学校等	8	8	0	0	0	0	16
８項		図書館等	0	0	0	0	0	0	0
９項	イ	蒸気浴場等	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	公衆浴場等	0	0	0	0	0	0	0
１０項		停車場等	0	0	0	0	0	0	0
１１項		神社等	1	1	0	0	0	0	2
１２項	イ	工場等	8	6	0	0	0	1	15
	ロ	スタジオ等	0	0	0	0	0	0	0
１３項	イ	駐車場等	2	0	0	0	0	0	2
	ロ	格納庫等	0	0	0	0	0	0	0
１４項		倉庫等	7	3	1	0	0	0	11
１５項		事業所等	29	10	0	0	0	0	39
１６項	イ	特定複合等	12	1	0	0	4	0	17
	ロ	非特定複合	2	0	0	0	0	0	2
１６項の２		地下街	0	0	0	0	0	0	0
１６項の３		準地下街	0	0	0	0	0	0	0
１７項		文化財	0	0	0	0	0	0	0
１８項		アーケード	0	0	0	0	0	0	0
専用住宅等			138	2	0	0	0	0	140
建築設備等			0	0	0	0	0	0	0
合計			278	47	1	0	7	1	334

⑷　地区別建築同意の状況

用途＼区分			明石	大久保	魚住	二見	合計
１項	イ	劇場等	0	0	0	0	0
	ロ	公会堂等	1	0	2	1	4
２項	イ	キャバレー等	0	0	0	0	0
	ロ	遊技場等	0	0	0	0	0
	ハ	性風俗関連店舗等	0	0	0	0	0
	ニ	カラオケボックス等	0	0	0	0	0
３項	イ	待合等	0	0	0	0	0
	ロ	飲食店等	1	5	0	0	6
４項		百貨店等	2	4	2	1	9
５項	イ	旅館等	0	0	0	0	0
	ロ	共同住宅等	20	13	4	2	39
６項	イ	病院等	2	7	0	4	13
	ロ	福祉施設等（主に入所）	1	5	0	0	6
	ハ	福祉施設等（主に通所）	5	2	1	2	10
	ニ	幼稚園等	1	2	0	0	3
７項		学校等	5	6	0	5	16
８項		図書館等	0	0	0	0	0
９項	イ	蒸気浴場等	0	0	0	0	0
	ロ	公衆浴場等	0	0	0	0	0
１０項		停車場等	0	0	0	0	0
１１項		神社等	1	1	0	0	2
１２項	イ	工場等	6	5	0	4	15
	ロ	スタジオ等	0	0	0	0	0
１３項	イ	駐車場等	2	0	0	0	2
	ロ	格納庫等	0	0	0	0	0
１４項		倉庫等	5	3	3	0	11
１５項		事業所等	20	8	5	6	39
１６項	イ	特定複合等	8	8	1	0	17
	ロ	非特定複合	1	0	1	0	2
１６項の２		地下街	0	0	0	0	0
１６項の３		準地下街	0	0	0	0	0
１７項		文化財	0	0	0	0	0
１８項		アーケード	0	0	0	0	0
専用住宅等			70	42	19	9	140
建築設備等			0	0	0	0	0
合計			151	111	38	34	334

⑸　予防査察・消防用設備等の設置検査状況

用途＼区分			予防査察			
				一般	随時	特別
１項	イ	劇　場　等	3	2	1	
	ロ	公　会　堂　等	39	34	3	2
２項	イ	キャバレー等	0			
	ロ	遊　技　場　等	20	3	2	15
	ハ	性風俗関連店舗等	0			
	ニ	カラオケボックス等	2	1		1
３項	イ	待　合　等	0			
	ロ	飲　食　店　等	31	15	8	8
４項	百　貨　店　等		62	19	19	24
５項	イ	旅　館　等	53	2	4	47
	ロ	共同住宅等	67	16	49	2
６項	イ	病　院　等	24	1	23	
	ロ	福祉施設等（主に入所）	58	12	13	33
	ハ	福祉施設等（主に通所）	29	13	10	6
	ニ	幼　稚　園　等	32	25	7	
７項	学　校　等		68	36	32	
８項	図　書　館　等		2			2
９項	イ	蒸気浴場等	0			
	ロ	公衆浴場等	2		1	1
１０項	停　車　場　等		0			
１１項	神　社　等		11	2		9
１２項	イ	工　場　等	101	14	62	25
	ロ	スタジオ等	0			
１３項	イ	駐　車　場　等	4		2	2
	ロ	格　納　庫　等	0			
１４項	倉　庫　等		4		3	1
１５項	事　業　所　等		29	4	23	2
１６項	イ	特定複合等	186	23	94	69
	ロ	非特定複合	20	4	12	4
１６項の２	地　下　街		0			
１６項の３	準　地　下　街		0			
１７項	文　化　財		3			3
１８項	アーケード		0			
１９項	山　林		0			
２０項	舟　車		0			
合　計			850	226	368	256

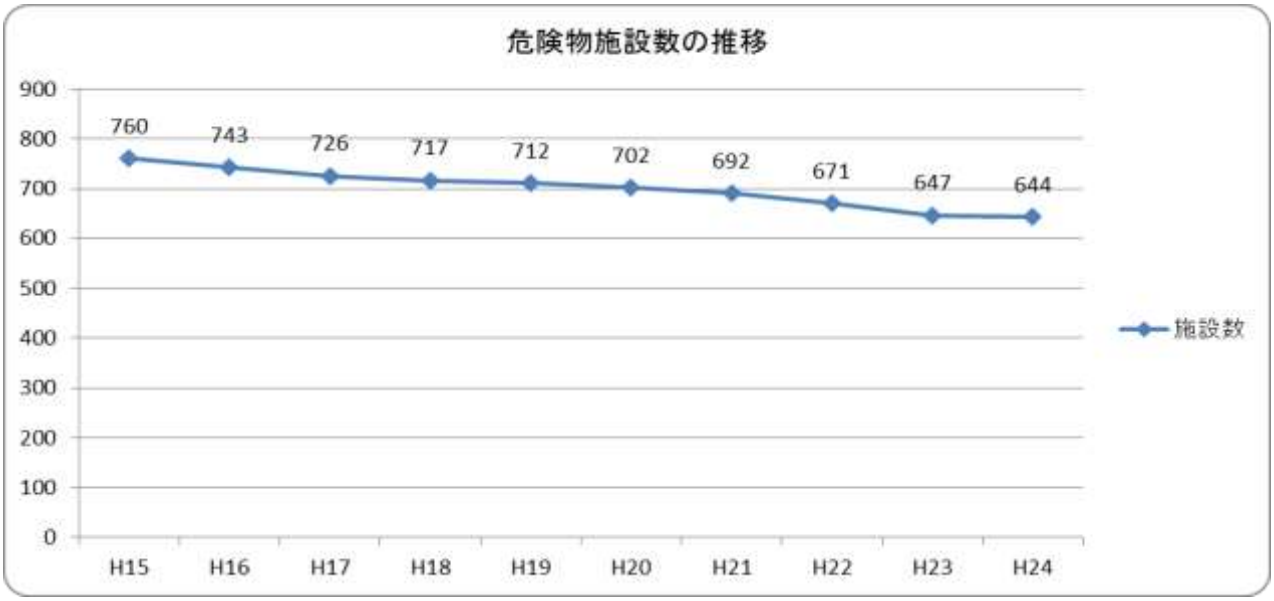
⑹　防火管理講習会受講者数

年度	区分	過去５年間の受講者数				
		平成２０年	平成２１年	平成２２年	平成２３年	平成２４年
防火管理講習会修了者数	合計	543	505	605	17	22
	甲種	521	477	593	0	0
	乙種	4	17	12	17	22
	甲種再講習	18	11	0	0	0

⑺　予防関係届出の処理状況

届出の種類	処理件数	届出の種類	処理件数
防火管理者選解任届出	536	喫煙承認申請	0
消防計画作成（変更）届出	352	裸火使用承認申請	14
共同防火管理協議事項届出	17	危険物品持込み承認申請	38
防火管理者の証交付申請	12	サウナ設備設置届出	0
消防用設備等着工届出	269	給湯湯沸設備設置届出	4
消防用設備等工事届出書	193	変・発・蓄電設備設置届出	93
消防用設備等設置届出	604	ネオン管設備設置届出	0
消防用設備等点検結果届出	1,671	乾燥設備設置届出	3
防火対象物使用開始届出	369	ボイラー・ヒートポンプ設置届出	11
防火対象物定期点検結果報告書	123	炉・かまど設置届出	8
消防設備等検査済証交付	39	百貨店等の避難通路設置変更届出	6
液化石油ガス・圧縮アセチレンガス・貯蔵取扱届出	19	催物開催届出	38
液化石油ガス・圧縮アセチレンガス貯蔵取扱廃止届出	0	消防用設備業届出	8
毒物・劇物貯蔵取扱届出	0	基準の特例適用申請書	2
毒物・劇物貯蔵取扱廃止届出	0	指定洞道等届出	0
少量危険物・指定可燃物貯蔵取扱（変更）届出	104	放電加工機・温風暖房機設置届出	1
少量危険物・指定可燃物貯蔵取扱廃止届出	0	届出等合計	4,534

⑻ 危険物施設数の推移



⑼ 危険物施設の形態別施設数内訳

施設区分 / 管内	製造所	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所	合計
朝　霧					2				3	1		6
中　崎		13	4	2	28		6	2	6	1	12	74
消防署		50	21	4	34		1	5	18		61	194
大久保		7	1		7		8	1	11		7	42
江井島	1	21	11	1	15	1	1	2	6		10	69
魚　住	1	17	12		15		2	3	10		13	73
二　見	7	40	35	5	25		12	18	14	1	29	186
合　計	9	148	84	12	126	1	30	31	68	3	132	644

⑽　危険物施設立入検査状況

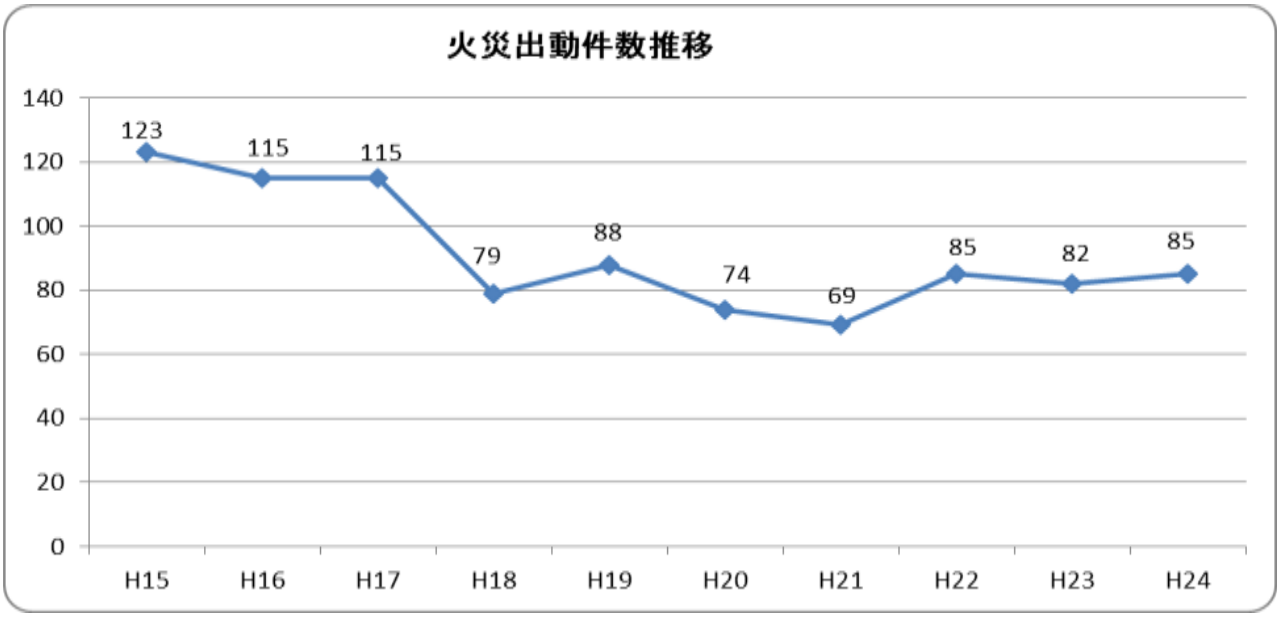
施設別		施設数(A)	査察数(B)	査察率 B/A (%)	査察結果	
					適合	不適合
製造所		9	17	188.9%	12	5
屋内貯蔵所		148	21	14.2%	15	6
屋外タンク貯蔵所		84	27	32.1%	23	4
屋内タンク貯蔵所		12	4	33.3%	4	0
地下タンク貯蔵所		126	26	20.6%	25	1
簡易タンク貯蔵所		1	0	0.0%	0	0
移動タンク貯蔵所		30	29	96.7%	19	10
屋外貯蔵所		31	9	29.0%	9	0
給油取扱所		68	12	17.6%	5	7
販売取扱所		3	0	0.0%	0	0
一般取扱所		132	14	10.6%	13	1
その他（貯蔵取扱い行為）		0	2	#DIV/0!	1	1
合計		644	161	25.0%	126	35
	署所別	施設数(A)	査察数(B)	査察率 B/A (%)	査察結果	
					適合	不適合
少量危険物施設	朝霧	15	0	0.0%		
	中崎	145	0	0.0%		
	消防署	130	0	0.0%		
	大久保	47	0	0.0%		
	江井島	74	0	0.0%		
	魚住	67	0	0.0%		
	二見	112	0	0.0%		
	計	590	34	5.8%	34	0
総合計		1,234	195	30.8%	160	35

⑾　危険物施設設置・変更及び廃止等

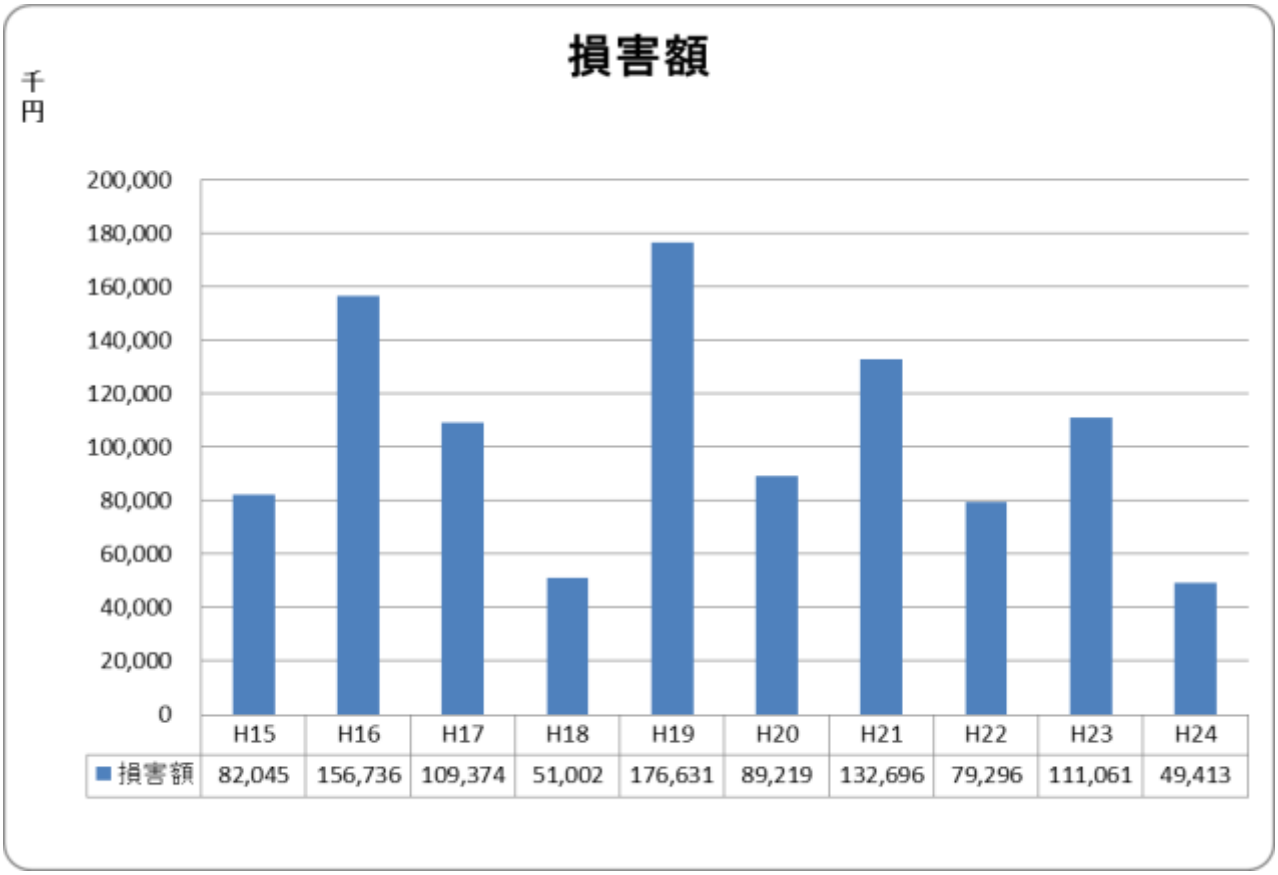
施設区分／管内	合計	製造所	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所
合　計	523											
設置許可	14					3		4	1			6
変更許可	166	8	6	1		23				19		109
仮使用	150	6	6	1		13				18		106
品名数量	10	1	2	1		2			1	1		2
完成検査 設置	10			2				4				4
完成検査 変更	148	8	6	1		18				20		95
廃止届	17		1	1		6		2		3		4
譲渡引渡	5					2				3		
許可取下げ	3									2		1

5　火災統計

⑴　火災出動件数推移



⑵　火災損害額推移



⑶　火災発生状況前年との比較

区分		単位	平成24年 A	平成23年 B	比較 増(△)減 C(A－B)	比較 増(△)減率(%) C÷B×100
火災件数		件	85	82	3	3.7
建物			48	45	3	6.7
林野			0	0	0	—
車両			11	3	8	266.7
船舶			0	2	△ 2	—
その他			26	32	△ 6	△ 18.8
焼損棟数		棟	59	60	△ 1	△ 1.7
全焼			9	12	△ 3	△ 25.0
半焼			5	0	5	—
部分焼			8	7	1	14.3
ぼや			37	41	△ 4	△ 9.8
焼損面積	床面積	㎡	939	1,195	△ 256	△ 21.4
	表面積		53	11	42	381.8
	林野	a	0	0	0	0.0
	船舶	隻	0	2	△ 2	△ 100.0
死傷者		人	13	19	△ 6	△ 31.6
死者			0	2	△ 2	△ 100.0
負傷者			13	17	△ 4	△ 23.5
り災世帯		世帯	38	41	△ 3	△ 7.3
全損			5	13	△ 8	△ 61.5
半損			4	0	4	—
小損			29	28	1	3.6
り災人員		人	94	91	3	3.3
損害額		千円	49,413	111,061	△ 61,648	△ 55.5
建物			40,020	103,931	△ 63,911	△ 61.5
林野			0	0	0	—
車両			3,266	781	2,485	318.2
船舶			0	5,907	△ 5,907	△ 100.0
その他			6,127	442	7,264	1,643.4

⑷　年別火災状況（過去１０年間）

区分＼年	火災件数	火災種別					焼損面積		焼損棟数	り災世帯	り災人員	死傷者		損害額
		建物	林野	車両	船舶	その他	建物（㎡）	林野(a)				死者	負傷者	（千円）
平成14年	129	62	1	17	0	49	1,106	3	79	63	165	3	31	102,689
平成15年	123	66	0	25	0	32	950	1	75	53	144	5	28	82,045
平成16年	115	77	0	15	1	22	1,482	1	92	95	240	1	41	156,736
平成17年	115	70	0	16	1	28	1,086	0	89	74	193	7	33	109,374
平成18年	79	47	0	13	0	19	924	0	55	42	93	3	14	51,002
平成19年	88	57	0	13	0	18	1,792	0	79	63	152	3	24	176,631
平成20年	74	52		4		18	560		63	37	91	5	9	89,219
平成21年	69	46	1	4	1	17	967		69	44	107	3	16	132,696
平成22年	85	51		7	1	26	1,572		66	54	123	4	18	79,296
平成23年	82	45		3	2	32	1,195		60	41	91	2	17	111,061
10年平均	96	57	0	12	1	26	1,163	1	73	57	140	4	23	109,075
平成24年	85	48		11		26	939		59	38	94		13	49,413

⑸　月別火災発生状況

項目＼月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合　計
火災種別	火災件数	6	11	12	4	5	3	2	14	9	3	9	7	85
	建物	5	9	7	1	1	2		7	5	2	6	3	48
	林野													0
	車両		1	2	2	1		1		1		1	2	11
	船舶													0
	その他	1	1	3	1	3	1	1	7	3	1	2	2	26
焼損棟数	全焼	1	1						2	4		1		9
	半焼		1						1			1	2	5
	部分焼		1	3			1		1	1		1		8
	ぼや	5	7	4	1	1	1		5	5	2	4	2	37
	合計	6	10	7	1	1	2	0	9	10	2	7	4	59
焼損面積等	床面積	76	185	21					219	294		70	74	939
	表面積	4	19	18	1		5		2	1		2		52
	船舶(隻)													0
	林野(a)													0
り災世帯	全損	2	2										1	5
	半損		2									2		4
	小損	5	8	5	1				4	4	1	2	1	31
	合計	7	12	5	1	0	0	0	4	4	1	4	2	40
り災人員		14	30	13	3				10	13	4	11	4	102
死者	消防吏員													0
	消防団員													0
	その他													0
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
負傷者	消防吏員													0
	消防団員													0
	その他	2	4	1	2				1				3	13
	合計	2	4	1	2	0	0	0	1	0	0	0	3	13
出動人員	消防吏員	74	197	128	47	41	24	27	168	164	22	154	97	1,143
	消防団員	23	25	19	0	0	0	0	0	48	8	29	20	172
地区別件数	明石	5	4	6	1	1	3	1	7	3	1	4	4	40
	大久保	3	3	1		1		1	2	2	2	4	1	20
	魚住	1	2	1	3	3			2	3		1	1	17
	二見		2	2					2	1			1	8
損害額（千円）		3,280	14,676	1,374	67	453	93	288	1,889	12,235		12,283	2,775	49,413

⑹　用途別火災発生状況

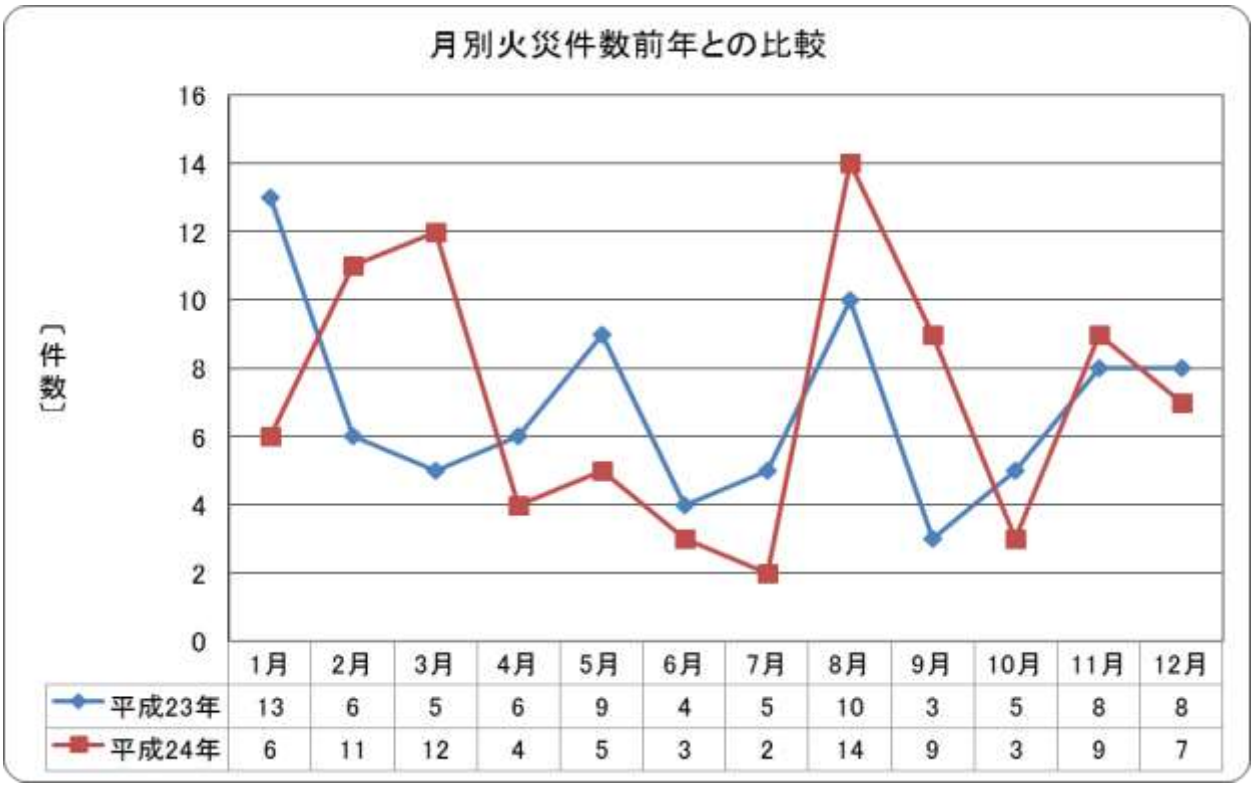
火災種別	用　途　別	件　数	損害額（千円）
建　物	住　宅	14	21,844
	共同住宅	16	3,946
	社会福祉施設	0	0
	飲食店	1	7
	工　場	7	8,564
	事務所	0	0
	倉　庫	5	10,849
	複合用途（特定）	4	16
	複合用途（非特定）	0	0
	その他	1	822
林　野	林　野	0	0
車　両	特殊車（塵芥車等）	4	60
	貨物自動車	0	0
	乗用自動車	6	738
	原付自転車・自動二輪車等	1	2,482
その他	枯草等	13	0
	ごみ・くず等	4	50
	その他	9	35
合　計		85	49,413

⑺　出火原因別火災件数（過去１０年間）

原因／年別	たばこ	こんろ 天ぷら油	こんろ その他	かまど・風呂かまど	炉	焼却炉	ストーブ	こたつ	ボイラー	煙突・煙道	排気管	電気機器	電気装置	電灯・電話等の配線	内燃機関	配線器具	火あそび	マッチ・ライター	たき火	切断機・溶断機	灯火	衝突の火花	取灰	火入れ	放火	放火の疑い	その他	不明・調査中	合計
平成14年	22	7	0				1								5		5	1	5						41		34	8	129
平成15年	13	8	8				2								4		4	1	6						39		28	10	123
平成16年	15	17	4				1								3		3	4	5						15		41	7	115
平成17年	16	8	5				3								6		6	2	2						25		32	10	115
平成18年	8	6	7				4				1	2				3	7	1		1					7	6	15	11	79
平成19年	11	8					3				1	2	2			2	6	1	1	1	3			1	5	9	18	14	88
平成20年	8	4	4			2	3				3		1				6	2		3	1			1	9	12	10	5	74
平成21年	7	5	1				3					2					8	3	1	3	1			5	6	8	9	7	69
平成22年	10	6	1				4					1	1	4			6	1	3	3	1			2	3	9	14	16	85
平成23年	3	13					1					2	1			5	7	1	2	2				5	10	11	10	9	82
10年平均	11	8	3	0	0	0	3	0	0	0	1	1	1	0	2	1	6	2	3	1	1	0	0	1	22		21	10	96
平成24年	7	8	0	1	0	1	6	0	0	0	2	3	2	0	0	1	7	3	0	0	0	1	0	2	11	8	16	6	85

※　平成18年から出火原因をより細分化しています。
※　10年間の平均値については、1を下回るものは記載していません。

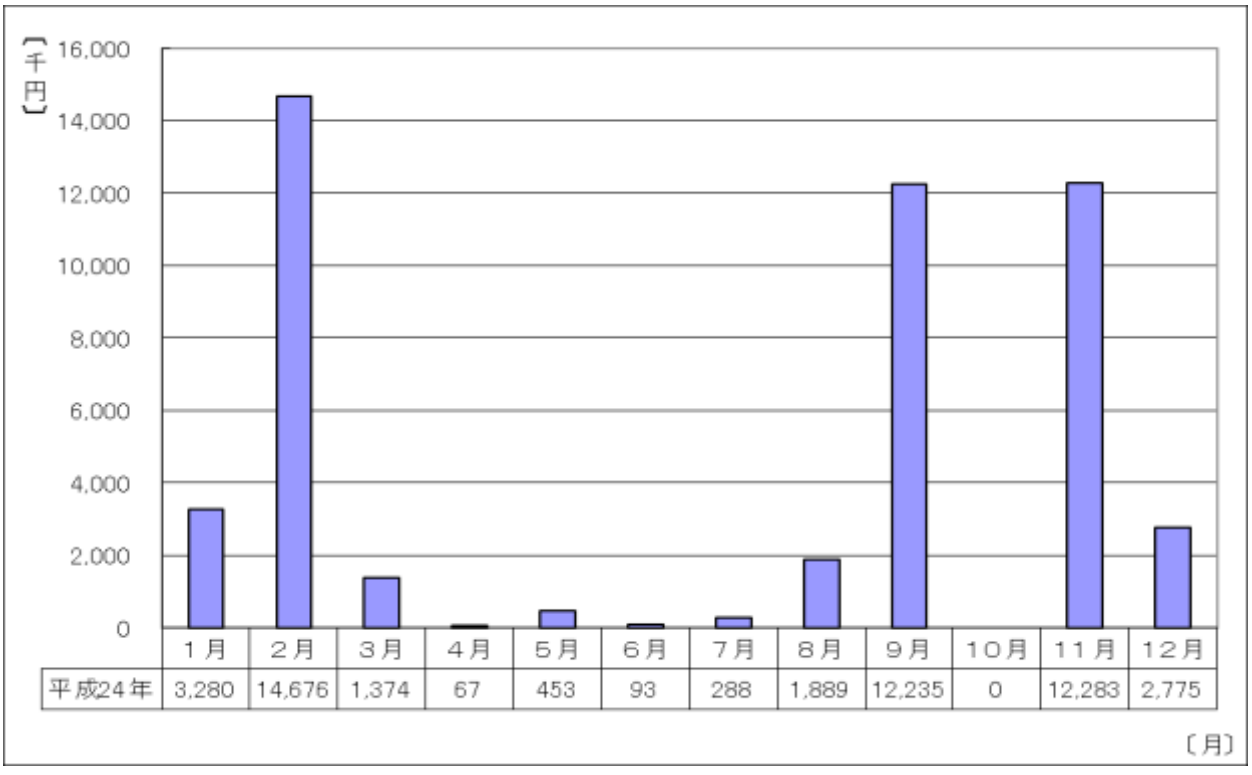
⑻　月別火災件数前年との比較



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成23年	13	6	5	6	9	4	5	10	3	5	8	8
平成24年	6	11	12	4	5	3	2	14	9	3	9	7

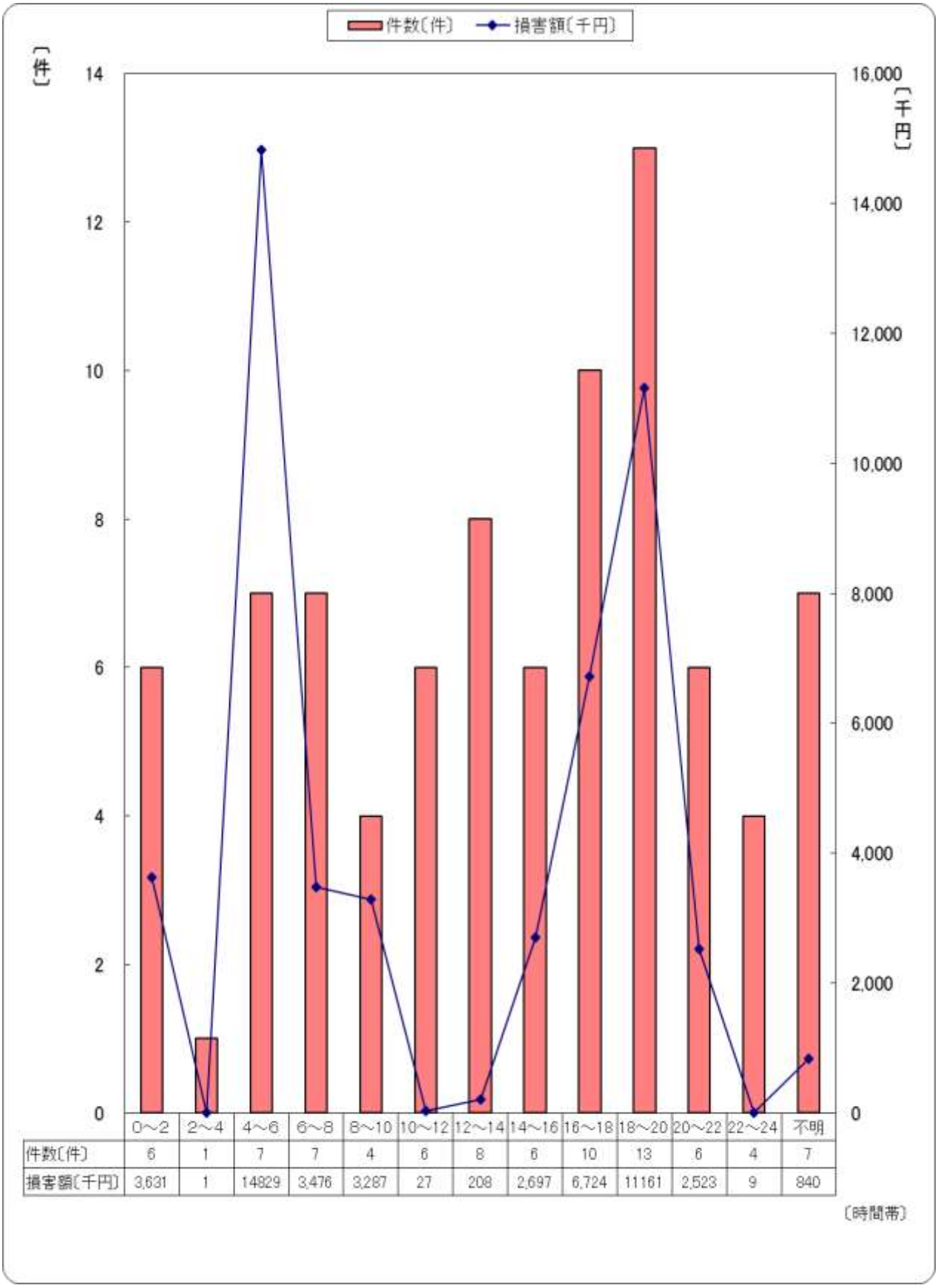
⑼　月別火災件数及び損害額

平成２４年　損害額　４９，４１３千円



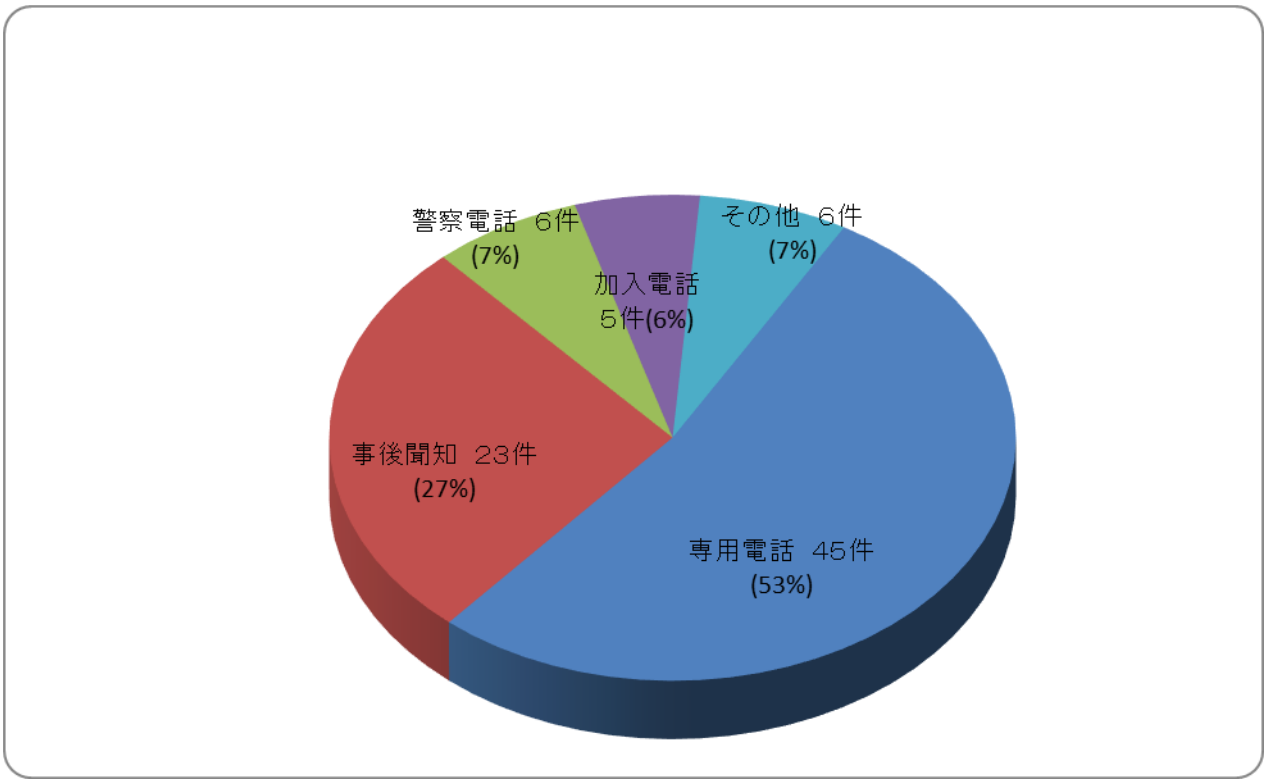
	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月
平成24年	3,280	14,676	1,374	67	453	93	288	1,889	12,235	0	12,283	2,775

⑽　時間帯別火災件数及び損害額

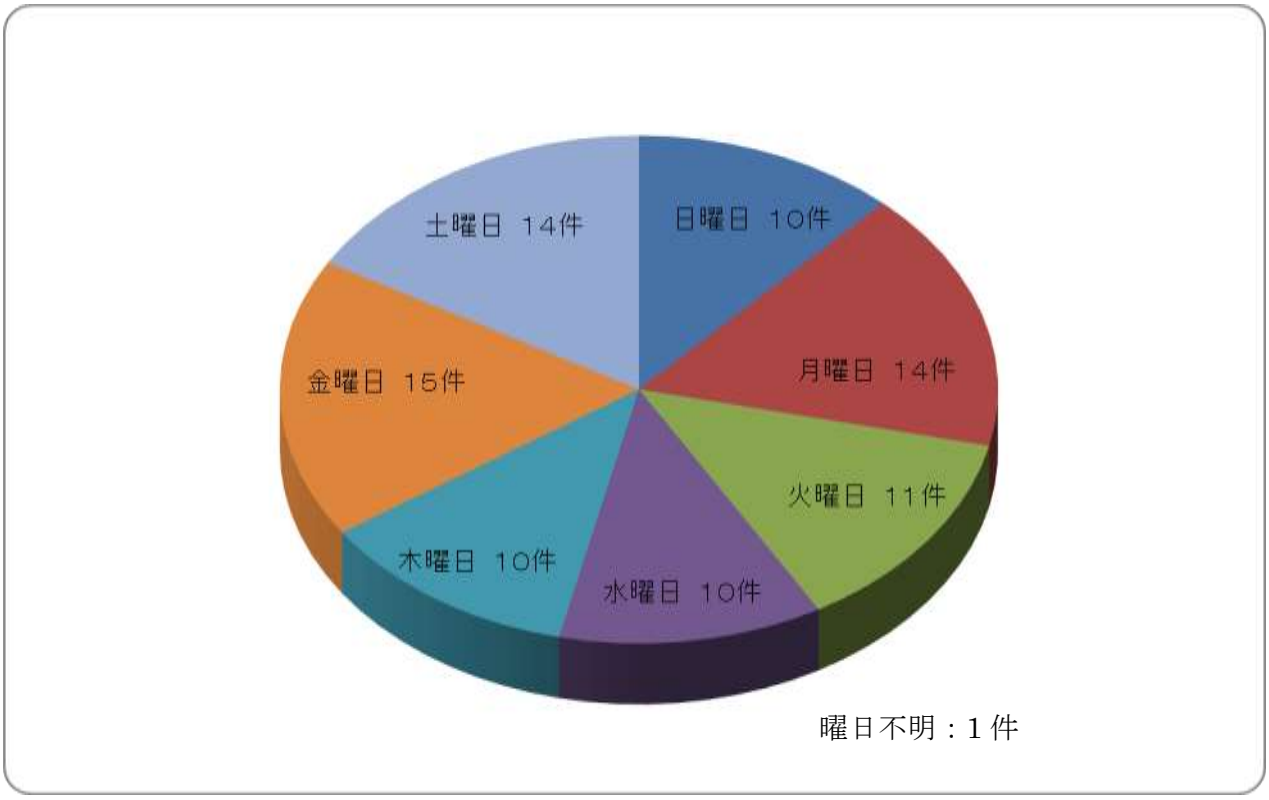


	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	不明
件数〔件〕	6	1	7	7	4	6	8	6	10	13	6	4	7
損害額〔千円〕	3,631	1	14829	3,476	3,287	27	208	2,697	6,724	11161	2,523	9	840

⑾　覚知別対比表

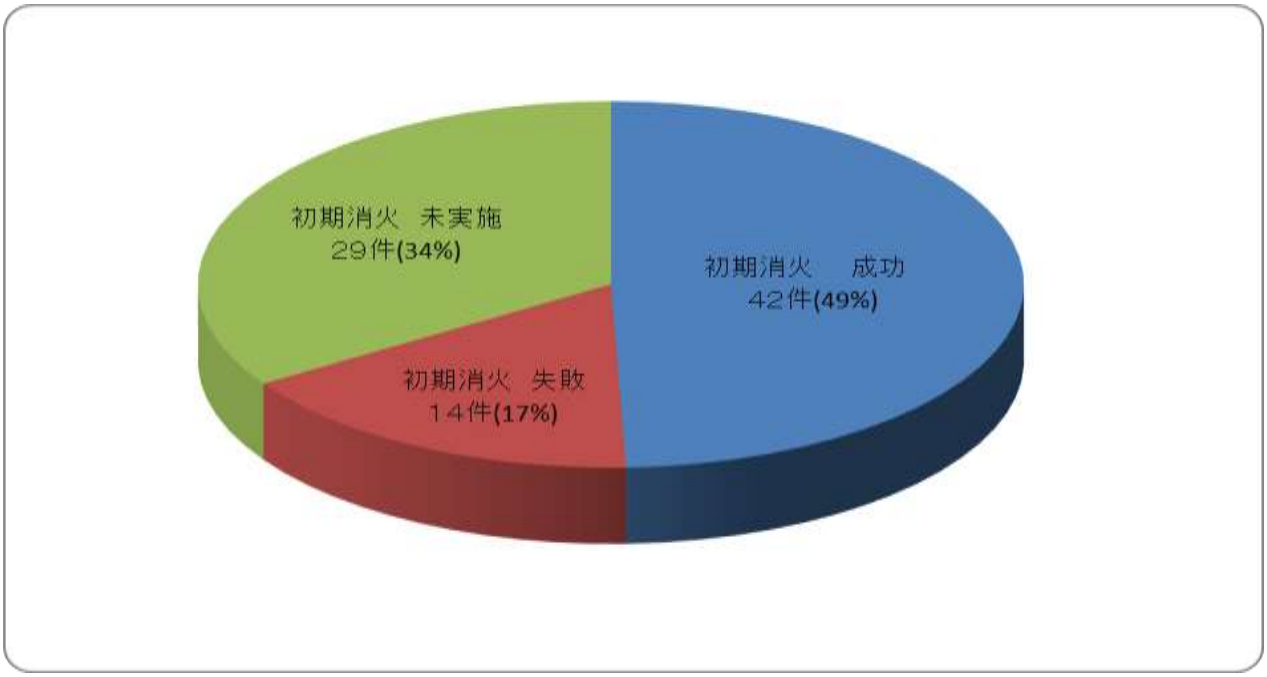


⑿　曜日別対比表

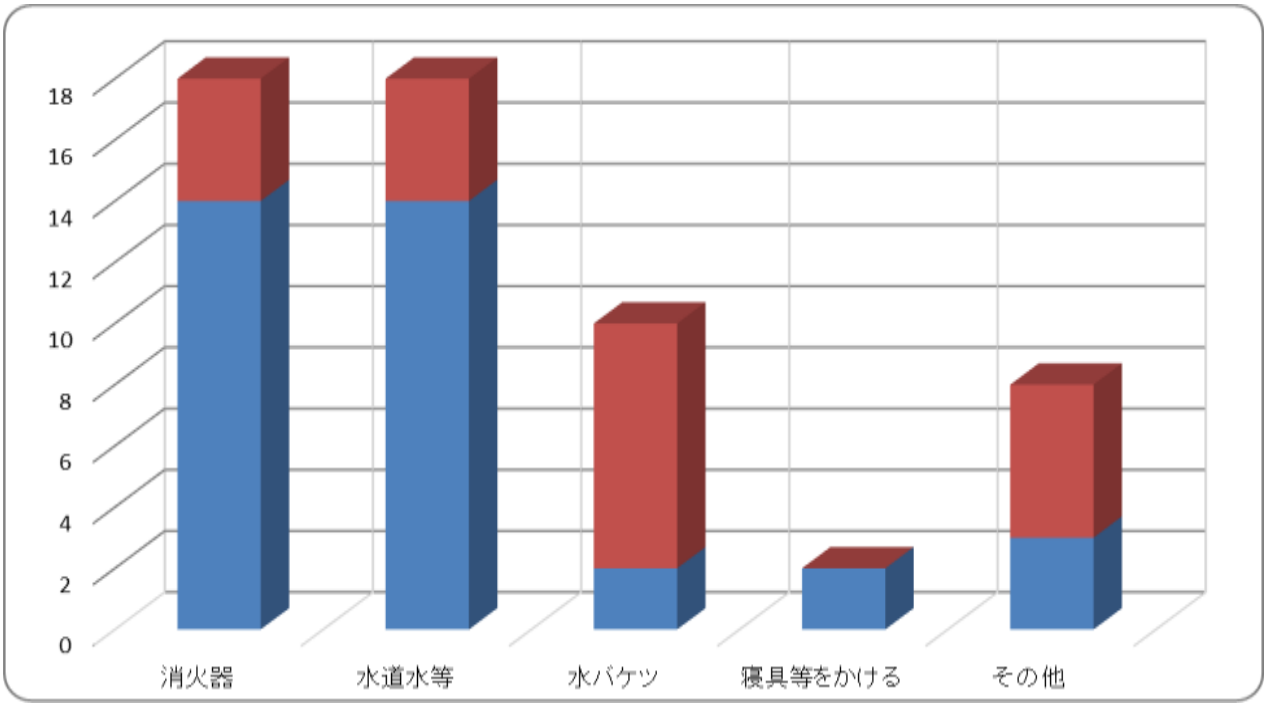


曜日不明：1件

⑬　初期消火実施状況



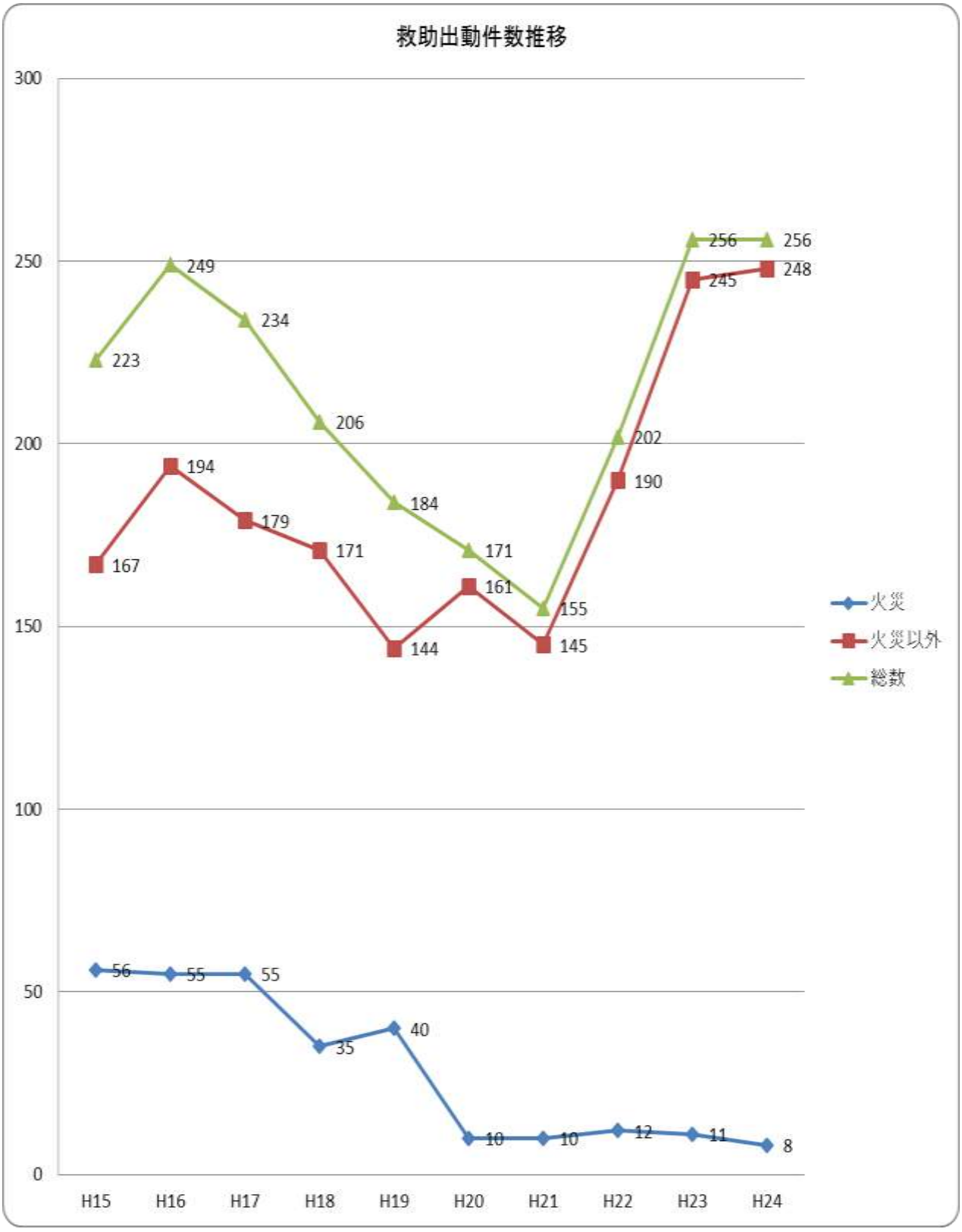
⑭　初期消火器具使用状況



初期消火使用器具等	実施結果		合　計
	成　功	失　敗	
消火器	14	4	18
水道水等	14	4	18
水バケツ	2	8	10
寝具等をかける	2	0	2
その他	3	5	8
合　計	35	21	56

6　救助統計

(1)　救助出動件数推移



⑵　救助活動・救助人員推移

⑶　事故種別出動件数前年との比較

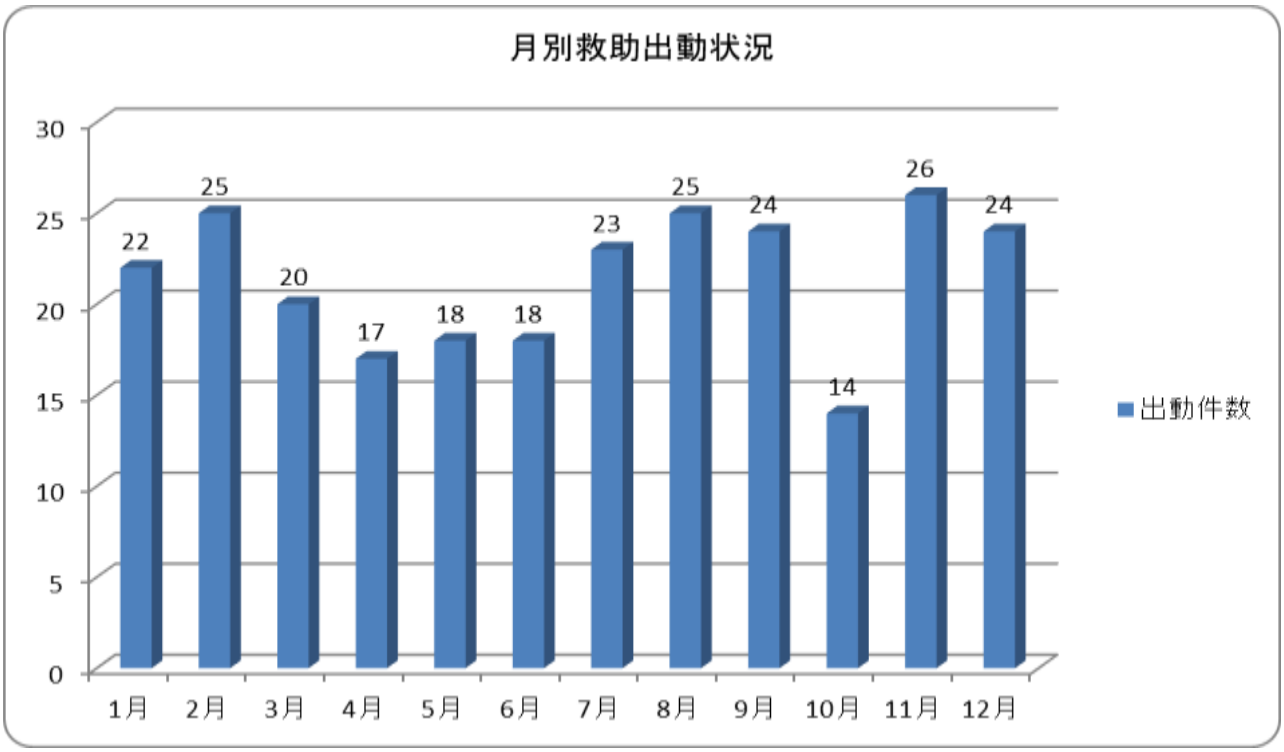
項目＼年別		平成24年 A	平成23年 B	対前年比 A－B＝C	増減率（%） C÷B×100
出動件数		256	256	0	0.0
事故種別	火災（建物）	8	11	△ 3	△ 27.3
	火災（建物外）	0	0	0	－
	交通事故	39	38	1	2.6
	水難事故	19	12	7	58.3
	風水害等自然災害	1	2	△ 1	－
	機械による事故	0	2	△ 2	△ 100.0
	建物等による事故	65	98	△ 33	△ 33.7
	ガス及び酸欠事故	4	5	△ 1	△ 20.0
	破裂事故	0	0	0	－
	その他の事故	120	88	32	36.4
救助活動件数		121	111	10	9.0
救助人員		85	82	3	3.7

⑷　発生場所別救助人員等状況

事故種別＼発生場所	出動件数 活動件数 救助人員	屋内		屋外				地下	その他
		住居	その他の屋内	道路	水面		その他の屋外		
					内水面	外水面			
火災（建物）	8	7	1						
	8	7	1						
	1	1							
火災（建物以外）									
交通事故	39			27			12		
	21			15			6		
	21			15			6		
水難事故	19				3	15			1
	16				2	13			1
	13				2	11			
風水害等自然災害	1			1					
機械による事故									
建物等による事故	65	55	4				2		4
	57	47	4				2		4
	33	28	4				1		
ガス及び酸欠事故	4	1	2				1		
	3	1	2						
	1		1						
破裂事故									
その他の事故	120	45	22	1	1	1	21	1	28
	16	1	2	1	1	1	9	1	
	16	1	2	1	1	1	9	1	
合　　計	256	108	29	29	4	16	36	1	33
	121	56	9	16	3	14	17	1	5
	85	30	7	16	3	12	16	1	

⑸　月別救助出動状況

種別＼月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合　計
火災（建物）	1	3		1							2	1	8
火災（建物以外）													0
交通事故	2	6	1	4	1	1	8	5	2	1	3	5	39
水難事故	2	2		1	1	2	1	3	2	1	4		19
風水害等自然災害								1					1
機械による事故													0
建物等による事故	6	6	7	3	5	4	7	4	6	4	5	8	65
ガス及び酸欠事故			2					1				1	4
破裂事故													0
その他の事故	11	8	10	8	11	11	7	11	14	8	12	9	120
合　　計	22	25	20	17	18	18	23	25	24	14	26	24	256



⑹　管轄署所別出動件数状況

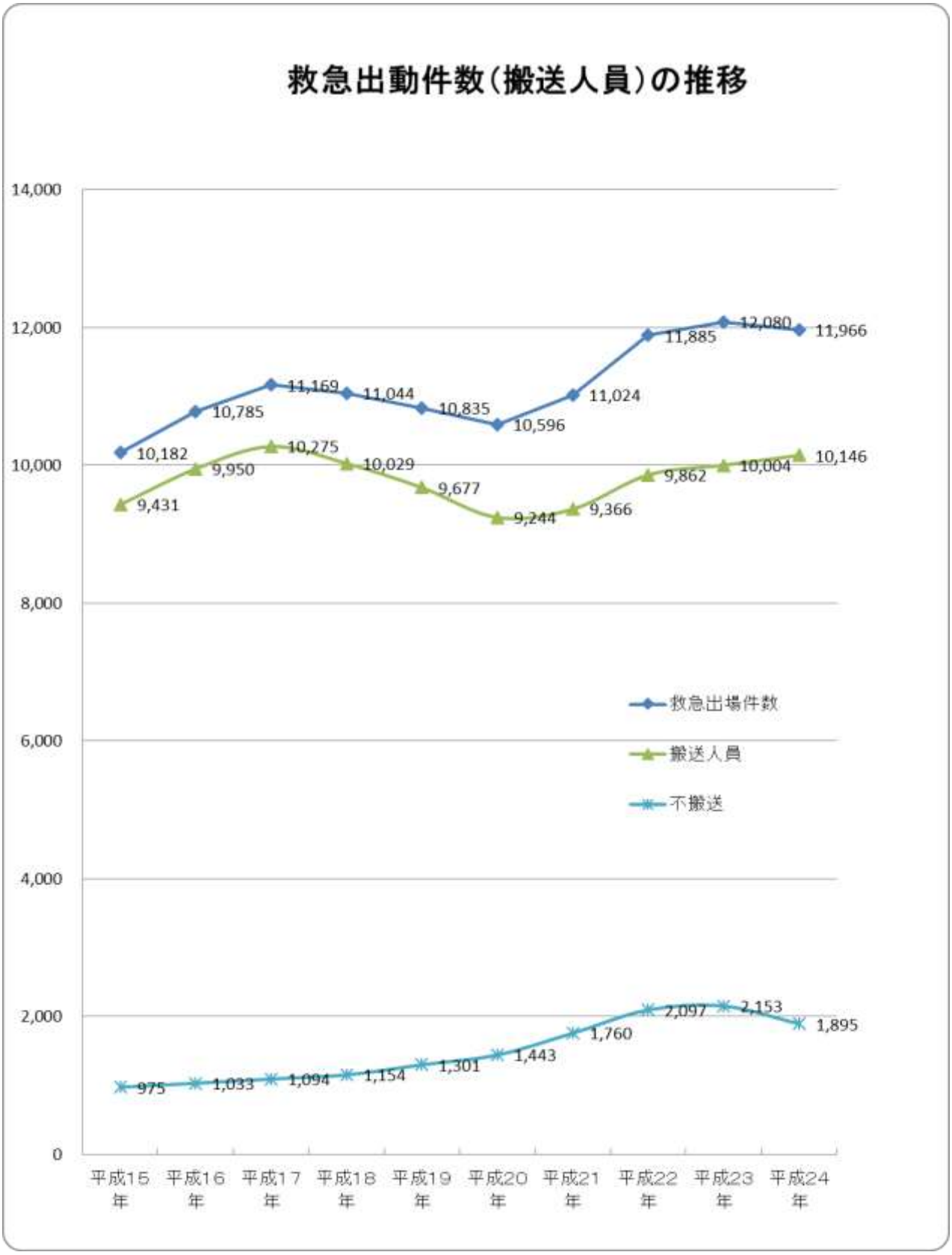
事故種別＼管轄		朝霧	本署	中崎	大久保	江井島	魚住	二見	合計
火災事故	建物		1	4	1		1	1	8
	建物以外								0
交通事故		4	8	7	7	2	10	1	39
水難事故		2	2	5		3		7	19
風水害等自然災害事故								1	1
機械による事故									0
建物等による事故		5	16	15	8	4	9	8	65
ガス及び酸欠事故				3				1	4
破裂事故									0
その他の事故		20	28	20	16	4	19	13	120
合計		31	55	54	32	13	39	32	256

⑺　事故種別要救助者救出所要時間状況

事故種別＼救出所要時分		１分～５分	６分～１０分	１１分～１５分	１６分～２０分	２１分～２５分	２６分～３０分	３１分～６０分	６０分以上	合計
火災事故	建物		1							1
	建物以外									0
交通事故			6	8	6	1				21
水難事故		1		3	3	3		3		13
風水害等自然災害事故										0
機械による事故										0
建物等による事故			9	14	4	4		2		33
ガス及び酸欠事故								1		1
破裂事故										0
その他の事故			1	5	3	3	1	2	1	16
合計		1	17	30	16	11	1	8	1	85

7　救急統計

⑴　救急出動件数（搬送人員）の推移



⑵　救急出動状況前年との比較

区分＼年別		平成24年 (A)	平成23年 (B)	前年比較 増(△)減 (A)－(B)＝(C)	前年比較 増(△)減率 (C)÷(B)×100(%)
出場件数		11,966	12,080	△ 114	△ 0.9
搬送内訳	搬送人員	10,146	10,004	142	1.4
	(男性)	5,217	5,212	5	0.1
	(女性)	4,929	4,792	137	2.9
傷病程度内訳	死　亡	166	180	△ 14	△ 7.8
	重　症	474	436	38	8.7
	中等症	4,610	4,339	271	6.2
	軽　症	4,896	5,049	△ 153	△ 3.0
	その他	0	0	0	0.0
事故種別内訳（上段は件数、下段は搬送人員）	火　災	54	59	△ 5	△ 8.5
		13	12	1	8.3
	自然災害	2	2	0	0.0
		1	1	0	0.0
	水　難	19	19	0	0.0
		8	12	△ 4	△ 33.3
	交通事故	1,216	1,294	△ 78	△ 6.0
		1,126	1,166	△ 40	△ 3.4
	労働災害	69	57	12	21.1
		67	55	12	21.8
	運動競技	44	63	△ 19	△ 30.2
		46	63	△ 17	△ 27.0
	一般負傷	1,771	1,744	27	1.5
		1,507	1,452	55	3.8
	加　害	89	105	△ 16	△ 15.2
		63	74	△ 11	△ 14.9
	自損行為	152	193	△ 41	△ 21.2
		100	137	△ 37	△ 27.0
	急　病	7,184	7,128	56	0.8
		6,157	5,964	193	3.2
	転院搬送	1,047	1,062	△ 15	△ 1.4
		1,045	1,058	△ 13	△ 1.2
	医師搬送	1	2	△ 1	△ 50.0
				0	0.0
	資器材等搬送	0	0	0	0.0
		0	0	0	0.0
	その他	318	352	△ 34	△ 9.7
		13	10	3	30.0

⑶　年別出動件数（過去１０年間）

年　別		H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	10年平均	H24
出場件数		9,401	10,182	10,785	11,169	11,044	10,835	10,596	11,024	11,885	12,080	10,900	11,966
搬送内訳	搬送人員	8,923	9,431	9,950	10,275	10,029	9,677	9,244	9,366	9,862	10,004	9,676	10,146
	（男性）	4,830	5,063	5,301	5,363	5,234	5,010	4,806	4,858	5,150	5,212	5,083	5,217
	（女性）	4,093	4,368	4,649	4,912	4,795	4,667	4,438	4,508	4,712	4,792	4,593	4,929
傷病程度内訳	死　亡	123	131	139	145	139	138	132	137	132	180	140	166
	重　症	771	847	788	689	553	515	547	477	458	436	608	474
	中等症	3,801	3,879	4,168	4,335	4,318	4,251	4,103	4,085	4,269	4,339	4,155	4,610
	軽　症	4,228	4,574	4,855	5,106	5,019	4,773	4,462	4,667	5,003	5,049	4,774	4,896
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事故種別内訳（上段は件数、下段は搬送人員）	火　災	60	71	88	84	56	68	57	68	71	59	68	54
		37	25	35	31	10	24	8	15	14	12	21	13
	自然災害	2	0	12	2	0	0	0	0	1	2	2	2
		2	0	12	2	0	0	0	0	1	1	2	1
	水　難	10	5	11	22	22	11	8	18	7	19	13	19
		5	1	7	13	13	5	4	11	3	12	7	8
	交通事故	1,544	1,530	1,547	1,470	1,392	1,303	1,289	1,251	1,255	1,294	1,388	1,216
		1,632	1,563	1,580	1,538	1,380	1,296	1,219	1,145	1,130	1,166	1,365	1,126
	労働災害	67	91	75	72	85	82	86	71	82	57	77	69
		66	88	77	70	81	80	84	71	79	55	75	67
	運動競技	51	46	63	65	56	50	51	47	56	63	55	44
		53	45	64	64	58	49	44	45	48	63	53	46
	一般負傷	1,250	1,278	1,482	1,434	1,432	1,489	1,538	1,563	1,754	1,744	1,496	1,771
		1,187	1,198	1,383	1,335	1,288	1,333	1,316	1,329	1,467	1,452	1,329	1,507
	加　害	132	155	156	145	119	123	85	105	78	105	120	89
		120	142	143	134	117	116	74	89	58	74	107	63
	自損行為	116	164	147	174	197	193	182	207	198	193	177	152
		92	118	111	128	153	146	130	137	133	137	129	100
	急　病	5,170	5,707	5,924	6,327	6,330	6,287	6,075	6,394	6,968	7,128	6,231	7,184
		4,904	5,305	5,505	5,808	5,780	5,588	5,338	5,478	5,838	5,964	5,551	6,157
	その他	999	1,135	1,280	1,374	1,355	1,228	1,225	1,300	1,415	1,416	1,273	1,366
		825	946	1,033	1,152	1,149	1,040	1,027	1,046	1,091	1,068	1,038	1,058

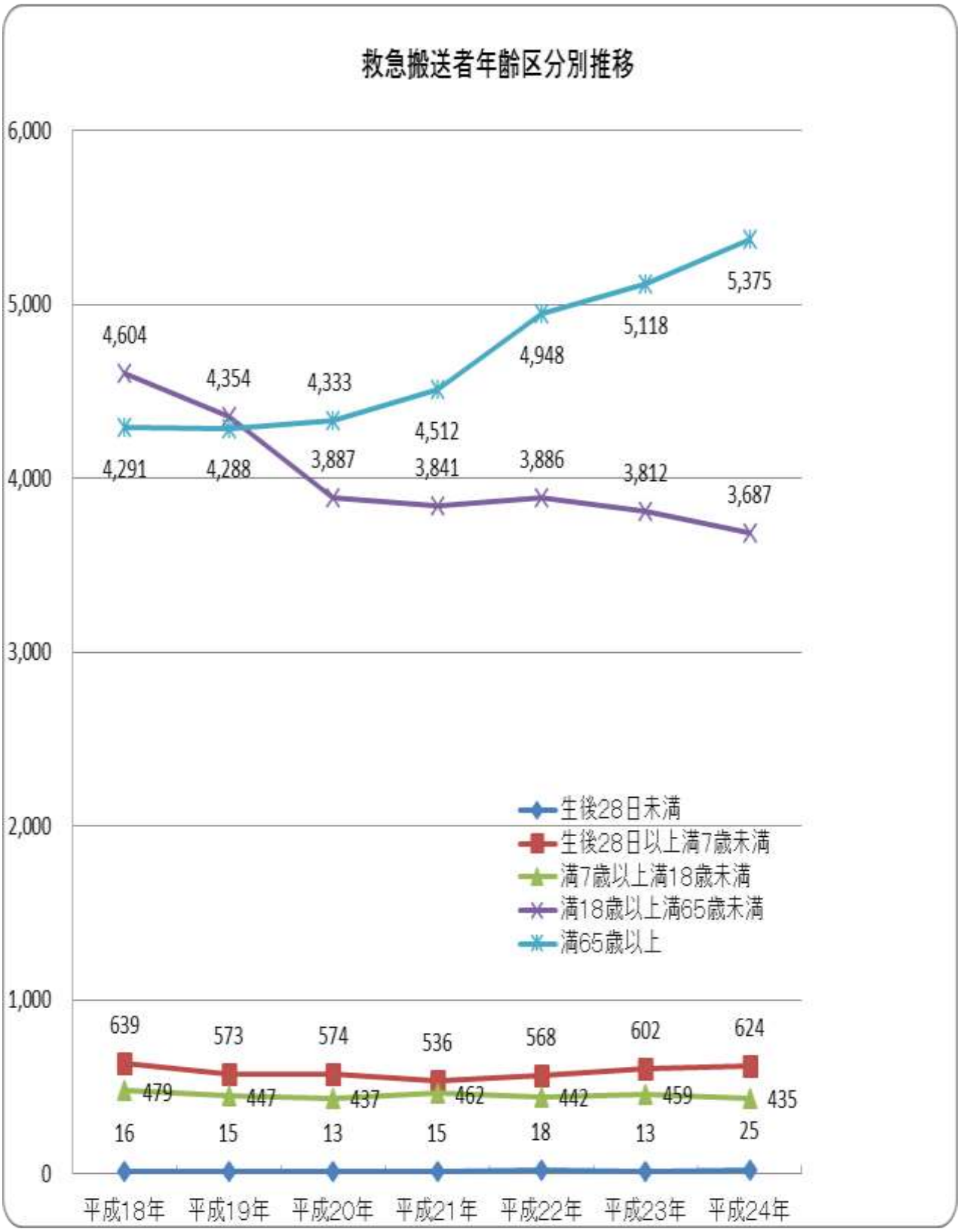
⑷　月別救急出動状況

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
出場件数		1,017	996	1,001	1,060	925	849	1,036	1,046	928	1,035	937	1,136
搬送内訳	搬送人員	838	827	843	892	775	719	863	898	797	901	807	986
	（男性）	411	416	424	478	390	360	436	452	427	481	437	505
	（女性）	427	411	419	414	385	359	427	446	370	420	370	481
傷病程度内訳	死　亡	17	21	13	10	15	5	12	11	5	16	16	25
	重　症	40	49	33	41	41	40	35	31	39	43	44	38
	中等症	411	367	397	428	352	320	355	385	382	402	356	455
	軽　症	370	390	400	413	367	354	461	471	371	440	391	468
	その他												
事故種別内訳（上段は件数、下段は搬送人員）	火　災	5	11	4	4	1	2	1	6	6	2	6	6
		2	5		2				1				3
	自然災害				1				1				
					1								
	水　難	1	2		3		2	2	2	1	1	5	
			1		1		1	1	1			3	
	交通事故	76	102	90	110	88	88	109	113	106	111	81	142
		70	92	86	105	84	82	93	114	97	105	68	130
	労働災害	2	5	4	6	6	5	7	8	7	7	4	8
		2	5	4	6	6	5	6	8	6	7	4	8
	運動競技	1	2	3	4	3	4	4	7	10	2	4	
		1	2	3	5	3	5	4	7	10	2	4	
	一般負傷	157	128	156	154	150	111	132	147	131	174	146	185
		132	113	128	130	126	101	109	128	108	147	127	158
	加　害	6	6	3	8	6	9	15	8	5	8	5	10
		2	5	1	6	6	3	9	7	4	6	5	9
	自損行為	13	11	12	9	17	12	15	19	10	10	15	9
		7	6	3	3	13	8	13	12	7	7	14	7
	急　病	659	642	594	614	541	509	652	622	543	590	572	646
		550	534	509	525	453	433	553	540	478	524	498	560
	転院搬送	72	62	105	107	85	79	74	80	87	103	84	109
		72	62	105	107	84	79	74	80	87	103	84	108
	医師搬送						1						
	資器材等搬送												
	その他	25	25	30	40	28	27	25	33	22	27	15	21
			2	4	1		2	1					3

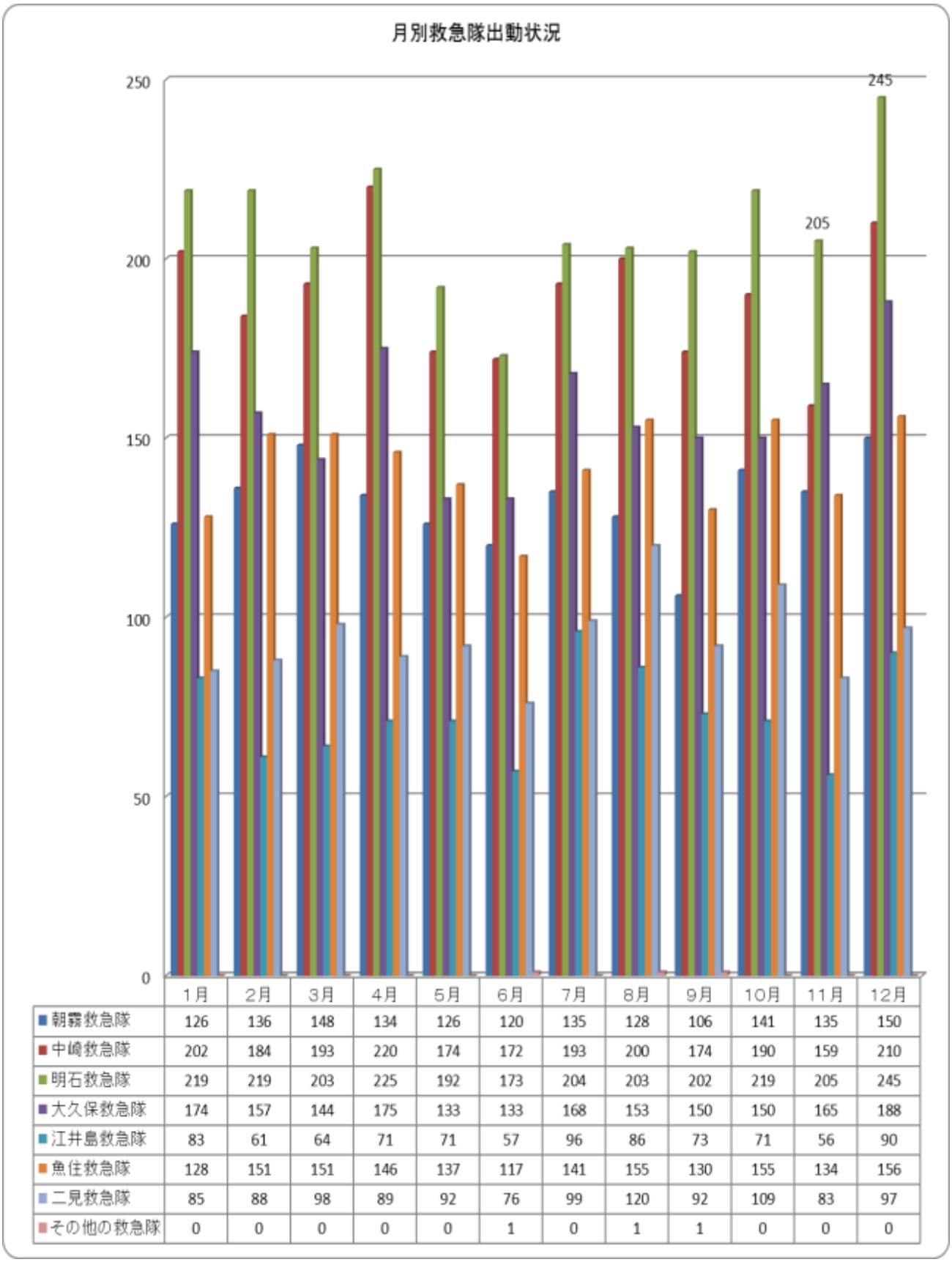
(5) 覚知時刻・年齢区分（５歳階級）別搬送状況

覚知時刻	合計（人）	年齢区分(5歳階級)																				
		0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90-94	95-99	100-104
0	243	16	12	2	3	9	11	16	15	9	11	11	12	10	17	28	16	25	12	5	3	
1	259	18	8	2	8	14	9	15	13	15	19	6	16	13	12	22	25	21	15	5	3	
2	156	10	2	3	4	4	4	10	6	7	3	6	5	12	12	23	25	10	7	2	1	
3	194	11	1	1	6	8	9	5	16	8	6	6	10	15	14	16	18	21	16	5	2	
4	162	17	3		3	7	3	8	10	10	8	6	10	13	12	11	14	13	14			
5	198	9	3	4	2	8	6	13	6	7	7	5	10	18	11	17	27	20	16	6	3	
6	266	8	2	3	5	8	12	13	9	9	12	18	11	18	21	21	29	23	26	13	5	
7	397	10	3	7	21	21	4	12	16	21	22	13	15	27	22	49	39	41	27	22	5	
8	511	19	6	10	18	9	23	11	16	19	19	21	31	36	37	44	60	53	46	24	9	
9	677	14	9	9	11	14	16	17	21	16	19	21	28	42	48	68	96	110	73	33	10	2
10	660	17	8	7	7	15	16	14	14	11	23	21	23	52	47	81	96	100	65	34	9	
11	596	23	5	5	10	9	13	15	17	14	14	17	16	37	44	78	83	95	72	23	5	1
12	534	31	11	7	9	16	8	12	19	16	23	16	19	27	33	61	64	78	56	21	5	2
13	538	30	24	12	9	10	10	14	20	18	15	14	24	28	32	50	62	83	55	23	4	1
14	494	22	10	10	18	11	8	7	16	12	15	16	13	35	41	57	60	73	39	24	7	
15	489	41	20	13	10	11	20	16	15	19	14	14	24	34	34	43	48	56	36	15	6	
16	508	32	15	16	15	11	11	12	10	23	30	8	16	44	39	54	50	48	44	25	5	
17	580	37	15	10	17	22	28	27	19	18	22	21	24	39	39	48	64	57	49	19	5	
18	588	42	20	17	24	17	14	16	22	23	21	13	21	39	42	41	75	71	52	11	6	1
19	519	55	8	6	12	15	19	23	21	18	19	28	19	37	36	33	55	50	44	16	4	1
20	463	31	7	11	12	15	21	11	16	22	20	21	25	32	32	38	48	54	32	7	7	1
21	408	22	4	2	16	17	15	13	20	19	19	24	16	34	29	40	37	38	25	15	3	
22	399	24	5	7	13	23	13	19	16	19	19	30	17	34	30	28	47	22	22	9	2	
23	307	18	3	1	15	22	11	13	16	19	11	24	15	17	29	22	20	20	18	12		1
合計	10,146	557	204	165	268	316	304	332	369	372	391	380	420	693	713	973	1,158	1,182	861	369	109	10

⑹　救急搬送者年齢区分別推移

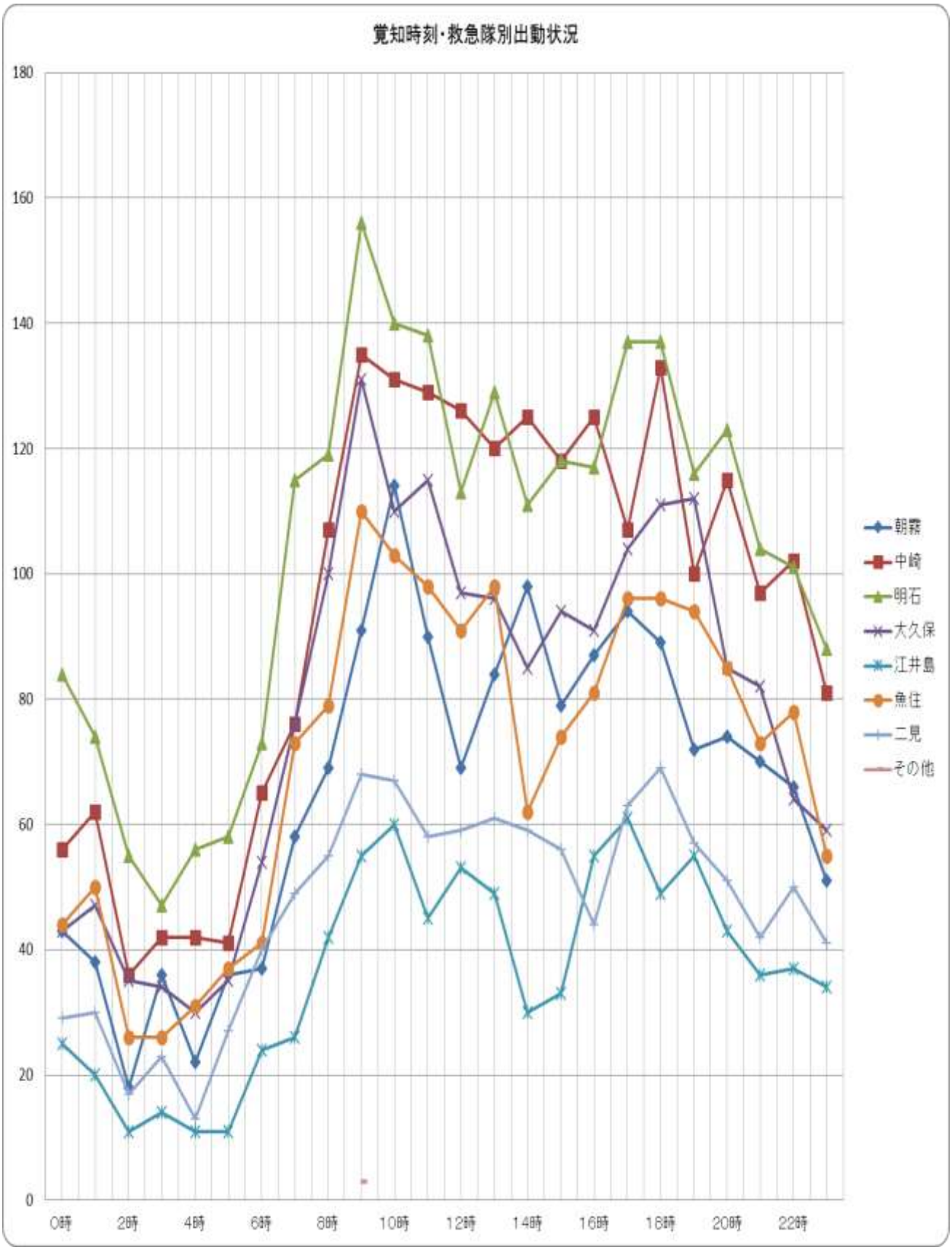


(7)　月別救急隊出動状況



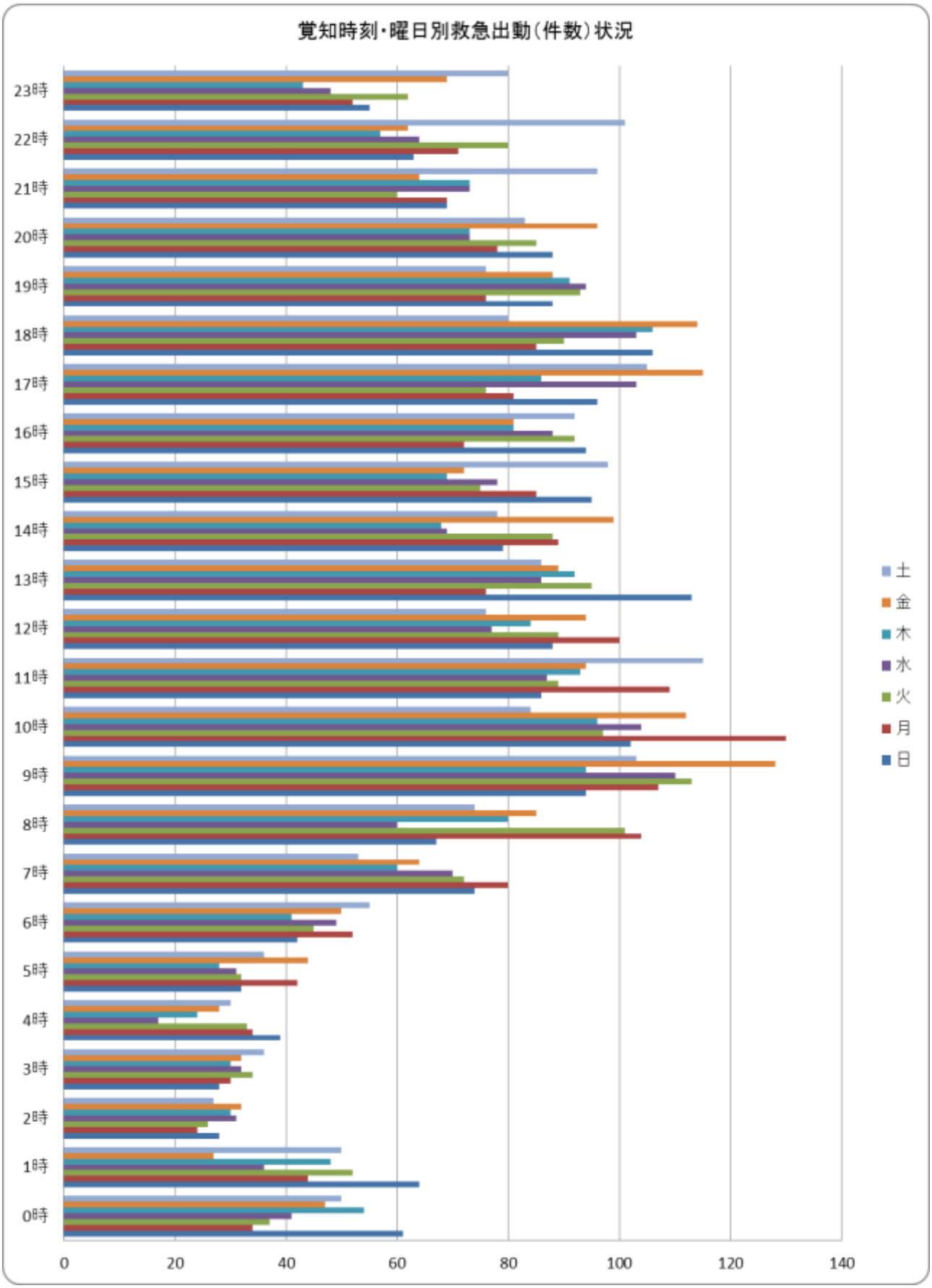
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
朝霧救急隊	126	136	148	134	126	120	135	128	106	141	135	150
中崎救急隊	202	184	193	220	174	172	193	200	174	190	159	210
明石救急隊	219	219	203	225	192	173	204	203	202	219	205	245
大久保救急隊	174	157	144	175	133	133	168	153	150	150	165	188
江井島救急隊	83	61	64	71	71	57	96	86	73	71	56	90
魚住救急隊	128	151	151	146	137	117	141	155	130	155	134	156
二見救急隊	85	88	98	89	92	76	99	120	92	109	83	97
その他の救急隊	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0

⑻　覚知時刻・救急隊別出動状況



⑼　覚知時刻・曜日別救急出動状況

覚知時刻	曜日（上段＝出動件数、下段＝搬送人員）							
	日	月	火	水	木	金	土	合計
0時	61	34	37	41	54	47	50	324
	50	27	26	31	42	32	35	243
1時	64	44	52	36	48	27	50	321
	54	39	41	29	38	22	36	259
2時	28	24	26	31	30	32	27	198
	18	23	23	28	19	24	21	156
3時	28	30	34	32	30	32	36	222
	25	24	34	27	26	28	30	194
4時	39	34	33	17	24	28	30	205
	31	29	21	14	21	25	21	162
5時	32	42	32	31	28	44	36	245
	27	35	23	27	24	36	26	198
6時	42	52	45	49	41	50	55	334
	32	39	35	39	30	45	46	266
7時	74	80	72	70	60	64	53	473
	65	63	60	58	51	55	45	397
8時	67	104	101	60	80	85	74	571
	56	93	88	58	74	76	66	511
9時	94	107	113	110	94	128	103	749
	81	99	104	100	85	113	95	677
10時	102	130	97	104	96	112	84	725
	89	115	89	97	89	104	77	660
11時	86	109	89	87	93	94	115	673
	75	100	80	75	81	84	101	596
12時	88	100	89	77	84	94	76	608
	83	92	73	64	77	83	62	534
13時	113	76	95	86	92	89	86	637
	93	64	82	72	77	78	72	538
14時	79	89	88	69	68	99	78	570
	67	79	78	54	60	83	73	494
15時	95	85	75	78	69	72	98	572
	84	75	61	64	61	60	84	489
16時	94	72	92	88	81	81	92	600
	82	61	76	76	67	72	74	508
17時	96	81	76	103	86	115	105	662
	87	73	60	92	76	103	89	580
18時	106	85	90	103	106	114	80	684
	82	76	82	87	97	97	67	588
19時	88	76	93	94	91	88	76	606
	74	63	79	79	78	78	68	519
20時	88	78	85	73	73	96	83	576
	72	62	64	58	58	82	67	463
21時	69	69	60	73	73	64	96	504
	55	60	49	63	58	43	80	408
22時	63	71	80	64	57	62	101	498
	50	55	66	52	45	46	85	399
23時	55	52	62	48	43	69	80	409
	42	42	46	31	33	57	56	307
合計	1,751	1,724	1,716	1,624	1,601	1,786	1,764	11,966
	1,474	1,488	1,440	1,375	1,367	1,526	1,476	10,146


覚知時刻・曜日別救急出動（件数）状況
23時
22時
21時
20時
19時
18時
17時
16時
15時
14時
13時
12時
11時
10時
9時
8時
7時
6時
5時
4時
3時
2時
1時
0時
0
20
40
60
80
100
120
140
土
金
木
水
火
月
日

⑽　救急隊員の行った応急処置件数

区分＼事故種別	急　病	交通事故	一般負傷	その他	合　計
搬送人員	6,157	1,126	1,507	1,356	10,146
応急処置対象人員	6,149	1,119	1,494	1,340	10,102
止血	29	50	130	36	245
固定	23	461	120	50	654
人工呼吸	9	1		9	19
心マッサージ					0
心肺蘇生	167	6	31	28	232
酸素吸入	1,090	71	84	382	1,627
気道確保	262	14	45	45	366
経鼻エアウェイ	7			1	8
喉頭鏡・鉗子等を使用しての気道確保	2		7		9
ラリンゲアルマスク等	133	2	15	19	169
気管挿管	9	1	14	1	25
保温	3,814	342	720	915	5,791
被覆	31	281	403	84	799
在宅療法継続	9				9
※A	2				2
※B					0
※C	7				7
ショックパンツによる血圧の保持					0
除細動	26		2	3	31
静脈路確保（輸液）	92	5	21	16	134
薬剤投与	46	2	14	6	68
その他の応急処置	5,834	933	1,255	1,188	9,210
血圧測定	5,651	1,087	1,358	1,264	9,360
聴診器による心音・呼吸音等の聴取	1,902	282	209	243	2,636
血中酸素飽和度の測定	5,964	1,108	1,455	1,301	9,828
心電図	2,627	89	167	402	3,285
合計	27,576	4,732	6,014	5,972	44,294

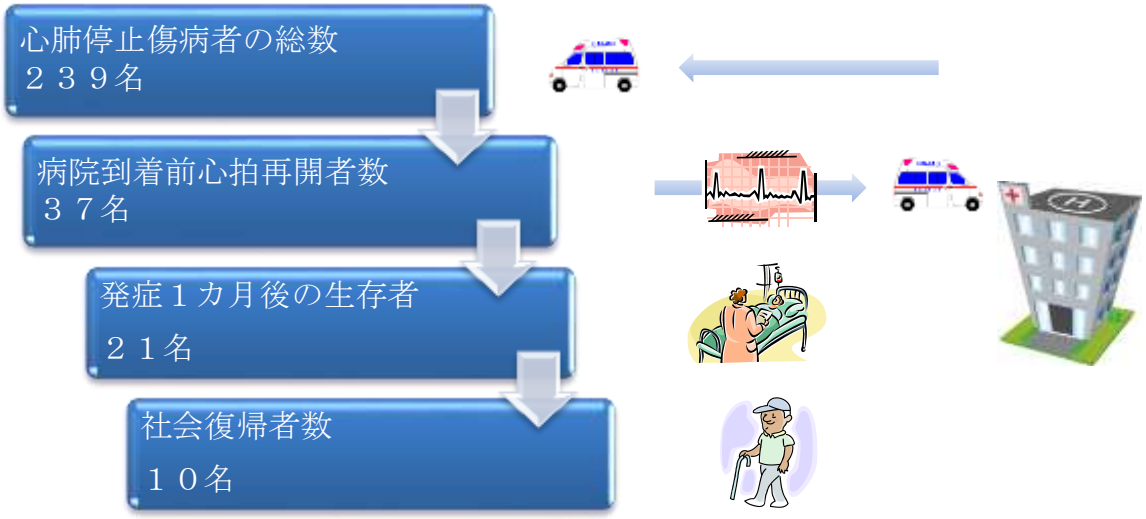
※A　在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴されている傷病者に対して応急処置を行った件数

※B　気管切開孔又は気管瘻・人工肛門等の外瘻が施されている傷病者に対して応急処置を行った件数

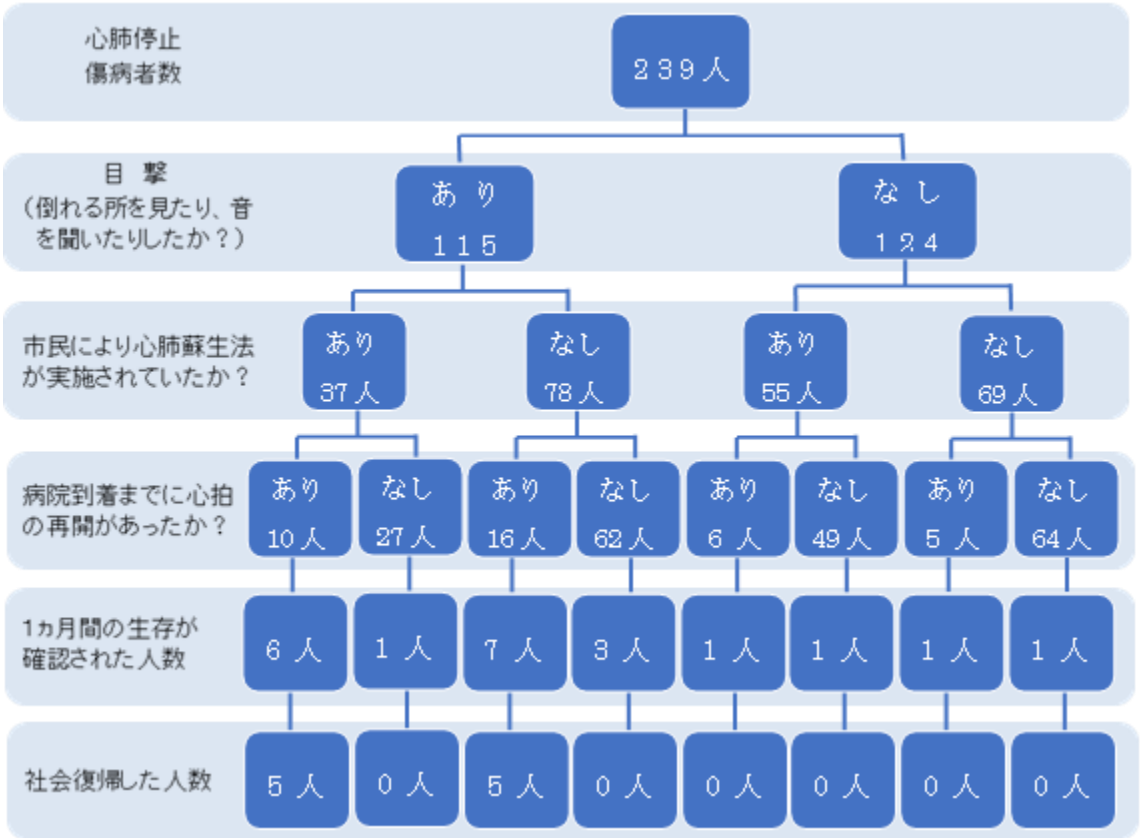
※C　※A・※B以外の在宅療法継続中の傷病者に対して応急処置を行った件数

⑾　心肺停止傷病者の発生状況と経過

平成２４年中における救急隊現場到着時心肺停止傷病者は、２３９人（明らかな死亡者を除く。）です。そのうちバイスタンダーによる心肺蘇生法や、救急救命士による特定行為、医療機関における処置により１０名の方が社会復帰しています。

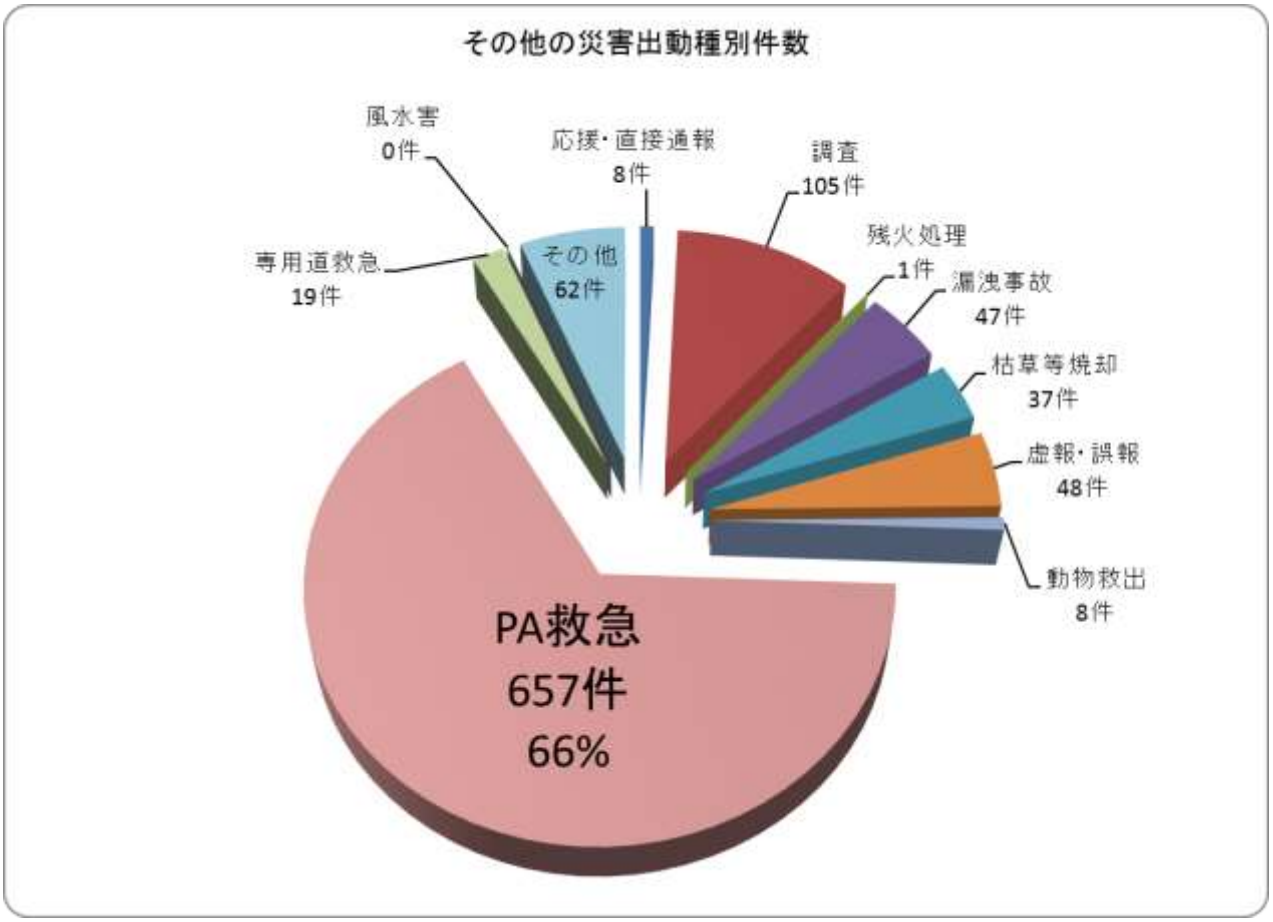


また、社会復帰に多くつながっているのは、「倒れる所を目撃され、直ちに心肺蘇生法などの処置が実施された」ケースです。



8　その他の災害統計

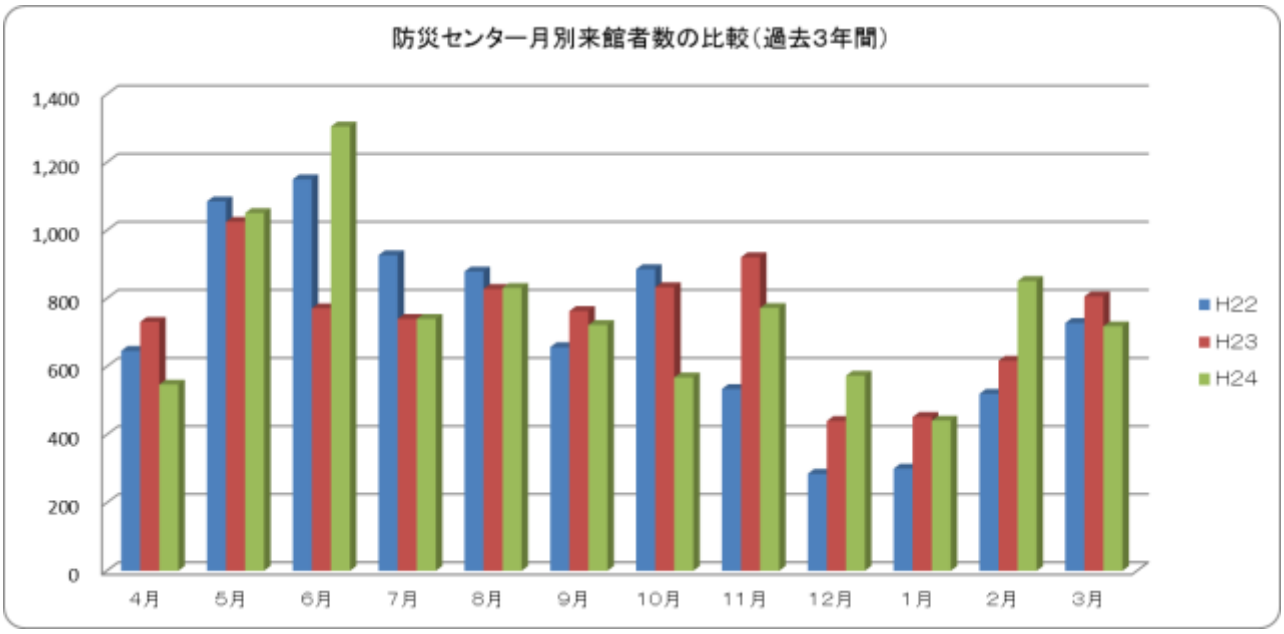
火災、救助及び救急以外に出動した、その他災害出動の結果は以下のとおりです。



種別／年	応援・直接通報	調査	残火処理	漏洩事故	枯草等焼却	虚報誤報	動物救出	PA救急	専用道救急	風水害	その他	合計
平成２３年	10	144	1	41	37	38	17	707	27	15	65	1102
平成２４年	8	105	1	47	37	48	8	657	19	0	62	992

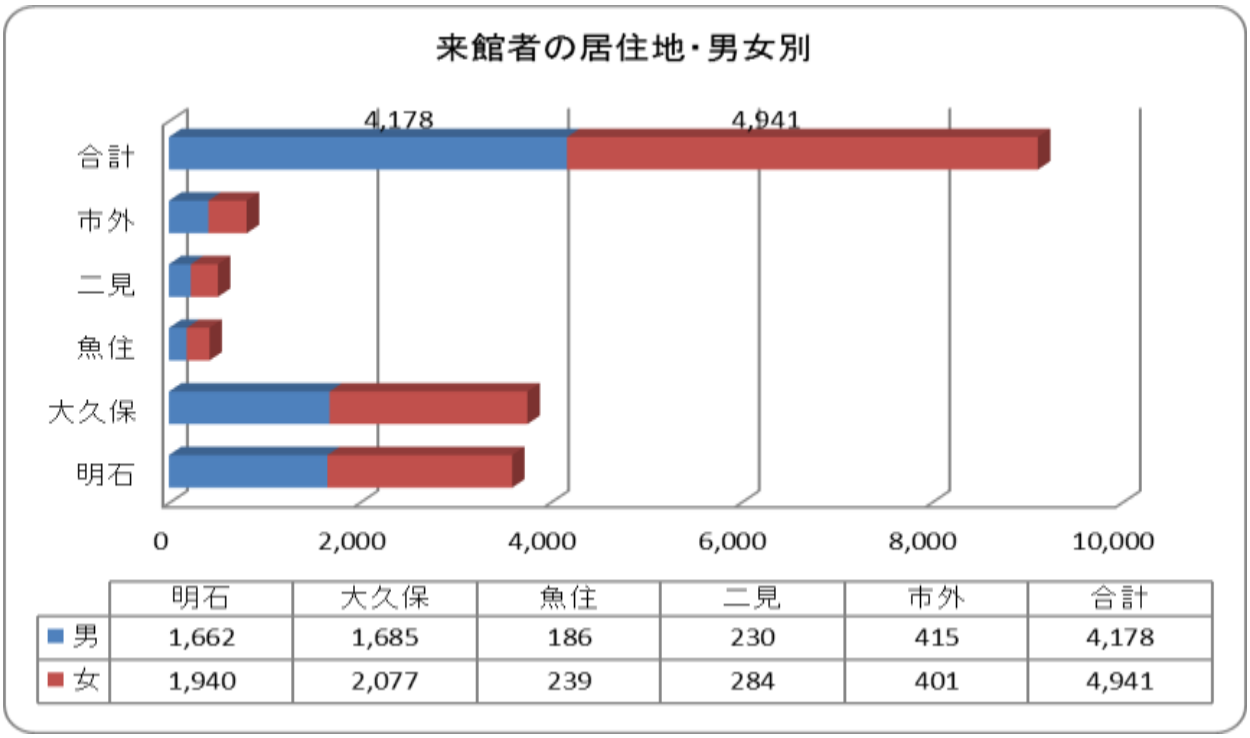
9　防災センター

⑴　防災センター月別来館者数



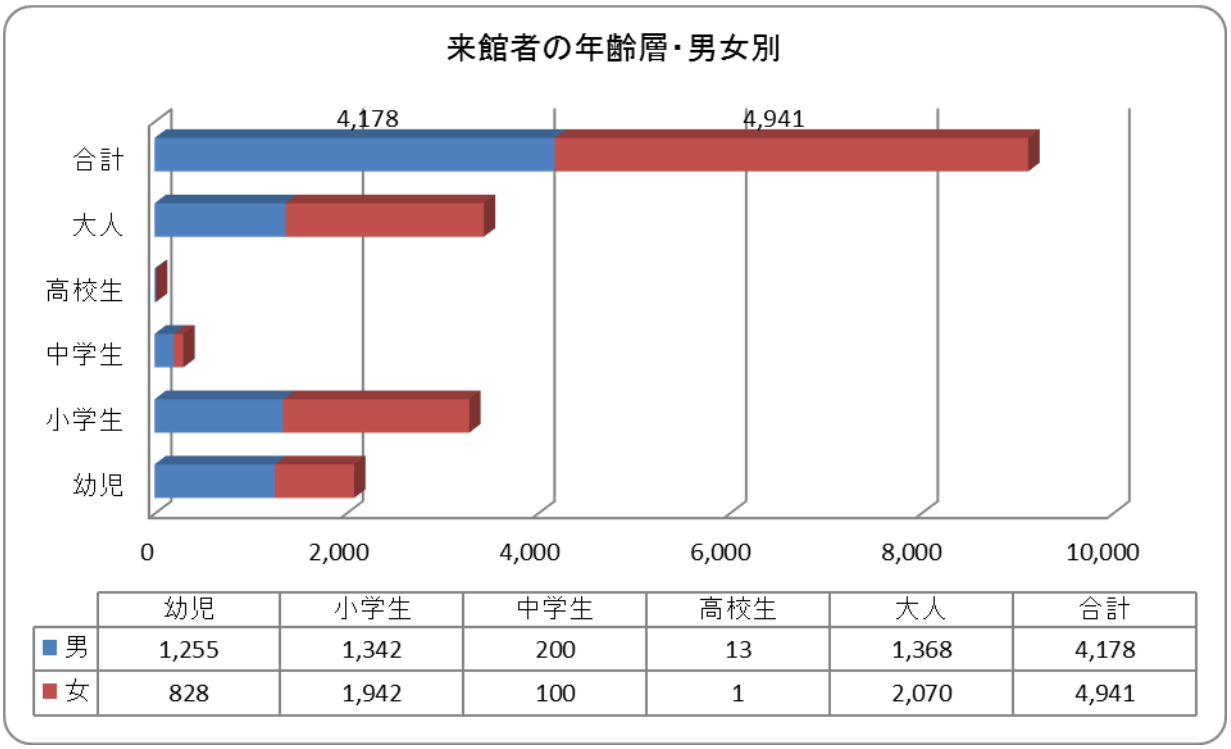
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H22	646	1,085	1,150	927	879	657	886	534	285	300	520	728	8,597
H23	731	1,025	771	740	828	763	833	921	440	452	617	806	8,927
H24	547	1,051	1,305	740	831	722	568	772	573	441	851	718	9,119

⑵　来館者の居住地と性別しらべ



	明石	大久保	魚住	二見	市外	合計
男	1,662	1,685	186	230	415	4,178
女	1,940	2,077	239	284	401	4,941

⑶　来館者の年齢と性別しらべ



	幼児	小学生	中学生	高校生	大人	合計
男	1,255	1,342	200	13	1,368	4,178
女	828	1,942	100	1	2,070	4,941

明石市消防本部

付録「明石消防のあゆみ」

明石消防の沿革

当市は、古くから城下町として発展した関係上、明治維新前には各町に町火消が組織され、全町で１０数台の龍吐水を設置し、郡代役所で統括していた。明治２７年２月に消防組規則が制定され、東西２部の明石市消防組が設けられる。

その後、昭和５年に常備消防隊が設置され、その規模は消防ポンプ自動車１台、人員４名であったが、昭和９年には、消防ポンプ自動車２台、人員８名に増強される。

昭和１４年　４月　１日	消防組を改称し、明石市警防団として発足。（４分団、団員５５０名）
昭和１７年　２月１１日	林崎村合併により、明石市警防団は７分団、団員８５０名となる。
昭和１９年１２月２２日	明石警察署内に板宿消防署の分遣隊を置く。 （消防ポンプ自動車４台、人員２２名）
昭和２０年　２月　１日	消防力の整備充実を図るため神戸葺合消防署が移駐され、大明石町２丁目天理教内に官設消防署を開設し、東播消防大隊と改称、その規模は、消防ポンプ自動車１４台、人員２３２名をもって、加古川、高砂、三木各町及び垂水分駐所を設け、東播地区の火災防ぎょ警戒にあたる。
昭和２１年　２月２０日	明石国民学校（現明石小学校）の一部を仮庁舎として、消防署を移転する。
昭和２１年　２月２０日	明石消防署と改称。
昭和２１年１１月２８日	山陽電鉄事務所（旧東仲ノ町山電下り駅）を仮庁舎として明石消防署を移転する。
昭和２２年　２月	明石消防署の管轄区域は、明石市及び加古川市、高砂各町となり、加古川町寺家町６４、高砂町消防会館にそれぞれ出張所を設置する。
昭和２２年　４月	加古川消防署発足に伴い、管轄の加古川、高砂両町は加古川消防署へ移管し、神戸市垂水区を加え、垂水出張所を開設する。
昭和２２年　８月３１日	内務省令により、従前の警防団は廃止、明石消防団として発足する。
昭和２３年　３月　７日	消防組織法の公布施行により、明石市消防本部及び消防署の設置条例並びに明石市消防本部、消防署の位置名称及び管轄区域に関する条例を公布施行し、明石市消防本部、明石市消防署として発足する。 垂水出張所は神戸市へ移管となる。（１本部１署）

昭和２３年　６月１５日　明石市大明石町１丁目１４５０番地の７に新庁舎が竣工し、本部及び署を移転する。

昭和２４年　９月　１日　西部方面の火災防ぎょのため、明石市藤江８８９番地に消防分署を設置、明石市消防署西分署として業務を開始する。（１本部１署１分署）

昭和２６年　１月１０日　明石郡大久保村、同魚住村、加古郡二見町の三ケ町村との合併により消防団は４団になる。

昭和２６年　１月１０日　消防組織の強化、充実を図るため、職員定数を７０名に改める。

昭和２８年１０月３１日　明石市消防団条例を改正。消防団を統合し、連合消防団制とする。（４団、４２分団、１，９１６人、ポンプ自動車３台、手引動力ポンプ３０台）

昭和３１年１０月　１日　消防組織の強化、充実を図るため、職員定数を８２名に改める。

昭和３２年　３月１１日　明石市二見町東二見４５０番地、明石警察署二見巡査部長派出所内に消防分署を設置、明石市消防署二見分署として業務を開始する。（１本部１署２分署）

昭和３８年　８月　１日　消防組織の強化、充実を図るため、職員定数を９６名に改める。

昭和３９年　２月２４日　明石市大久保町江井島７９４番地の８に消防分署を設置、明石市消防署江井島分署として業務を開始する。（１本部１署３分署）

昭和３９年１０月１４日　消防法の一部改正により救急業務実施政令都市となり救急自動車を配置、救急業務を開始する。

昭和４０年　４月　１日　連合消防団制を廃止し、１市１団制の組織改革を行う。（１団８分団、４９班、人員１，２００名、ポンプ自動車６台、小型動力ポンプ２３台、手引動力ポンプ１３台）

昭和４３年　４月　１日　消防組織の強化、充実を図るため、職員定数を１０３名に改める。

昭和４３年　４月１２日　明石市二見町西二見７６７番地の３に二見分署庁舎が竣工し、二見分署を移転する。

昭和４４年　４月　１日　消防本部、消防署の組織機構を改正する。
消防本部（３課６係）
消防署　（２係３分署）
消防吏員　１１７名

昭和４４年　４月１５日　明石市魚住町西岡５００番地に消防分署を設置、明石市消防署魚住分署として業務を開始する。（１本部１署４分署）

昭和４５年　１月１３日　消防対象物の高層化に対処するため、屈折はしご付消防ポンプ自動車（１５ｍ級）を本署に配置する。
昭和４５年　４月　１日　消防組織の強化、充実を図るため、職員定数を１３１名に改める。
昭和４５年　７月２３日　都市化の発展に伴う本市の消防体制の充実を図るため、明石市消防審議会を開催する。
昭和４６年　４月　１日　消防組織の強化、充実を図るため、職員定数を１４８名に改める。
昭和４６年　６月　１日　明石市朝霧町３丁目１０番１号に消防分署を設置、明石市消防署朝霧分署として業務を開始する。（１本部１署５分署）
昭和４６年　６月１８日　重化学消防ポンプ自動車を本署に配置する。
昭和４７年　４月　１日　消防組織の強化、充実を図るため、職員定数を１６６名に改める。
昭和４７年　７月１９日　明石市中崎１丁目６番２０号に消防庁舎が竣工し、消防本部、消防署本署を移転する。
昭和４７年１２月　１日　二見分署に救急自動車を配置する。（２隊制）
昭和４８年　４月　１日　消防組織の強化、充実を図るため、職員定数を１７９名に改める。
昭和４８年１１月３０日　救急自動車を二見分署より魚住分署に配置換する。
昭和４９年　２月　８日　消防対象物の高層化に対処するため、はしご付消防ポンプ自動車（３８ｍ級）を本署に配置する。
昭和４９年　３月２５日　救助工作車を本署に配置する。
昭和５０年　７月１０日　消防本部の組織機構を改正し、警防課に通信係を新設する。
昭和５１年　８月１８日　明石市藤江８９０番地の３に西分署庁舎が竣工し、西分署を移転する。
昭和５１年　９月　１日　西分署に救急自動車を配置する。（３隊制）
昭和５３年　４月　１日　消防署の組織機構を改正し、予防係を新設する。
昭和５５年　７月２５日　都市化の発展に伴う本市の消防体制の充実を図るため、明石市消防審議会を開催する。
昭和５６年　３月３１日　魚住分署を増改築する。
昭和５７年　２月１６日　西分署の名称を西明石分署に改める。
昭和５７年　２月１７日　明石市大久保町西脇３６４番地の１２に消防分署を設置、明石市消防署大久保分署として業務を開始する。（１本部１署６分署）
昭和５７年１２月２１日　昭和４３年建築の二見分署庁舎を取り壊し、同地に庁舎を新築する。
昭和６０年　２月１６日　屈折はしご付消防ポンプ自動車（１５ｍ級）を本署に更新配置する。
昭和６０年　３月３０日　昭和３９年建築の江井島分署庁舎を取り壊し、同地に庁舎を新築する。

昭和６１年　３月　１日　多種多様化する災害に対応し、円滑な指令伝達、情報収集を行うため、通信指令室の増改築を実施し、指令装置等の更新を行うとともに、地図検索装置を導入、各署所を結ぶファクシミリ装置の設置などのシステム化を図る。また、風水害による被害をいち早く予測し、その被害を軽減するために、気象観測装置及び河川、流域総合情報システムを導入する。

昭和６１年１２月　１日　電源照明付救助工作車を本署に更新配置する。

昭和６２年　３月２４日　西明石分署を増改築する。（平屋建から２階建となる。）

昭和６２年　８月２８日　財日本消防協会より、電源照明付資器材等搬送車の寄贈を受ける。

昭和６２年　９月　３日　日本損害保険協会より、普通消防ポンプ自動車の寄贈を受ける。

昭和６３年　３月　１日　ハニー化成㈱より、化学消防ポンプ自動車の寄贈を受ける。

平成　２年１１月２０日　救急出動の増加に伴い、救急自動車の規格の向上を図る。

平成　３年　２月２１日　西明石ロータリークラブより、聴覚言語障害者の非常時における１１９番通報に対処するため、専用ファクシミリ装置の寄贈を受ける。

平成　３年　４月　１日　消防組織の強化、充実を図るため職員定数を２００名に改める。

平成　３年１１月　１日　救急業務の増加に伴い、大久保分署に救急隊を配置する。（４隊制）

平成　４年　２月１２日　都市化の発展に伴う本市の消防体制の充実を図るため、明石市消防審議会を開催する。

平成　４年度中　２名の救急救命士を養成する。

平成　５年　３月１１日　応急処置の範囲の拡大に伴い、救急業務の高度化を図るため、準高規格救急自動車を本署に配置する。

平成　５年度中　２名の救急救命士を養成する。（計４名）

平成　５年　４月　１日　消防組織の強化、充実を図るため、職員定数を２１５名に改める。

平成　５年　４月　１日　衛星通信を活用した「兵庫県衛星通信ネットワーク」の運用を開始する。

平成　５年１０月２７日　高規格救急自動車を本署に配置する。

平成　６年　１月１０日　救急救命士業務の試験運用を開始する。

平成　６年　３月２５日　西明石分署に救急消毒室を設置する。

平成　６年　４月　１日　救急救命士業務の本格運用を開始する。

平成　６年　４月　１日　消防本部、消防署の組織機構を改正し、消防本部警防課に救急救助係を新設、技術係を装備係に改める。消防署に管理係を新設する。

平成　６年１１月　１日　高規格救急自動車を西明石分署に配置する。
平成　６年度中　３名の救急救命士を養成する。（計７名）
平成　７年　１月１７日　午前５時４６分　兵庫県南部地震発生（Ｍ７．３）
死者　１１人、火災　６件
平成　７年　２月１０日　４０m級はしご付消防自動車を本署に更新配置する。
平成　７年度中　３名の救急救命士を養成する。（計１０名）
平成　７年１２月　８日　明石市セントラルライオンズクラブより、消防の行う応急手当普及啓発活動推進のため、応急手当普及広報車の寄贈を受ける。
平成　７年１２月１５日　救助工作車を大久保分署に配置する。
平成　８年　２月２９日　指揮先行車を本署に配置する。
平成　８年　３月　８日　魚住分署に救急消毒室を設置する。
平成　８年　３月２２日　小型動力ポンプ付水槽車を本署に配置する。
平成　８年度中　３名の救急救命士を養成する。（計１３名）
平成　８年１２月　１日　高規格救急自動車を魚住分署に配置する。
平成　９年度中　３名の救急救命士を養成する。（計１６名）
平成　９年　４月　１日　高規格救急自動車を大久保分署に配置する。
平成　９年　４月　１日　消防組織の強化、充実を図るため、職員定数を２２５名に改める。
平成１０年　１月１１日　自治体消防５０周年記念・平成１０年明石市消防出初式挙行
平成１０年　１月１１日　自治体消防５０周年記念誌「明石市消防５０年のあゆみ」発刊
平成１０年　３月３１日　朝霧分署を増改築し、救急消毒室を設置する。
平成１０年度中　４名の救急救命士を養成する。（計２０名）
平成１０年　４月　１日　高規格救急自動車を朝霧分署に配置する。（５体制）
平成１０年　４月　１日　自動車電話・携帯電話からの１１９番通報受信を開始する。
平成１０年１２月２０日　新消防庁舎基本計画書を策定する。
平成１１年　３月２５日　新消防庁舎用地の造成工事が完了する。
平成１１年　３月３１日　救助工作車（Ⅲ型）を本署に更新配置する。
平成１１年度中　４名の救急救命士を養成する。（計２４名）
平成１１年　４月２０日　通信指令装置のオーバーホールを実施する。
平成１１年　７月　１日　コンピューター西暦２０００年問題対策本部を設置する。
平成１２年　３月１７日　災害対応特殊救急車を本署に更新配置する。
平成１２年度中　４名の救急救命士を養成する。（計２８名）

平成１２年　９月２８日　水槽付消防ポンプ自動車を本署に更新配備する。
〃　応急救護所用エアーテント（ＴＡＴ－６００型）１張りを配備する。
〃　インパルス消火システム２基を配備する。
平成１２年１２月　７日　日本損害保険協会より、水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受ける。
平成１３年　３月２２日　緊急時における多目的活動の装備充実のため、消防用オートバイ２台を本署に配備する。
平成１３年　３月３０日　災害対応特殊救急車を西明石分署に更新配置する。
平成１３年度中　３名の救急救命士を養成する。（計３１名）
平成１３年　７月２１日　第３２回明石市民夏まつり花火大会事故発生
平成１３年１０月１５日　屈折はしご付消防自動車（１５ｍ級）を廃車し、はしご付消防自動車（３０ｍ級）を本署に配置する。
平成１４年　２月１２日　化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型）を二見分署に更新配置する。
平成１４年度中　３名の救急救命士を養成する。（計３４名）
平成１５年　２月２８日　明石市藤江９２４番地の８に、明石市防災センターを併設した、新消防庁舎が竣工する。
平成１５年　３月　１日　西明石分署（藤江８９０番地の３）を廃止し、業務を新消防庁舎へ仮移転する。
平成１５年　３月　７日　消防緊急情報システムの完成に伴い、消防本部の情報指令室が新消防庁舎にて業務を開始する。
平成１５年　４月１４日　新消防庁舎に、消防本部、消防署本署を移転し、業務を開始すると伴に、明石市防災センターを開館する。
旧消防本部、消防署庁舎（中崎１丁目６番２０号）は、中崎分署として業務を継続する。

平成１５年度中　４名の救急救命士を養成する。（計３８名）
平成１６年　４月　１日　消防組織の強化、充実を図るため、職員定数を２３３名に改める。
平成１６年１２月２１日　災害対応特殊救急車を魚住分署に更新配置する。
平成１６年度中　３名の救急救命士を養成する。（計４１名）
平成１７年　２月　８日　二見分署を増改築し、救急消毒室を設置する。
平成１７年　３月１１日　災害対応特殊救急車を二見分署に配置する。（６隊制）
平成１７年　８月２７日　災害対応特殊消防ポンプ自動車を中崎分署に更新配置する。

平成１７年度中　　２名の救急救命士を養成する。（計４３名）
平成１７年度中　　３名の認定救急救命士を養成する。
平成１８年　２月２６日　指揮先行車を本署に更新配置する。
平成１８年　７月　５日　無線指令車を警防指揮車として更新配備する。
平成１８年度中　　２名の救急救命士を養成する。（計４５名）
平成１８年度中　　３名の認定救急救命士を配置する。（計６名）
平成１９年１２月１１日　災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車を大久保分署に更新配置する。
平成１９年度中　　２名の救急救命士を養成する。（計４７名）
平成１９年度中　　６名の認定救急救命士を養成する。（計１２名）
平成２０年度中　　２名の救急救命士を養成する。（計４９名）
平成２０年度中　　２名の認定救急救命士を養成する。（計１４名）
平成２１年　３月　２日　災害対応特殊消防ポンプ自動車を朝霧分署及び江井島分署に更新配置する。
平成２１年　３月１９日　災害対応特殊救急車を本署に更新配置する。
平成２１年　３月２３日　中崎分署を改修し、救急消毒室を設置する。
平成２１年度中　　２名の救急救命士を養成する。（計５１名）
平成２１年度中　　２名の認定救急救命士を養成する。（計１６名）
平成２２年　２月　１日　水槽付消防ポンプ自動車を消防署に更新配置する。
平成２２年　２月１９日　災害対応特殊救急自動車を中崎分署に更新配置する。
平成２２年度中　　２名の救急救命士を養成する。（計５３名）
平成２２年度中　　２名の認定救急救命士を養成する。（計１８名）
平成２３年　１月　　大久保分署を増改築し、救急消毒室・仮眠室を設置する。
　　Ⅱ型化学消防ポンプ自動車を消防署に更新配置する。
平成２３年　２月　　災害支援車Ｉ型を消防署本署に配置する。
平成２３年　３月　　江井島分署を増改築し、救急消毒室・仮眠室を設置、災害対応特殊救急車を配置する。（７隊制）
平成２３年度中　　２名の救急救命士を養成する。（計５５名）
平成２３年度中　　２名の認定救急救命士を養成する。（計２０名）
平成２４年　３月　　多目的災害対応コンテナ車を消防署本署に配置する。
平成２４年１２月　　小型水槽付消防ポンプ自動車を魚住分署に更新配置する。
平成２４年１２月　　災害対応特殊救急自動車を魚住分署に更新配置する。

平成２４年度中　　２名の救急救命士を養成する。（計５７名）
平成２４年度中　　２名の認定救急救命士を養成する。（計２２名）